

国づくりと研修

25
1983

魅力ある都市 ● G・ヒールシャー 山東良文
職場とストレス / 話し合いの心
ユニークな田園都市づくり

「トオノヒアスラン」を訪ねて



秋の新宿御苑(東京)

対談

魅力ある都市

地方中枢都市、県庁所在地を中心に都市化がすすんでいるようだ。

そういうなかで、ここ数年、いろいろな分野の人たちがさまざまな角度から「都市」を論じているのが目につく。これまで、どちらかといえば、都市は騒々しく、冷たく、危険といったマイナス・イメージが強調され、働く場としてのみとられがちであった。住み暮らしていく都市に目が向きはじめ都市論が成熟してきた、といえないだろうか。

今号は「魅力ある都市」と題し、人間都市研究所所長の山東良文氏と南ドイツ新聞極東特派員のG・ヒールシャー氏にお話をさせていただいた。

戦後の急激な都市化

山東 ヒールシャーさんが日本にこられたのは、日本の高度成長がちょうど終わろうとするとき、第一次オイル・ショックの始まる直前ですね。ヒールシャー はい、美濃部さんが東京都知事に当選した年だったですね。

ひじょうに東京の都市計画が変わろうという時期でもあったわけです。最初は市ヶ谷の方に住んで、そのあと荻窪に移って、この十二、三年ずつと高円寺に住んでいます。ですから、環状七号線などの道路の変化とか住宅地の変化と

か、いろいろひどいときもよくなった面も両方経験しています。

山東 そうでしょうね。

都市の人口爆発とグリーンベルト構想

山東 きょうはまあ、都市の魅力というようなことで、多少ともフィジカルな面をというところのようですね、社会一般も含めて、いろいろお話を聞かせていただくと、ありがたいと思

っているんです。

過去をふり返ってみますと、ヒールシャーさんが日本においてにられるころまでは、どちらかというと、短い間にひじょうに急激な工業化、都市化によって、地方から大都市へどんどん人口が入ってきて、それに追いつくのに精いっぱいだったという感じですね。

ですから、昭和三十五年から四十年くらいの間は、グレート東京の人口は一年間で六十万人がふえました。

ヒールシャー 一年間平均ですか。

山東 はい。六十万人の中で半分の三十万人が、私どもがいわゆる自然増と称しているものです。そして、あとの半分が地方から流入してくる流入超過ということ、これはもう、ものすごい勢いで……。

ヒールシャー いま、隣の韓国のソウルも同じような現実ですね。

山東 ソウルは、いま八百万人ぐらいですか。ヒールシャー いや、それよりも多く九百万人以上です。それも一七区だけです。東京の二十三区と同じような意味ですね。来年は一千万人



山東 良文氏 / G・ヒールシャー氏

(人間都市研究所所長)

(南ドイツ新聞極東特派員)

になるんじゃないかと、すごいですよ。

私は韓国も担当していますから、一、二年たつて行ってみますと、変わりが大きいですね。これは横道ですが……。

山東 なるほどね。

ところで、どういうわけか、日本は戦後、グレーター・ランド・プランを導入したんですね。街の周辺にグリーン・ベルトをめぐるし、それによって都市の膨張を締めつける。そして、周辺に衛星都市をつくるといった方式をとったわけです。

ところが、あとから考えてみますと、ロンドンはずでにピークを過ぎておったわけですけど、東京はまさに爆発しようとしているときでしたので、ものみごとにグリーン・ベルト構想は破れた(笑い)。

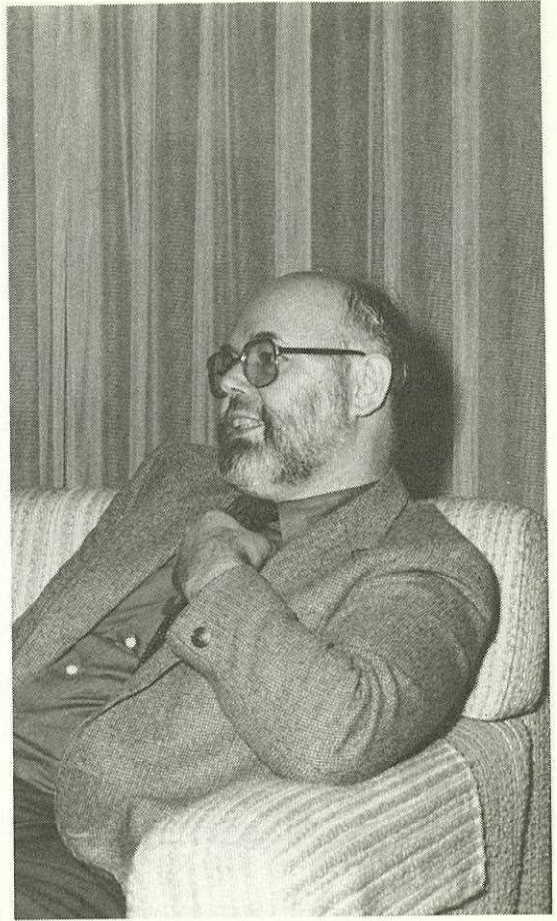
その点では、韓国のソウルはグリーン・ベルトは厳然として守られているんじゃないでしょうか。

ヒールシャー 守られないわけです。爆発的です。というのは、網の目のようにどのところも住むわけですから、対策をいくら考えてもなかなか守られないですね。

山東 なるほどね。

震災、戦災と都市づくり

山東 この間もちよつと調べてみたんですけど、どういふわけか日本の場合、人口がひじ



G・ヒールシャー氏

ように急増し、都市が拡張するような時期でも、中の方を整備したいという習性があるんじゃないか。

つまり、大正九年の関東大震災のあと、郊外へひびように激しい勢いで延びているんですけども、そのときもやはり、大震災の復興のため一生涯懸命内部を整備した。それで外の方はとにかく昔の農道に沿った形で、ひびように迷路が多くなった感じがします。

太平洋戦争のあとも、震災の復興過程でやはり爆発する都市の内部をいろいろ手を加えている間に、いつの間にかすごくスプロール化したという感じになってしまいましたね。

ヒールシャー 私は、最近、取材のために二、

三回仙台の方へ行ってきました。仙台の都市計画の成果をテーマにして記事を書いたんです。あそこは、戦争で空襲を受け、大火災があったものですから、都心部の全部が破滅させられて

住宅環境をみる

「ウサギ小屋論」と土地

山東 日本の場合、いままで西欧に対して追いつき、追い越せというキャッチアップを目標としました。いろいろの生活水準の面でキャッチ

しまったんですね。

その教訓から、地震とか火災などで壊れるのを繰り返さないように。東西南北三本ずつの幅最低三十五メートルから最高五十メートル以上の道路をつくったわけですが、そこを並木通りとしています。

最初はものすごい反対運動があったらしいんです。これは、軍事的に滑走路として利用するのではないかという反対運動なんです。しかし、樹がどんどん大きくなりますと、あなるほど、これは滑走路として使えないとわかったわけです。そうすると、今度は逆に百メートルにしたんですよ、残念だと……。

仙台は新幹線の西側の方の、元の都心部はよくできたんじゃないですか。東側は問題ですね。でも、仙台は日本にはめったにない、計画どおりの都市として成功した例だと思えます。

アップしたとみてるんですけども、住環境とか都市環境というのは、ひとり取り残された。

卒直に言いました、例の「ウサギ小屋論」にどういうご感想をお持ちでしょうか。

ヒールシャー まあ、東京の住まいの長い経験から考えてみますと、一九七〇年前後の東京は



山東良文氏

かなりひどい状態じゃなかったかなと思います。私の目で見ますと、そのときは、いちばん環境問題の危機感があったときでもあったわけですね。それ以降、緑化、交通整理、道路整備、いろいろとよくなりつつある。特に都心部からそういう方向が始めたわけですね。建築の場合も、おもしろいものがあちこちに出始めたわけです。

私、ふり返ってみて、当時の東京といまの東京を見てみますと、ずいぶんよくなったことはまず言えると思います。

一つの大きな未解決の問題は、やはり住宅そのものだと思います。私は、「ウサギ小屋論」の主張者ではない。なぜならば、いちばん大きな

向こうのねらいは、日本の住宅の状態の延長から考えて、給料が安すぎるためにECとの間に不公平が生じるというものです。

調べてみますと、たとえば、ドイツの都会と東京の都会で、マイホーム実現のための予算は同じです。普通のマイホーム実現のためには、だいたい三千万円程度のものを計算しますと、内容は、日本の場合には三分の二、多いときは四分の三までは土地です。その上、土地は狭い。家そのものの予算は少ない。

向こうは逆です。四分の一、多いときで三分の一が土地のため、その上に土地も広い。あと三分の二ないし四分の三が家そのものの予算です。

そうすると、もちろん向こうは丈夫で広い、いいものを全体の同じ予算のなかでつくれるわけですね。日本は私に言わせると、山奥の簡単な別荘型しか建てられないんですね(笑い)。同じ給料で、同じ予算で、全然違う結果がでます。それは土地の値の違いのせいですね。

山東 それは、おっしゃるとおりだと思うんです。二十年ほど前に私も書いたことがあるんですが、おそらく、これから日本の経済も科学技術も大いに発展するであろう。しかし、その果実がはたして生活水準を向上させるところまで、直接に結びつくかどうか。やはり、土地問題をうまくやるための制度が、新しく開発されないとまずいんじゃないか、と言ったことがあるんですが……。

土地の制約と政策

山東 やはり、現在の私たちは、どちらかと言うと、ウサギ小屋の批判は当然であって、敷地だけをとらえてみますと、いっこうによくならない。街の中で、いまままで環境のよかったところでも、だんだん細分化、ミニ開発していくことは、とても困ったことだと思っているわけです。

ヒールシャー 法律、政策のなさの問題でもあるわけですね。よく土地が狭いとか、日本の国

が狭いとか、いろいろ言います。これは根拠はないと思いますね。

たとえば、最低の住宅のための大きさ、あるいは建ぺい率や日照権などの政策、税政策の可能性も十分にあったんじゃないか。そういう可能性を全然利用しなかったことが、私はいちばん問題じゃないかと思います。

山東 日本の都市のための用地というのは、ただか全体的面積の数パーセントにすぎないわけですから、狭いことが理由にはならないですね。

ヒールシャー そうですね。

それで、おもしろいことは、昔は地震のために背の高い建物をたてないと考えましたが、戦後、開発された技術から考えてみますと、それは理由にならないですね。ほかの先進国の都会の都心部と比べて、東京だけが五年前までは、多分、高さ制限があつて低い利用度だったんですね。

もう一つは、都心部に一軒一軒の個人住宅を残しても、それはぜいたくだというような考え方がなくて、普通のような固定資産税の対象になつている。そうすると、都心部には数少ない人が一軒一軒を持ち、郊外には数多い人が団地に住んでいて、都心部の職場へ通う。結局、交通のマヒも人間がつくつたものになつたわけですね(笑い)。

私は一つのおかしな対立を覚えていますが、

それは美濃部都政ができて、田中内閣があつたときです。美濃部さんが革新でありながら、都心部のマイ・ホーム主義を守つて、田中さんが資本主義者でありながら、都心部をもつと利用してもらいたい、建ぺい率を緩和したい、そうすれば通勤時間を減らせると言つてた。まったく不思議な対立だったんですね(笑い)。

当時、美濃部さんの考え方が勝つたわけですが、結局、東京に小さい家を持った数少ない持ち主を守るためには、計画どおりの改革はまた少なくとも十年ぐらい遅れたわけですね。

中央集権と地方

山東 話が変わりますが、戦後の日本の地域政策をふり返ってみますと、一貫して大都市の膨張抑制、地方振興、地方へ人や産業を分散させる方針をとつてきたんですね。ところが、結果的にはむしろ東京に一極集中という形になつたわけですね。

大量生産、大量消費、効率重視が中央集権体制と結びついて発展してきたわけですね。農村から生まれた貧しい時代の出世主義が学歴社会をつくることにもなつた。

こういふ、これまでの日本の文明の体制、中央集権、出世主義というようなものを、ヒールシャーさん、どう見ておられますか。

山東 なるほど、たいへんおもしろいですね。ヒールシャー ほんとうに私は、当時は冗談じゃないかと思つたんですね。私は、べつに田中さんの利益をふやすつもりは何もないですが……。

個人個人の住宅を都心部に持つことは、大ぜいの人を犠牲にして、少ない恵まれた人を守るということですね。

象徴的な問題ですね。日本の社会主義運動の指導者の、自分はエリートだという価値観が入ってくるわけですね。

ヒールシャー 歴史から考えてみますと、たとえば、イギリスもフランスも中央主義の国ですね。フランスは何でもパリ中心です。イギリスはほとんどロンドン中心です。

ところが、ドイツ、特に戦後の西ドイツは違つていまして、首都のボン市は「連邦村」というんです。都会ではないですね。元は十五、六万人の人口で、いまはいろいろ官庁が入つてきたり、合併政策によつて三十五万人ぐらいです。まあ、高松市プラスアルファみたいな感じですね。そうすると、日本のような東京中心、あるいはフランスのパリ中心とは対照的な国です。

しかし、それはべつに創つたものではなくて、

歴史的にそれぞれの州のセンターが文化的にも

あったわけです。文化だけではなく、全国政府と地方政府の職務権限が、かなり日本と違っているんです。たとえば、文部大臣は国の内閣にはなくて、十一の州別にいます。

日本の場合、いくら地方が発達しようと思っても、こういう基本的な職務権限をそのまま残しますと変わるはずはないわけですね。日本は中心指導の社会である。これはひとつの事実です。これを悪いとは思いません。

アメリカも中心の社会ではありません。ワシントンには昔は小さい町だった。いまは百万人の人口を越えたんですけども、センターではないんです。ニューヨークはアメリカの東海岸だけを代表している。あちこちにセンターがある

んですね。

日本はそういう意味でフランス型です。それに対して、やはり中心とほかのところからの交通の条件を改善していくとか、地方に職場をふやすとかしないと何も変わらない。いくら方針、ビジョンなどを立ててもよくならない。

たとえば、新幹線が入ってきますと、東京との距離は二、三時間になって、日帰りして遠くへ行ける。長岡とか仙台、大阪ですね。そして大阪まで日帰りで行ける福岡、岡山があります。少しずつ東京まで行く必要性がなくなるかもしれません。

だから、交通はいちばん基本の道ではないかと、私は思うわけです。

これからの都市

山東 さて、これからの都市はどう変わるだろうか、あるいは、これからの社会はどう変わるだろうか、ということに関係したことなんです

が、いろいろいま日本であげられている条件の変化、その要因として、年齢構成が高齢化していくとか、科学技術がひじょうに発展していくだろうとか、国際化の問題などがあげられます。

それからもう一つ、ひじょうに物質的に豊かになりすぎた結果が、人間を怠惰にするのかど

うかというようなことが、いろいろでてくると思うんですね。

これからの都市社会について、大衆庶民でのひとつの理想像みたいなものを、どういうふう

にドイツの場合、ヨーロッパの場合どんな姿が
……。
「村」の生活ができる日本の都会の魅力



ヒルシャー お答になるかどうかわかりませんが、質問に答える前に、日本特に東京の場合は欧米型の大会と比べて、計画的な面が遅れたところが多いわけです。

ところが一方で、日本の都会の魅力は、田舎の村と同じような生活ができるところにあります。幹線道路から百メートルも離れますと、交通はほとんど入ってこない。だいたい自転車であいているわけです(笑い)。ふつうの人は近所の商店街までしか行かない。学校と職場へ通うお父さんと子どもたちだけが、外の都会へ行くわけです。ほかの人は、町の村に残るわけですね。

計画的にやっていくために、こういう日本の都会の魅力の面を無視しなければならぬとすれば、困ると思うんです。

もちろん「村」の生活をもう少し整備してもらいたいという面もあります。しかし、基本的にひじょうに静かな田舎のような生活が、いまでもできる。都会的なところへ行きたいならば、二、三十分で行ける。そこに身近な便利性的の面もあるわけです。

山東 そうですか。路地裏ということばをご存知ですか。

ヒールシャー いいえ、知りません。

山東 要するに、大きな通りからちよつと横に入った細い通りですね。そこがまた、何とも言えない魅力があるんですね。

ヒールシャー はい。よく自転車で行きますよ。山東 それで、戦後も日本はニュータウンをいろいろ設計しましたが、でも、フランナーたちも、この路地裏だけはつくることができないわけです。これはもう、人間ではなくて神様がつくるものと……(笑い)。

日本の都市の身近性

ヒールシャー 逆に言うと、ヨーロッパの町はひじょうに立派にみえるわけです。たとえば、ドイツの大きな町に行きますと、整備がよくて何でも計画どおりに道路があります。ところが、計画しすぎているのではないかという面があります。人間が無名化されて小さくなってしまふんです。身近性がなくなるわけです。

私は、将来の街の理想は、いまのままの日本の都市でもない、ヨーロッパの都市でもない、どこかの途中のところにあると思います。ヨーロッパ、特にドイツはその例ですが、計画しすぎている。日本は計画しない状態がいきすぎた……。

山東 日本の場合には、大きな都市の骨格をつくるということが、ひじょうに下手ですね。無秩序に周辺が広がっていくということは、そのあらわれだと思ふんですけれどね。

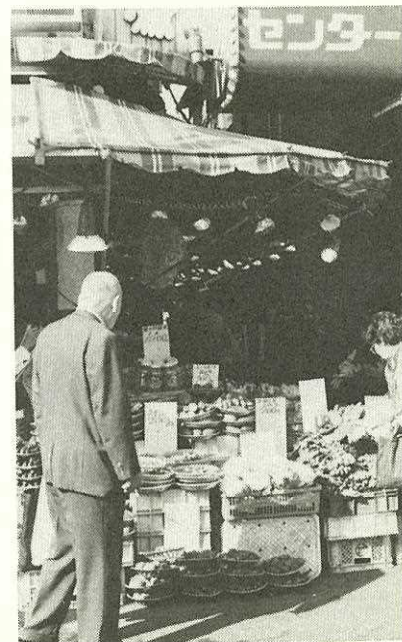
逆に、身近なところを継ぎ足し継ぎ足ししながら、うまくやっていく。そのところが、日本はひじょうだという……。

ヒールシャー もう一つは、近所に住んでいる人のニーズにかなり答えるところがあります。たとえば、商店街とか銭湯とか、店の開いている時間は大事なことでですね。

山東 はい、はい。

ヒールシャー ヨーロッパ、特にドイツはうるさいんですが、いろいろな制限があつて、週末はレストランとか映画館は開いておりませんが、ふつうの店は開いていない。そうすると、ひじょうに不便ですね。街は死んでしまふわけですね。

日本の都会は、週末に家族をろつて、ゆっくりと買物ができる。都心部だけではなくて、いろいろな副都心、副センターがあるわけですね。それは、ひとつの将来性のある街だと思います。



たとえば、東京の都心部から考えて、山手線の池袋、新宿、渋谷あたりですね。もう一歩行きますと、吉祥寺あたりセンターができています。問題は、交通施設が都心部と外の間だけで、山手線のような横の交通が、外の方にはないわけですね。たとえば環状七号線あたりに、何か必要ではないか。モノレールか地下鉄、とにかく何かが必要ですね。それがないと、都会の広さを克服することはできなくなるわけですね。

山東 そうですね。都心へ戻ってからまた外へ出るという……。

住宅規制ゾーン、緑、公園

ヒールシャー もう一つは幹線道路、幹線の交通施設の附近にもつと住宅のないようなゾーンをつくらなければダメですね。

道路ならば、どうしても最低五十メートルから百メートルぐらいのゾーン、たとえば緑のゾーンとか、とにかく騒音をある程度まで抑える

ような能力をもつゾーンをつくらないと、なかなか人間的な環境にならないのではないかと思います。

だれかの協力を得ることを待つのではダメで、そこは法的に何か制度をつくらないとダメですね。

山東 ビタリと規制してしまうということですね。
ヒールシャー そう、そう。

いまでも、たとえば青梅街道、甲州街道の近くで、マンションを建てるわけですね。繰り返

して問題をつくるばかりですね。そういうようなところから、住宅はまず百メートルぐらい離し、そこは商店街にして、裏に先ほどの路地裏をつくるためにも、そういう制度をつくらないとダメではないかと……。

もう一つは、何かどこか広いところがないと困るわけですね。火災に対して避難する場所でもあり、ふだんスポーツをするところとしても自由に使えるようなところ、たとえば、多摩川あたりのようなところは、とてもいいですね。なかなか、そういうところがないんです。

私は、東京でもけっこういい町になる、理想的になるチャンスは、いまでも残っていると思いますよ。

結局、ある一程の距離の中で少なくとも一つは広いところ、たとえば公園や緑のあるところをつくるには、地域全体の計画のなかでしないとダメですね。

山東 子どもを遊ばせる場所がない、という苦情がひじょうに多いですね。

ヒールシャー そう。幼稚園ぐらいの子どもの遊ぶ、ごく小さいところはあちこちにあるんですけど、ところが、十歳以上の子どものためには、何も無いわけですね。大人のものもないですね。夕方になって、ちょっとスポーツをしたいなと思っても、何かどこかのクラブに加盟しないとダメです。クラブに入ると、やはり商業的なものばかりで、コストは高いし、いろいろへんな

条件があるわけですね。

特に日本の場合には、個人個人の住宅はかなり小さいんですから、公の施設はヨーロッパやアメリカよりも大事だと思います。だから中心はそこに力を入れるべきですね。

公の施設は、スポーツだけではなくて、何か共同でできるとか、わりに制限の少ないように使えることも大事です。

山東 やっぱり、それも住宅と同じように、土地問題がネックなのかもしれないけどね。

都市の生活

山東 それで、どうでしょうか、街を歩いて疲れたときに、ちょっとしたベンチでもあればいい、というようなことがありますか……。

ヒールシャー 東京で便利なのは電話ですね。世界一だと思います。ところが、ベンチがないので座るところがないのと、紙クズ入れがないですね。

山東 どちらかというと、東京の町は若者向きにできているという感じがしませんか。

ヒールシャー まあ、だれも考えずにできたと思いますね。方針なしでできたのではないかと……。(笑い)。

山東 先ほどの路地裏の静かな環境とは、また別なことなんですけれども、たとえば、オーストラリアあたりの静かなところから新宿に行つ



って、新宿中毒と言いますが、過密中毒になりましてね。にぎわっているのがいいと、帰るととてもさびしくてしょうがないから、また来たくなるというような……。

ヒールシャー はい、人間には二つのタイプがあつて、一つは田舎タイプ、もう一つは都会タイプです。都会タイプの理想は多分、昼間は都会に行つて、夜は少し静かなところですよ。しかし、いつまでも都会のやかましいところへ戻れるということですね。

だから、主に山手線内には、もっと制度的に都会の独特な条件に合うような政策をすすめる。山手線と環状八号線の間ぐらゐは住宅地にして、そのあとで、またサブセンターの吉祥寺あたりを中心としたやかましいゾーンを考える。ある人は都心部に、ある人は吉祥寺に行くというようなりんぐをつくれればいいんじゃないかと思ひます。

それと、小さい子どもを持っている家族にとっては、車はいちばん便利な交通道具ですね。

魅力のある街

山東 最後に日本の都市の中で、どこがいいと思われれますか。

ヒールシャー 私にとって、東京は問題が山ほどあるにもかかわらず、一つの魅力のある都市

混んでいる電車に乗せるよりいい。だから、都心部で車を使える条件を全然つくらないと、私は困るわけです。広い道路を駐車禁止にするとは、私は理解できない。また、住宅地のなかでも広い道路をどうして駐車禁止にするのでしょうか。

もう一つは、電子の国、日本でどうして信号をもっとうまく、交通の流れによって青い信号の長さを調整するとかできないのか。

速度も、もう少し柔軟性があればいいと思ひます。いつも四十キロではなくて、三十キロないし六十キロの間を、適当に交通の流れによつて調整すれば、ずいぶんよくなるはずですよ。

山東 これは、確かに将来のエレクトロニクスの活用による……。

ヒールシャー いまでもできるんですよ。海外のいろいろなところに実現しています。もう十年、二十年前からですよ。だから、日本のような電子産業の王国が……（笑い）。

ですね。この材料をどういうふうにも、政策のひとつの方向に利用するかをみてみることは、ひじょうに関心のあることですね。

山東 永久に材料であつたりしたら困るんです

がね（笑い）。

ヒールシャー さつき言った十年前、生活の条件としては、東京は最悪のところだったと思ひます。ところが、都心部から少しずつよくなる傾向がみえたわけです。

もう一つは、東京湾あたりに湾岸道路ができ、幅広い東京ができあがりつつあるわけですね。ひじょうに小さくて場所がない、空気がないというような東京じゃなくて、少し幅広い、車もわりに自由に動けるようなところ、そしてどこか降りて散歩できるし、海も見えるようなところをつくっている。それをうまくすれば、将来、混んでいる東京とは対照的に広い東京……、そのバランスがとればいいじゃないか。私は、たまにはそこへ行ってドライブをしますが、十分に可能性がありますね。

地図をみてください、たとえば東京湾のほとんどもを土地化して、これを新しい緑の東京の中心としてつくる。私は、東京湾をひとつの湖ぐらの役割にして自然の部分として使つて港の産業の部分はこの外に動かさば……。

山東 いまの東京湾をもつと土地にして埋められて、ということですね。

ヒールシャー はい。私は、これは東京に二十世紀の理想的な町をつくる最高のチャンスではないかと思ひますね。

それと、東京には歴史の残っているところは少ないですね。だから、皇居の周辺とか大事に

してほしいわけですね。東京のいちばん魅力あるところは皇居あたりにあるんですね。少なくとも、この百年の歴史をもつものは、できるだけ残してほしいと思います。たとえば東京駅の丸の内側のレンガのファサードです。
山東 なるほど、歴史的な遺産の少ない東京で、なおさらのこと大事にしなければいけないですね。



たとえば、丸の内のおフィス街は建物がみんな同じですね。少しは彫刻を出して、並木を手入れしたからよくなった。ビルそのものはつまらないですよ。ボックスに窓ばかりで何もありません。その上に、夜はだれもいないです（笑い）。それは向こうの悪い例をそのまま導入したようです。

いいのは新宿の高層ビルの中で、ふつうの事務所がしまったところでも、店があるとか、レストランがあいている。実務時間以外にも使えるような条件も大事ですね。

山東 夜になると、ゴーストタウンになるというのはよくないですね。いろいろなものが混合し合って、しかも、二十四時間とはいかなくても、ある程度、長い時間を楽しめるような町が……。

東京以外では、どんな町がいいと思われませんか。

ヒールシャー 大きさとして、町の施設として、自然との関係として、いい例は札幌だと思えます。都心部の能力も十分発達して、自然環境との関係もよく、バランスのとれた都市開発ができたと思います。

熊本もなかなかいい町だと思います。歴史の部分と現代の部分がよく共存していますね。

名古屋は都市計画としてはうまくできたんですが、都心部は何かちよっとおもしろくない面があります。広いだけで、ヨーロッパのような計画だけの町のひとつの危険性が感じられるわけです。

仙台の新しい駅、駅だけでなく駅前の広場もまた完全にはできてないんですが、おもしろいのは、二階建ての駅前の広場を幅広くつくったわけです。仙台は城下町だったわけですが、お城がなくなって、今度は駅下町ですね。

まあ、どの町でも一つのポイントが必要ですが、仙台は駅です。東京は皇居の周辺ですね。それと、環境を考えて、どこか広めのところがどの町にも必要だと思います。いつも狭いところばかりでなくて、広くて、なるほどここは立派だ、という気持ちでみられるような魅力を残す。あるいはふやせばいいと思います。

山東 いやあ、ひじょうに、おもしろかったです。

(構成、文責・編集部)

メガトレンド

ジョン・ネイスビッツ著

竹村健一訳

三笠書房/九八〇円

西暦二〇〇〇年まで十数年と迫ってきた現在、今後二十一世紀までに経済・社会はどのように変わるのだろうか、という議論が多く見られる。「二十一世紀……」「二〇〇〇年……」といった題名の本も増えてきている。これらの背景には、石油危機後の低成長経済、成熟化、高齢化といった悲観的要素と、世紀が変われば世の中もいい方向に変わるのではないかといった明るい要素が複雑に絡みあっているようだ。

ちよつと思いついただけでも、現在起こりつつある経済・社会の変化が目につく。

第一に、高齢化の進展である。出生率の低下と寿命の延伸により、高齢者の比率は年々高まっており、

大企業ではすでに定年制の延長に踏み切り出した。今後とも高齢化の傾向は続くと考えられる。また、それに伴い年金・福祉についても財源不足が生じつつあり、国鉄において問題が表面化している。

第二に、女性の社会進出である。最近のアンケート調査によれば、主婦のパート希望が急増している。女性の社会参加意識は年とともに高まり、高齢化問題とも絡み、女性の社会進出による高齢者の失業が問題化するのも、そんなに遠い将来のことではないだろう。現に、失業率に占める女性失業の寄与率は年々上昇しており、これがいつ高齢者の失業増加の引き金にならないとも限らない。

第三に、労働時間の短縮である。わが国の年間総労働時間は、欧米先進諸国に比べれば二〇〇〜四〇〇時間多いのが現状であるが、戦後生まれの世代が大半を占める現在、レジャー指向が高まり、余暇時間が増大する一方で労働時間は短縮することとなる。女性が社会に出ることによって高齢者が失業し、労働時間が短縮することに

●原稿募集

▼本誌では、建設関係の報告文、論文、体験記、随筆、各地のニュース、河川や橋、道路、公園、街並みなどの写真（コメントをおつけください）、その他の投稿をお待ちしております。

▼掲載の際には、規定の原稿料をお支払いします。なお、原稿は原則としてお返しいたしませんので、コピーをおとりの上、お送りください。原稿は、若干の字句修正をさせていただくこともあります。

▼その他、本誌へのご要望、ご意見をお寄せください。

▼編集部 千100 東京都千代田区永田町1-11-35

全国町村会館
（勸全国建設研修センター 建設研修調査会内）

TEL・(〇三) 五八一—二二八—

よって雇用が増加し高齢者の失業を吸収するといった、ワークシェアリングが実際に起こったとしても不思議ではない。

第四に、経済のソフト化・サービス化である。大都市において端的に現われている現象であり、これが地方に波及するのは時間の問題である。

第五に、技術革新、情報化の進展である。最近の先端技術には目を見はるものがある。わが国も今

や外国から技術を輸入し、それを応用して製品を開発するといった高度経済成長時代のシステムでは対応しきれず、自ら開発を行うところまできつつある。二十一世紀には多くの最先端技術が実を結ぶこととなる。また、その技術開発の中でも通信・情報に関する技術については、INS、VAN、CATV等すでに試行の段階にある。従来、私企業で行っていたのでは膨大な費用のかかっていた通信施

二〇世紀もあと一〇数年を残すのみとなり、これまでの一〇〇年の歩みが多くの人々の話題にのほるようになってきた。とりわけ、わが国の二十世紀は日本史の上でも、世界史の上でも特筆すべき驚異的な成長を成しとげている。今後、その理由や背景が論議されていくであろう。その際に、経済力の成長はもとより、人口の数が約三倍、都市の面積で約十倍になっている、その基盤が問われなければならない。

二十世紀におけるわが国の成長はなぜ可能だったのか、その成長の基盤はいつ、どのようなものとしてつくられたのか、そして、その基盤は来たるべき二十一世紀にも通用するものなのかが問われなければならない。この問いに対する答えは今後、さまざまな分野において探索し続けられるであろう。本書はこのような問いに対する答えを出すことを鮮明に意識して書かれたものではないが、読者にわが国の都市建設にかかわるこの

一〇〇年の基盤について考えるきっかけを与えてくれる。

近代日本の中心都市 (Primate City) であり、政治・経済・文化の中心 (Capital) としての東京が明治期にどのように整備されたの

明治の東京計画

藤森照信

岩波書店 / 3,700円



にとらえ、それをタテ系とし、東京府や内務省の動きと、渋沢栄一、由利公正、井上馨、松田道之、芳川顕正等の人物をヨコ系にして、いきいきと描写している。

明治期の東京の都市計画のはじまりは、偶発的に生ずる大火であり、それを近代都市づくりへの絶好の機会とみなして、奔走する維新を担った人々の試行にあった。その成果は直ちに生ずるものもあつたが、数十年の歳月をまたねばならぬものもあつた。しかし、この時代の都市計画の試みは、その後のわが国の全体の都市へ強い影響力をもっており、東京だけの計画に終つてはいない。

本書がいきいきと当時の状況を描写しているのは、著者があとかぎにも述べているように、現在の東京の街をつぶさに見てまわり、東京を実感したためかもしれない。また、本書の巻末に載せられている当時の東京の街の写真や都市計画者の構想図も興味深い。ぜひ一読を諸兄におすすめる。

かを豊富な資料を駆使して、本書は明らかにしようとしている。東京における明治の都市計画を銀座煉瓦街計画、防火計画、市区改正計画、官庁集中計画の四つの計画

設の整備も、公的な施設を利用することが可能になり、今後二〇〇〇年に至るまで飛躍的に発展することになろう。

最近の新聞、雑誌を見ただけでも毎日のように目に入ってくるような、わが国の経済・社会の動きをあげたわけだが、米国における未来社会の予測の極めつけが本書「メガトレンド」である。経済・社会の大きな傾向を一〇の潮流に分けて簡易にまとめ、情報化、技術革新、長期的発想、分散化、自助独立、多様化といったところに視点を置いており、今後のわが国の経済・社会を論じる上でも役にたちそうな点が見受けられる。また、翻訳にしては珍しく英語の関係代名詞をうまく日本語に訳しており、読みやすさの点でも評価できる。訳者竹村健一が「日本のメガトレンド」として日本版の大きな潮流を著わしているが、米国版メガトレンドを読んだ後、日本においてはどのようなだろうと考える読者には恰好の書物ではないか。

県土の形成のために……



本県は北に主峰赤岳をはじめとする八ヶ岳があり、これから東にかけて秩父山系の山々が連なり、また西には赤石山系の主峰北岳を中心に駒ヶ岳、仙丈ヶ岳など三千メートル級の南アルプス連峰が南北に走り、南には麗峰富士山と、周囲を高峻な山岳に囲まれ豊かな緑と水の美しい自然に恵まれている。

土木行政の基本方針としては、県の総合福祉計画を基に「日本列島の中心―伸びゆく山梨」を目指して県土全域にわたる、望ましい地域づくりと、住みよい環境と伸びゆく県土の形成のための社会資本の整備を積極的に進めている。

道路網の整備促進

本県は四方を東京、神奈川、静岡、長野、埼玉の一部四県に囲まれており、昨年十一月全線開通した中央自動車道西宮線を軸として県内を東西に貫く国道二十号、南北に走る国道五十二号、さらには、県都甲府市を中心に放射状に伸びた国道と、これら幹線を補完する形での県道等により、道路のネットワークが形成されている。

県土の均衡のとれた発展と有効利用のためには、これらのネットワークの体系的な整備が重要な課題である。

(一)、中央自動車道と東海自動車道相互間の有機的な利用と、富士北麓地域の交通緩和を図るための東富士道路は、現在道路公園において着々と進められている。

(二)、北関東の埼玉県と山梨を結び首都圏環状道路の一翼を担い、さらには東北地方との交流をも促す機能をもつ国道一四〇号の未開通部分(約十四キロメートル)の解消がある。これは現在、建設省と山梨・埼玉両県で計画調査を進めている。

(三)、長期的には山梨・静岡間高速自動車道の実現がある。これは東名と中央道を有機的に結び、さらには、太平洋と日本海を結ぶ「中部日本横断自動車道」の基幹となるものであり、かねてより山梨・静岡両県が切望している。

また、鉄道網の少ない本県では、自動車交通への依存度は極めて高く、広域的な経済社会を営むための道路整備は重要な課題であり、先に述べた基幹道路はも

山梨県の土木行政

関戸 研一

(山梨県土木部長)

望ましい地域づくり、住みよい環境と伸びゆく

とより、一般国道をはじめ街路を含めた幹線道路、さらには生活道路に至るまで整備の促進を図っている。

県土の保全と水資源の確保

本県の河川は富士川、相模川及び多摩川の三水系からなっており、一・二級河川併せて六百三河川である。県土はおよそ七十七パーセントが山地であり、これらの山々から流れ出る河川は、いずれも急流で、少ない平野部に集中している。

又、富士川流域の河川の多くは、上流山地の崩壊土砂の流出により天井川となっており、歴史的にみても、一旦豪雨の際の被害は激甚なものとなっている。このため治水の歴史は古く、戦国時代武田信玄が築造した信玄堤など尊い遺産が各所に散在している。

災害を未然に防止し、流域住民の生命・財産を守るための河川改修は、天井川の解消と、最近の都市化の進展に伴い要請の高い都市河川の整備などを重点に進めている。

また、本県は地勢上から荒廃溪流が多

く地質的にも脆弱であるため土石流・地すべり・急傾斜地等の危険箇所も多く過去において幾度か大きな土砂災害を受けている。

このため豊かな県土の保全と、県民の生命・財産を守るための砂防関係施設の整備を積極的に進めている。

治水と恵まれた水資源の有効利用を図るためのダム事業については、現在荒川・大門・塩川の三ダムの建設を、また、深城・琴川などの調査を進めている。

都市基盤の整備

本県のまちは、商業機能、教育文化機能などを中心に周辺農山村地域と一体となつて発達している。近年本県においても都市部への人口が集中傾向にあるが、特に甲府都市計画区域は、人口の急増に伴い、市街地周辺部のスプロールが進み、市街地の無秩序な拡大・土地利用の混在・さらには都市部をはじめ周辺の交通渋滞等による都市環境の悪化が問題となっている。このため土地区画整理事業等の面的手法による都市基盤整備をはじめ

め、街路にあたっては、一点集中型である道路を補完し、中央自動車道との有機的連絡を図るための環状街路の整備と公園・下水道など日常生活に密着した都市施設の整備を図る必要がある。

また、下水道事業については、現在富士五湖の水質保全などを図るための「富士北麓」及び、石和温泉郷を中心とする「峡東」の二つの流域下水道を進めており、一部処理開始をそれぞれ六十一・六十二年度として努力している。

国民体育大会への対応

本県は昭和六十一年に、第四十一回国民体育大会「かいじ国体」の開催が決定している。この大会は、県下三十九市町村にまたがり、八十五会場で行うもので、新設は四十八施設となっている。主会場となる小瀬スポーツ公園は、公園事業として、陸上競技場・野球場及び体育館などの建設を進めているが、これら会場に関連する道路・河川などの整備も緊急な課題である。

測量部で 実施している研修

当部で実施している研修は、高等課程二コース、専門課程三コース、普通課程一コースの計六コースである。以下、簡単に各研修コースを紹介しよう。

○専門課程測量技術科

本コースは、建設省、北海道開発庁、地方公共団体及び公団の職員で、測量、調査、計画等を担当する係長または係長相当の者を対象として、各種調査、計画等に必要な測量とリモートセンシングに関する専門知識および技術の習得を目的として実施する。十七日間と比較的短い研修期間ではあるが、カリキュラムの編成に当っては、

(1) 測量の計画、積算、検査等に必要事項について、写真測量に焦点を合わせながら、基礎

から学べるようにすること。

(ロ) 写真判読、リモートセンシングについて基礎から応用までを取扱うこと。

(ハ) 測量の最新の動向の講義を入れること。

などの配慮をしているため、カリキュラムはかなり欲ばったものとなっている。幸いにも、受講者からは好評を得、期間の延長を望む声も寄せられている。

これ以降に紹介する研修コースは、国土地理院の職員を対象に行っている。大蔵省印刷局における研修（印刷局教習所）、国税庁における研修（税務大学校）などそれぞれ長期間にわたる専門的研修を実施しているが、国土地理院でも同様な研修を職員育成上必要とし、

それを受けて当部で実施している。

○普通課程測量科

新規採用技術系職員を対象に国土地理院の業務遂行に必要な基礎知識および技術の習得を目的として一ヶ年実施し、修了者に測量士補の資格を与えている。本研修の特徴として、研修時間の八七％を占める専門科目のほとんどを当部の教官が受け持ち、また、研修終了後即現場で仕事を行えるように豊富な実習が組まれていることを挙げることができる。

○専門課程測量科

職務遂行に必要な専門知識、技術の習得を目的として、各年度毎にテーマを設定し、実施している。昭和五十八年度には、共通的基础科目のうえに、精密測地網、公共測量、測量設計の専門科目を設定している。このコースも、研修時間の大半を国土地理院職員、当部教官が受け持っている。

○専門課程地域情報科

各種の地域情報（例：土地利用、土地の自然条件等）の取得に関する

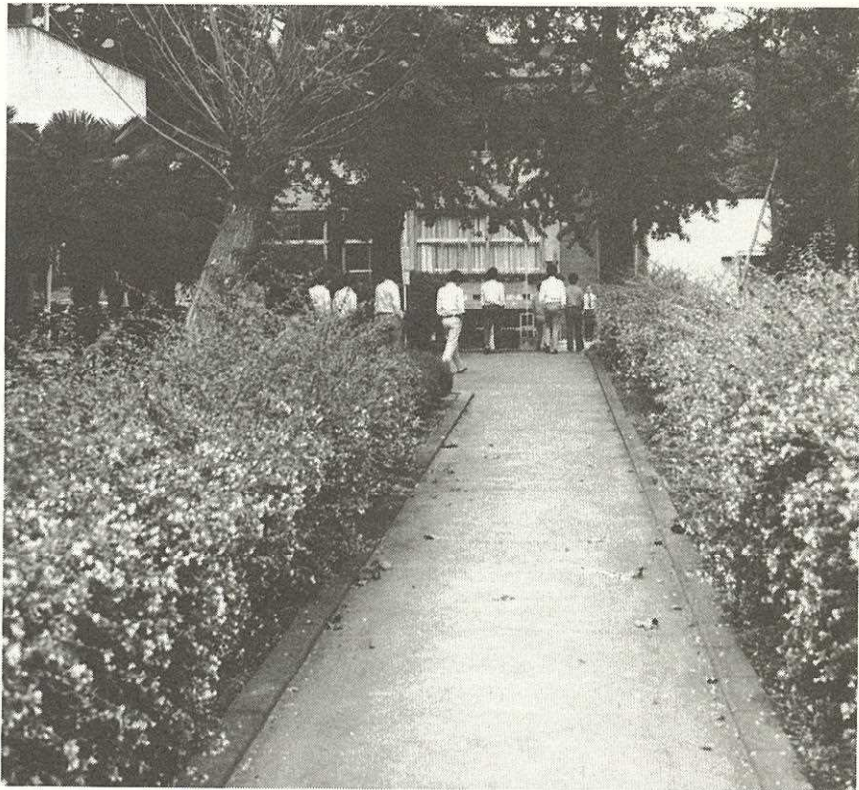
建設省建設大学校からの報告

る技術、あるいは、取得された情報の処理、表現技術などを習得させることを本コースの目的としている。昭和五十八年度は、このう

ち、後者に主眼をおいた研修を実施する。

○高等課程測量科

本コースは、七年以上の実務経



験を持つ者を対象に、職務の遂行に必要な高度な専門知識の習得および技術管理能力の向上を図ることを目的としている。本コースでは、各研修員に職務に関連したテーマで課題研究を課し、論文をまとめ、発表させる方式を導入して研修効果の向上を図っていることが特徴となっている。

○高等課程技術管理科

技術系係長を対象に技術管理能力の向上を図るとともに時代に対応した高度の新規技術を習得させることを目的とした研修コースである。

以上が当部で実施している研修の概要である。当部では、教官が全研修時間数の約七〇%を担当しており、各教官とも最新の技術動向に配慮されるように、また、限られた時間内で研修目的を達成できるように努力しているところである。

(測量部・主任教官 保谷忠男)

めぐって

(財)土木研究センター理事長

谷藤正三



いくつかの思い出

海谷 先生は、大学を出られてから内務省にお入りになり、それ以来、各方面でご活躍になり、現在は(財)土木研究センターの理事長その他幅広く活躍でございます。

在任中は建設省の国道課長、土木研究所長それから都市局長、首都圏整備委員会事務局長として都市問題に取組まれ、その後、北海道開発庁の事務次官として北海道の開発に力を入られた等々、ひじょうに多方面でご活躍になってこられました。そういう、いろいろなご体験を通しての思い出話があれば、お話しいただきたいと思えます。

谷藤 そうですね。私の場合は、よく「あなたは技術者なんですか」と言われるんですよ(笑い)。それぐらい雑学のところばかり歩いているものだから、思い出といえば、いろんなことがありますね。

アスファルト舗装

やはり、私が技術者として歩いた道のなかで心に残っているのは、終戦直後に偶然「東洋経済」を見てましてね、二十五年にGHQが石油精製再開許可という記事が出てたんです。石油精製再開となると、アスファルトが出てくる。建設復興でセメントが足らなくて、とても舗装

なんか回してくれないから、それじゃアスファルトを使おうということになり、石油精製再開と同時に丸善石油に走って行って材料をもらい、土木研究所でいろんな研究を始めたわけです。

たまたま、二十四年に、GHQからアメリカへ行って舗装を勉強してこい、という許可をもらったもんだから、もっぱらアスファルト舗装の勉強をして帰ってきた。そこで、まことに運よく、二十九年に第一次の道路整備五ヶ年計画が始まりましたからね。

舗装は、セメントでやると、交通量が少ないからいくらでも薄くというわけにゆかないために、キロ当りの単価がひじょうに高いものになる。アスファルト舗装だと、段階的に厚さを変えられるからうんと安くできる。計算をやる、第一次道路整備五ヶ年計画の舗装が始まるころには、コンクリート舗装とアスファルト舗装とは四千キロぐらい舗装延長の差をつけることができる。そういうことで、アスファルト舗装採用ということに踏み切った。あれが、今残っているアスファルト舗装九八%時代のはしりになっている。

伊勢湾台風

それから、もう一つは、僕にとってはマイナスなのかプラスなのかよくわからないけれども、ちょうど国道課長るとき、三十四年に伊勢湾台風がきた。堤防が流失して津島まで全部浸水した。

国土建設を

建設省建設大学校長

海谷基治



二メートルの流速で、国道一号線が分断されておるわけですよ。その前の年まで、僕は名古屋にいて中部地方建設局の企画部長をしていたから、愛知用水の岐阜県のところトンネルを掘って岩くずがたくさんあるのを知っておったわけです。それじゃあ、あれを使ったらどうかということ、日本舗道からドラム缶を一万二、三千本集めて岩くずを詰め、ずつと並べてその間にも岩くずを入れて埋立て、一号国道を予定より一日早く交通できるように仕上げたんですよ。

当時、大野伴睦さんが災害対策本部長で、僕は当然、局長の許可を得ていたから本部で説明してくれていると思った。だから日本舗道に「ヨシ、やれエー」と命令して役所に帰っちゃったわけです。ところが、役所に顔を出したとたん、村上さん(当時の建設大臣)に「貴様は、関東軍みたいに許可ももらわなくて業者発注したのはけしからん」と怒られた。それ以来、大野さんには「命令を全然聞かない男」ということになっちゃった(笑い)。

筑波研究学園都市

ほかに思い出に残ったことと言えば、首都圏の事務局長として、河野一郎さんと一緒に筑波研究学園都市の現在の位置を飛行機の中で望みながら、ああだ、こうだ、と言ってる間に、みんなイモ畑しかできないところなら工事費も少なそうだからと決めたのが、二十数年後の今に

なつて一応、既成の形をとったというふうなことです。

東部苦小牧

北海道時代には、他のところと違って東部苦小牧はどうせ国費だけではどうにもならないから、計画を立てたときに交付公債で県庁に用地を買いに入らせた。そして、東部苦小牧が国有地となり、今や船が入るような時代になった。まあ、このくらいが大きな仕事ですね。

明治時代の人たちの迫力

海谷 今のアスファルトのお話なんか、今度の土木学会の功績を先生が受けられたことと関係ありませんか。

谷藤 そうというのが影響しています。それと役所を辞めてから、学校の先生もずいぶん長くやっていますね。

われわれの時代は、ある意味においては、明治時代の最後の人たち、日本の国を育てていくための基本となった人たちに、学校を出てわずかな年数ながら、徹底的に教えられ、育てられ、怒られたということが、ずいぶんプラスになっていると思うんですよ。国を背負って立とうとした人たちの力、ものの考え方は、やはりにか迫力があつたんですね。



戦後の国土政策の流れ

海谷 今の先生のお話のなかでも、だいたいがかわるんですけれども、戦後、荒廃した国土を建設しなければいかんということでも出発して、今日の繁栄まで三十年以上たっているわけです。

振り返ってみますと、終戦後は、まず食糧増産、それから台風がきたらすぐ川が氾濫してしまふということでも国土保全、それに電源開発、そんなことに重点が置かれてきた。その後、いわゆる道路整備を主とした産業基盤の整備に重点が移ってきた。また、高度成長を迎えて過密・過疎問題とか、いろんなヒズミが出てきて、国土の均衡ある発展をはからなければいけないということになってきた。

また最近では、全国的な都市化の波と、社会なり国民のニーズの多様化ということで、都市問題といいますが、生活全体を考えていかなければいけないというようなことが、国土行政の中心になってきています。いわゆる、定住圏構想というようなことが言われる時代になってきた。施設のハード面だけでなく、緑の問題、その他いろんな細かい配慮をしながらやっていかなければいかんというふうに、国土政策が移ってきている。こういうふうな流れについては、

どんなふうなお考えをお持ちでしょうか。

都市化と情報

谷藤 いや、その点で、どうも建設省というところばが気に入らない(笑)。Ministry of Construction という英語はぜんぜん通じないんです。一体、何をやるんだと。Ministry of Land Use だとかであれば、ちゃんと世界中に通ずるんだけれどもね。公共事業なら公共事業ということが、はつきりするような姿が必要なんじゃないか。

都市化時代を迎えるというなら、地方において、いかにして情報を入手できるかを考えないと都市化についていけないと思います。今度の科学技術博覧会が一つのキーポイントだと思うんですけども、パビリオンをつぶさないなら、あいうところを中央情報コントロールセンターにして、大阪だとか福岡、札幌、仙台、広島にブランチ・オフィスの情報センターをつくる。必要な情報は、東京にきて聞かなくたって、ボタン一つで手に入る。そういうことをやる組織と都市運営を、合わせて考えていくような政策になってほしい。それをやりさえすれば、僕は地方都市の健全な発展はひじょうにやりやすくなると思う。そうでなしに、建物をつくったり、土地利用だけ考えたって、豊かで潤いのあるほんとうの都市はできませんよ。ポリシーをとことんまで考えることが重要だと思う。

アイデアと政策

私は、建設大学の講義でも「建設省って何だ」と若い人たちに質問するんです。建設省というのは、完璧な社会福祉省だろうと。社会福祉のいちばんハードな部門を引き受けてやっているのが建設省だろうと。あなた方はダムをつくることになにも商売でもなければ、河川の堤防、道路を造ることだけが目的で月給をもらっているのではないだろう。どういふふうにしてに幸福に、日本人が生きていけるようにするか、その目的のための手段としてやっている。それなら、もっと豊かでおおらかに、他の省に関係があらうがなからうが、こういうアイデアのなかで、こういう政策をやっているんだ、という考え方をしたらいいじゃないか。そうすれば、山の中でダムをやっていたって、もっととおおらかな顔になるぞ、と言ってます。(笑い)。

海谷 確かにそうですね。

二十一世紀に向けての国土建設のあり方

人口と産業構造

海谷 これからの二十一世紀へ向けての国土行政、国土建設のあり方を考えるときには、当然基本的には人口がどういふふうな勢をたどっていくか、それから、先端産業を含めてどんな産業構造に推移していくかを考えなければいけない。人口については、ご承知のように、二〇〇〇

年には一億三千万に増える。もう一つは、高齢人口が増えて、ピーク時には二十二%ぐらいは六十五歳以上の人口になってしまうというような予測に立っているわけですね。

また、産業のほうを見ますと、鉄鋼だとか、自動車、石油化学の時代から、エレクトロニクスとか新しい素材産業が、これからはひじょう



に盛んになっていくわけです。

こういうことを踏まえながら、国土建設をやっていくかなければいかんと思うんです。その辺、どんな点に配慮していくべきだろうかということについては、いかがでしょうか。

国土の利用計画

谷藤 講義でも言うんですが、あなた方は、今まで五十代で仕事をやめていたのが延びても六十歳だろう。ところが、計算ではあなた方は八十いくつまで生きることになる。そうすると、辞めてから二十年、役所に勤めたよりもちよつと短かいくらいの年数を生きなければならぬ。その間、子どもが面倒をみてくれないとならぬら、自分で生きる道をさがさなければならぬ。それには働き口があるということにならなければならぬ。

ところが今、日本海側のほうは、学校を卒業して田舎に帰っておいたら百坪の土地に家がゆうゆうと建てられるけれども仕事がない。だから、太平洋岸にあるいろいろな生産設備が、大小にこだわらずやってくるような、距離感をなくするような土地利用計画をちゃんとやって、生まれた土地でゆうゆうと暮らしていくということにならないとね。なにも東京や大阪に来なかつたって暮らせるようになる、どこにいても仕事が見出せるようになるにはどうしたらよいか。そういう国土政策を勉強してやるのだければいけない。オレは一生涯に国道をつくっている、

ダムをやっていると云ったって話しにならないぞ、と言っているんです(笑い)。

そこまで考えて、土地の利用計画をきちんと立てて、そのために必要な道路をつくり、港湾もつくる。住宅・都市もつくる。とにかく、国土政策をもつと高度に見られるように育てていかないといけないのではないかと、思うんです。海谷 人口が一億三千万人ぐらいになって、そのうえ、日本の土地は山が多いですからね。そういう土地利用の制約と水資源の制約がありまから、うまく国土利用計画をしないと、いけないし、それに基づいて道路その他の計画がつくられていく。そういうことが、いちばん重要ですね。

座標転換の時期

谷藤 傾斜度八度まで全部足しても三〇%しかないんですからね。有効利用のできる土地は三割しかない。

どこにいても、もっと便利に生活できるように距離しかないと、時間を距離でうんと延ばしておいて、こっちは不便だのと言っているわけですからね。私の生まれは秋田だけれども、先だって空港ができるまでは八時間かかったんだもの。日本でいちばん遠いくにですからね。それが今は飛行機で一時間でしよう。

テクノポリスが空港のそばにできるとなれば、やはり高速道路は空港のそばを通らなかつたら意味がないわけですね。

船の場合だって、遅いといっても運賃は三分の一ですからね。それなら高速道路が波止場まで入っていくアクセス道路が必要だ。

そういう点で、道路政策一つをやるにしても、産業構造と絡み合せた形の体系が必要になってくる。

それに毎年、北海道では石狩川が氾濫を起こしているのに水が足りないと言っている。確かに梅雨がないから、春になってから水を貯めたのでは量がない。ところが、冬の間は雪が降っている。だから、低いダムで至るところを止めおいて、雪を溶かして貯める。そうすると水が足りないとは言えない。

今までは、明治政府以来、走ることが精一杯、どうして追いつくかというこでやってきた。ところが、よくみたらヨーロッパに追いついた。そうしたら目標を失なってポーツし始めた。これを、もう一度締め直して座標転換していく、大事な時期に入っていると思うんですよ。そのところで、ものを考えるという舞台をつくらなければならない。

国土建設に 携わる人に望むこと

海谷 先生には建設大学校に講義に来ていただいておりますし、また全国建設研修センターの理事もされているわけですが、人づくり

といますが、国土建設に携わる人に望まれることといたします。

情報

谷藤 三十年代後半に建設工事は全部請負になって、直営現場がなくなった。あのときに、僕は各地方建設局に一カ所ぐらい直営現場を残しておいてくれと言っていたんです。学校を建てたら、そこで徹底的に覚えさせる。それを経験したら、どこへ行ってもかまわない。少なくとも、自分がどういう仕事をしなければならぬか、自分の頭で設計し、工事をやってということ覚えていかないと、ほんとうのものにならないのではないかと主張した。ところが、請負でやればもっと安くできるものを、直営では国損を与えるようなものだという意見がありましたね。とんでもないと言ってケンカしたことがあるんです。

それで、常日頃言っていることは、問題はどんな情報でも集まるだけのマスメディアを持っているのは役人だと。その役人が、情報をどう組み立て、どう国土建設に役立たせるかは、役人の頭脳がなければできない。つまり、情報というものを自分の政策の中に取り入れる技術で、トコトンまで教育されるようになって君たちがでいていくのでなければ、これは国家公務員たる任務に合わないぞ、と言ってね（笑い）。

政策

そういう点、用地問題一つやるにしても、住

民との接触をどういう形で考えていけばいいのか、あるいは請負計画はどういう形でものを考えればいいのか。われわれの時代の直営工事みたいにああでもない、こうでもない、ただ技術的な指導をするだけでは、けっしてその業者にとってもプラスではないし、役人側にもプラスじゃない。むしろ邪魔になることさえあり得る。それより、むしろ責任施工をやらせるためにはどうあるべきか。そういうことを考えていくようにならないと、中途半端な人間が育っていきことになりかねない。目標を失なうことになりかねない。トコトンまで政策マンとして仕上げていくという形になっていかなければならないのじゃないか、という言い方しているんです。

そういう点では、課長は課長なりに、部長は部長なりに、どういう問題が起きているか、どういうディスカッションすべき共同のテーマがあるか、二日、三日の徹底的な討議だつてやるべきじゃないか。下級幹部、中堅幹部、上級幹部の中に政策という問題を折り込ませたカリキュラムがあるんじゃないかという気がする。

要は、小手先にこだわらずに、ほんとうに国民のためにプラスになるのはなにかという政策的な、全体としての教育が必要なのではないでしょうか。

海谷 たいへん貴重なお話をどうもありがとうございました。

現代人の 読書テクニック

キーワード読みとスキミング

前園 主計

(青山学院女子短期大学教授)

速読の練習は面倒くさいという人に、実践的な速読みの術を紹介しよう。これは実際に本を読みながら、意識的に心がけていると、いつの間にか読むスピードが上がっているという方法である。ただ読む本は、書いてあることから理解していけばよいという速読向きのものに限られる。

キーワード読み

キーワードというのは、鍵になる言葉であり、文章の意味内容を端的に表わす語である。したがってキーワードは「重要語」と日本語に訳される場合もある。キーワード読みはこの重要語だけ読んで、その文章の意味を理解する読み方というわけである。

どだからである。

漢字は字画が多いので目だつし、カタカナは角ばっているためさつと目に入る。外国語の場合ハスペルの長さが重要性を表わしているというのではないが、日本語の場合キーワードが目を引きやすくできており、速読向きにできていると言える。

読みながら、目だつ漢字やカタカナだけ読んでも、その文章の意味がかなり正確に読みとれるところがミソである。もちろん中には重要な漢字も混じっており、これも読んでしまうことになる。しかしこの「ひらがな抜き」の読み方は、読むスピードを飛躍的にアップする。

ちなみに次のキーワードを読んでみてほしい。これだけで、もとの文章の意味は充分推察できるはずである。

キーワード、鍵、言葉、文章、意味内容、端的、表、語

これは本稿の前半に出てきた文章の中からキーワードを拾って並べたものであるが、誰でもその意味をつかめたであろう。

スキミング

スキミングとは本来、つばめが水面にちよつとふれながら飛ぶさまを指している言葉である。転じて速読の場合は、文章のところどころ、多くの場合二〜四

箇所、さつとふれながら読む読み方を意味する。

キーワードを読んでいく場合と同様に、他の字句も眼には入れているのだが読まない。直観によりまったくランダムに、一行の文章の中から適当な漢字を選んでいくことになる。もちろん、読んでいる漢字が適当かどうかの判断はしない。

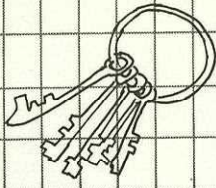
キーワード読みと異なるのは、全部のキーワードを読まない点にある。文章中のキーワードの半分以上は無視する読み方と思つてよい。このため、スキミングはキーワードよりもずつとス

ピードのある読み方となる。しかし速度が増した分だけ、文章の意味の把握が不十分となる。したがって、書かれている細部まで丹念に読む必要がある場合は不向きである。推察で補いながら、文章の意味をほぼ理解すればよいという場合に採用する読み方と言える。

この意味で、スキミングしながら重要な部分と思われる箇所は、キーワード読みで切り換える方法をとるとよい。スキミングとキーワード読みは併用するものだと思えばよい。



先端技術の動向



西暦二〇××年、日本は高度技術集積国として世界のトップランナーの地位を築いた。

全国には、人間の髪の毛よりも細いガラスファイバーの中を光に乗せて通信を送るといふ光ファイバーのケーブル網がはりめぐらされ、企業間はもちろん、企業と家庭、それには家庭間でも、さまざまな高度な情報・通信の交換ができるようになった。

労働時間は、OA（オフィスオートメーション・経営管理のための情報処理のオートメーション化）、FA（ファクトリーオートメーション・工場の自動化）のめざましい普及などもあって、年間一八〇〇時間と、いまだに短縮の過程にある。

就業者数をみると、第一次産業、第二次産業は大幅に減って、経済・社会のサービス化・ソフト化にともない第三次産業の就業者数が八〇%に近づきつつある。

企業ではソフト開発要員が不足しているため、系列のソフト開発企業に開発を委託している。そういう余裕のない企業もある。そのため、ソフト開発は理工系大学生の格好のアルバイトになっている。

一方、二十世紀末から言われていた高齢化の進行が本格化し、六十五歳以上の人の割合が二〇%を上回ってしまった。

そんななかで、技術の進歩にともない、女性が増えます。家事から解放され、勤労意欲の

高い女性の社会進出がいちじるしくすすんだ。二十一世紀の初めごろには、こういう女性の社会進出によって増えた高齢者の失業が、大きな社会問題になったこともあった。今やそれも在宅勤務による仕事の分野が広がって、高齢者や身体障害者は家にいながらにして働くことができる。

子どもは小学生のうちから学校でコンピュ



ータの仕組みや使い方を勉強し、簡単なプログラムの作成をこなすようになってきている。なかには、友だち同士で新しいゲームの開発を競う子どもも出てきた。

普通のサラリーマンは、大都市の郊外に住んで、通勤は新交通システムで最寄りの駅まで行き、そこから勤務先まで、比較的すいている電車を利用している。ほとんどの官公庁、

企業でフレックスタイムが導入されているため、朝夕のラッシュは緩和されているのである。

仕事の帰りは、相変わらず会社の同僚と一ぱい飲み屋に寄って語り合うといった日本的慣習は残っているが、それが深夜まで及ぶということはまずない。

家に帰ると、外国のテレビ番組を見たり、家にいながらにして番組に参加する者が多い。それぞれ家族各自が契約しているCATV放送局の番組を、現在よりも画像がきめ細かくてカラーライドのように鮮明、しかも良質な音声のテレビ放送方式、いわゆる高品位テレビで楽しんでいる。

また、テレビの機能は、VTRを内蔵し、三カ国語放送、ステレオ機能を備え、さらに

ニューメディア

近年の電気通信分野における著しい技術革新により、無線と有線、放送と通信などの異分野が融合化した新しいメディア群が開発されている。

おもなものを掲げると、

① テレビ電波のすき間を利用してニュース、

人びとが眠っている間でも地震、火災、災害その他の緊急警報が必要なきには、該当地域のテレビスイッチが自動的にONとなり警報を放送するなど、きわめて高度化されている。世の中はニューメディアがいたるところに氾濫している。

また、二十世紀末に建設されたテクノポリスとカーンスといった試みは、その後、日本全国に拡がり、地域の経済・社会にとってなくてはならない存在になっている。

一方、こういったテクノロジーの発達と足並みをそろえるように、緑や公園などがわたしたちの身の回りにぐんと増えた。二十世紀末に一時的に、急速に増えたサラリーマンの情緒障害や子どもたちの自閉症の治癒には、自然とのふれあいが一番との心理学者、精神

科医の報告があいついだせいもある。義務教育には「農」の科目が組みこまれている。

技術の濫用を防ぐためにテクノロジー・アセスメント法もできた。

以上はフィクションであるが、これからの経済・社会を考えるにあたって、現在、世の中ですすみつつあることから、どのような形で実現され、その過程でどのような対応が必要かを想像してみるのも意味のないことはない。

そこで、今回は今、わが国で進行している先端技術の動向、なかでも情報・通信関係など横文字や略語で日常よく耳にしたり、口にしたりにないながらも、明解な説明や意見を求められるととまどってしまうような先端技術用語を紹介してみよう。

買利物案内など各種の文字・図形情報を放送するテレテキスト(テレビ文字多重放送)

② 電話回線やCATVケーブルを使ってテレビあるいはパソコン端末とコンピュータを結び、対話形式でコンピュータ内のデータベースを静止画で情報検索したり、商品の注文・予約などを行うサービスの総称であるビデオテクス

③ テレビの視聴者が手元の端末装置を使って番組に参加するなど、自ら情報の送り手にな

る有線テレビシステムである双方向CATV

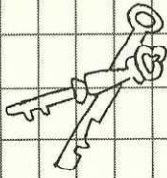
④ 画像センターのコンピュータに蓄積した多彩な情報を、家庭やオフィスのテレビ端末に即座に呼び出せるシステムであるVRS(画像応答システム)

⑤ 高速ファクシミリ

⑥ テレビ電話

⑦ 電子メール

などがある。また、ニューメディアをつなぐ通信システムとしてデータ通信網、LAN(ロ



先端技術の動向

ーカル・エリア・ネットワーク）や通信衛星などがあげられる。

これからのニューメディアは従来のメディアと違って、一方的な情報伝達だけでなく、情報のフィードバックなどを可能にすることにより、在宅勤務や在宅学習なども不可能ではなくなり、社会に与える影響は大きいものと思われる。

INS

（高度情報通信システム）

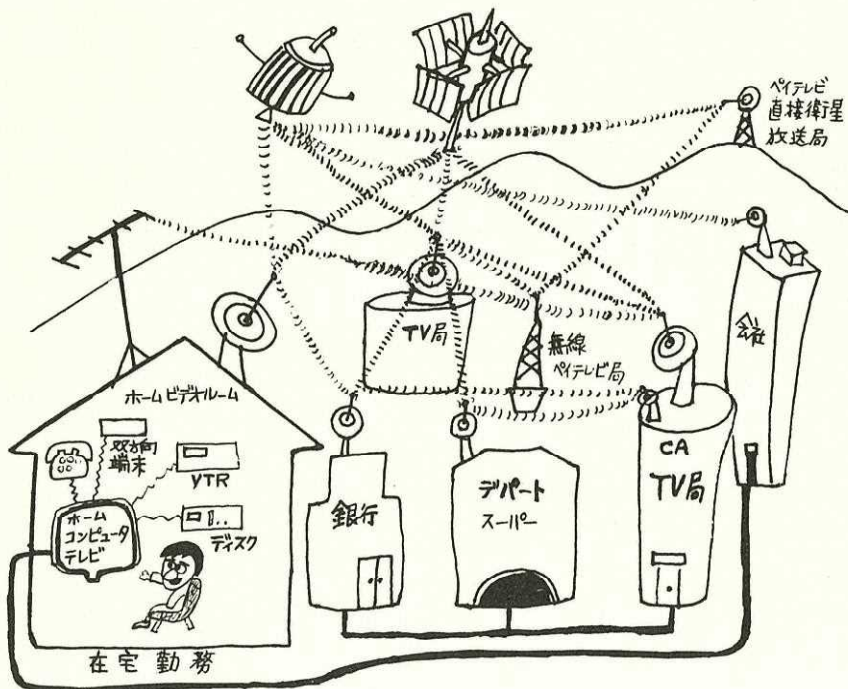
Information Network System の略。近年、

経済・社会における情報化の進展にとまぬい、データ通信、ファクシミリ通信、映像通信など多様な通信需要が増えつつある。

このような電気通信への多様な要請に応えるとともに、飛躍的に進歩を遂げているエレクトロニクス技術を駆使して、アナログ技術をベースとする電話網など既存の通信網の限界を克服し、国民に「より安く、より便利で、より豊富な」電気通信サービスを提供し、来たるべき高度情報社会のインフラストラクチャとしての役割を担うことを目的とするものである。

その特質は、第一に電話網・電話中継網な

新 家庭情報システム想像図



どのネットワークをすべてデジタル化し、これを軸として現在あるネットワークをすべて一つのネットワークに統合することであり、ネットワークの経済化、複合通信の実現、通信品質の向上が図られる。

第二に、ネットワークの高度化と情報処理との融合であり、通信処理の効率的な実現、コンピュータとネットワークの有機的な結合が図られる。

第三に、料金体系の一元化であり、ネットワークの結合による料金体系の一元化、情報量の単位であるビットにリンクした通信料金の設定、ネットワークのデジタル化、光・衛星などの新技術導入による遠近格差の是正が図られる。

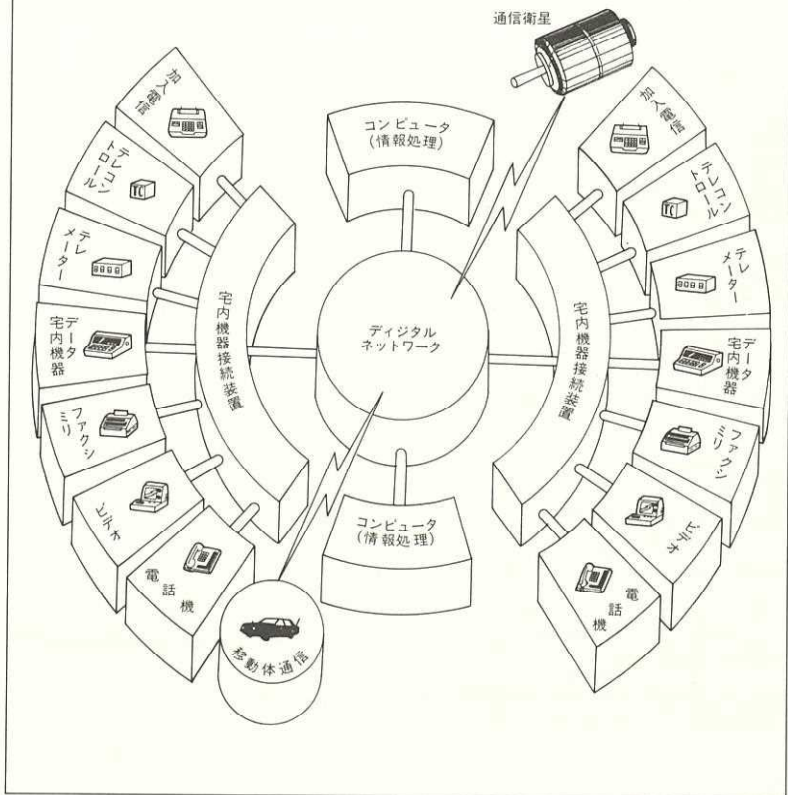
これが完成すれば、情報のシステムの処理能力は飛躍的に高まり、産業構造から個人の家庭生活にいたるまで著しい変貌を遂げるものと見込まれる。

他方、特定機関への情報集中、プライバシー侵害、情報犯罪などのマイナス効果も生じるおそれがあり、チェックシステムの開発も重要な課題である。

なお、ネットワークをすべてデジタル技術によって構築するための技術確認、INSで提供するサービスの有効性・経済性の把握、顧客による利用技術開拓の場の提供などを目的とするINSモデルシステムの構築が東京

の武蔵野・三鷹地区で行われており、五十九年七月から総合運用を開始する予定である。

INS(高度情報通信システム)

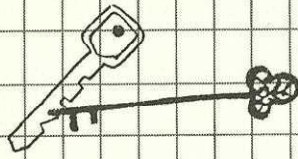


CATV

(cable TV)

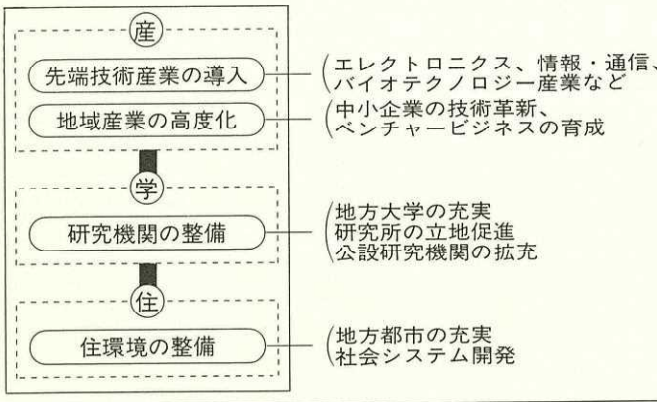
有線テレビのこと。元来、ビルの谷間や山

間辺地など電波障害が発生する地域の難視聴対策として生まれたものであるが、良質なチャンネルが数多くとれるなどの特色があるため、最近注目されている。わが国では、五十八年三月現在で約三四〇〇局あって、加入世



先端技術の動向

テクノポリス構想



帯は三十六万世帯に達している。ただ、大半は一般テレビの再送信のためのものである。最近、全国各地で六十一年ごろを発足年次とするチャンネル数三〇前後の計画が策定されているが、その内容としては、同時再送信(そのままテレビ放送を映すもの)、異時再送信(たとえば、NHKと契約して一日中NHKニュースをくり返すというようなもの)、区域外再送信(ある区域で行っていないサイバ

産業コンプレックス構想の特徴

函館 (北海道)	海洋関連産業群、資源活用産業群、寒冷地型社会開発産業群
青森 (青森)	メカトロニクス、バイオテクノロジー産業等
秋田 (秋田)	エレクトロニクス関連産業、資源エネルギー開発産業、新材料産業、バイオテクノロジー産業
宇都宮 (栃木)	メカトロニクス、エレクトロニクス、ファインケミカル、新素材等
長岡 (新潟)	高次システム産業コンプレックス、アーバンビジネスコンプレックス、ニューアグリンスターストーリーコンプレックス
富山 (富山)	バイオテクノロジー産業、メカトロニクス、新素材
浜松 (静岡)	光技術産業、ホームサウンドカルチャー、高度メカトロニクス、情報通信システム等
西播磨 (兵庫)	高技術機械産業コンプレックス、医療福祉産業コンプレックス等
御坊 (和歌山)	健康開発産業コンプレックス(ME、バイオテクノロジー産業、ファインケミカル等)
吉備高原 (岡山)	医療・医薬品産業、化学工業系産業、農業系コンプレックス
広島中央 (広島)	メカトロニクス、船舶海洋エレクトロニクス、ホームエレクトロニクス、地域社会システム
宇部 (山口)	ファインケミカル、バイオテクノロジー産業、新素材、エレクトロニクス、メカトロニクス等
香川西部 (香川)	超精密計測制御機器、生活システム産業、海洋開発産業等
久留米・鳥栖 (福岡)	高次システム産業 (情報関連、社会開発、メカトロニクス)、新素材、バイオテクノロジー産業
熊本 (熊本)	応用機械産業、バイオテクノロジー産業、コンピューター産業、情報システム産業
佐世保 (長崎)	海洋開発コンプレックス、資源エネルギー産業コンプレックス、メカトロニクス
県北国東 (大分)	IC・LSI利用産業コンプレックス、ファインセラミクス、エンジニアリング等
宮崎 (宮崎)	エレクトロニクス、メカトロニクス、新素材、バイオテクノロジー産業 (ファインケミカル、バイオマス)
国分隼人 (鹿児島)	高機能機器産業コンプレックス、新材料産業コンプレックス、地域関連産業コンプレックス等

スを区域外からひっぱってきてCATVで流すもの、衛星放送の再送信、地域に密着した自主製作番組の放送、ペイ・サービス(特定のチャンネルと有料の契約をし、映画などの放送サービスを受けるもの)、チャンネル・リース(一つのチャンネルをある特定の企業に貸すもの)、双方向サービス(視聴者の側から放送局を呼びだして一定のデータを引き出すこと)などが考えられている。これらを見る

と、CATVはきわめて地域性の強いニューメディアであるといえよう。CATVの問題点として考えられるのは、既存放送メディアとのあつれき、スケール・メリットを求めなければ経営がむずかしいこと、多チャンネル時代に対応して、魅力ある実用的なサービスを大量に供給することが困難であること、著作権処理の問題などである。

テクノポリス

近年、地方定住傾向が定着しつつあるなかで、地域社会は、人びとの生気を満たしその能力を発揮させる創造的な雇用の場を創出する必要に迫られている。また地域経済は、公共投資等財政に依存する体制から自立的発展を図るべき転換期を迎えている。

これらの状況に対処するために、産業、学術、住空間が有機的に結合（産・学・住の一体化）した新しいまちづくりをめざし、地域の特性を生かして地元の自治体が主体的に進める新しい地域開発がテクノポリス建設構想である。テクノロジ（技術）とポリス（都市）を合わせてつくった言葉で、かつての新産業都市等が公害問題などを引き起こしたことを反省し、無公害の高度技術産業都市を建設しようとするものである。

人口二〇万人以上の既存の都市を中心にして、その周辺に半導体やロボットなどの先端技術産業と大学・研究所を配し、先端技術の地方定着化、研究開発機能の分散などに重点を置き、これらを通じ地場産業の育成振興、ひいては、地方経済の強化をねらっているところが特徴である。

テクノポリス建設構想は、提唱者の通産省

初め国土庁、農水省、建設省が主務官庁となっており、現在、全国で一九地域が開発構想を策定し、建設へ向けての地域指定を待っている（図-1）。

基礎調査が五十六年度に予算化され、五十

八年に入って「テクノポリス法（高度技術工業集積地域開発促進法）」が成立（七月十五日施行）している。これらの地域に進出してくる企業は、半導体、バイオテクノロジー産業が中核となる見込みである。

図-1 開発構想策定地域



仲間と討議した 貴重な経験

山野 史雄
(河芸町)

私の町では、今回のこの研修に初めて参加させていただきました。参加前には、どのような研修内容なのか、どのような所なのか、どこの市町村が参加するのか、といろいろな不安がありました。

しかし研修も終わろうとする今、ふり返って充実した内容の研修であったことをたいへんうれしく思っています。特に、建設省の講師の方々には、お忙しい中を私たちのために講義していただき、たいへん感謝しております。そしてまた、寮の部屋で、夜を徹して仲間たちといろいろな討議をしたことなど貴重な経験となりました。

一つの方向づけを 与えられた

友国 和俊
(香川県)

本来、研修とか、講習といった類いのものに参加するのは、あまり好きではない。職歴十五年になって初めて都市計画の指導的立場のポストに配置され、ピカピカではないにしても、一年生としてやむなく参加させていた

だいたわけだが、腹を決め受講してみると、自分のこれからの職責を果す上で、一つの方向づけのようなものを与えられ、また、同時に、わずかながら自信のようなものももつことができたのではないかと感じており、やはり良かったと思う。

おのおのの講義については、正直いって眠たくなるものも多少あったが、それは自身の経験不足等による無理解からくるものであって、けっして講師や講義内容からくるものでなく、その点自己反省している。

今後の計画に参考になった 事例紹介

磯村 正義
(高浜市)

講義は、都市計画、区画整理、土地利用、緑地、公園、下水道等全般について行われ、基本的課題、法体系などの基礎的知識を具体例、実例、問題点などで詳しく説明された。また、共同討議では、受講者の意見交換、討論、考え方など話し合い、有意義でした。

大宮、港北ニュータウンなどの事例紹介により、今後の方向、進め方、地元との調整など、これからの計画に参考になりました。今後、都市計画行政を施行するうえで、生かしていきたいと思えます。

緑多いよい環境で充実した寮生活をおくる

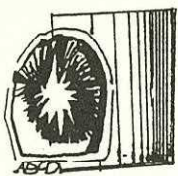
ことができたことも大きな喜びでした。

研修を起爆剤として 永く愛せる都市づくりを

杉浦 亘
(安城市)

長いと思ったこの研修も、本日港北ニュータウンの見学を終えて、残すところあと一日半となり、日にちの流れの速さに驚いている。時間割を見れば、初級研修といえども実に延べ六十三時間に及ぶ講義時間で構成されているのであるが、その中で、本日の見学地である港北ニュータウンは、最も印象的であり、感動的であった。あの広大な面積を対象にして、図面に色付けされた都市計画というものが、着々と具体化されつゝある様子はまさにロマンであると実感した。そして、自分もいま、都市計画に携わっていることに十分な喜びと意欲を持つことができた。

この研修を自己啓発の起爆剤として、地元安城のために、安物の衝動買いでなく、永く愛することのできる都市づくりへ、市民との対話の機会を大切にして努力したいと思う。



講師に都市計画への情熱を感じた

田口 善弘
(長崎県)

こんどの研修は私にとって、実に時機を得たものであった。

講義のレベルは初歩的なものかもしれないが、一年少々の経験で雑多を極めていた私の知識は、すっきりと体系づけられていった。これから地元に戻ってからの学習の糸口をつかむことができたように思う。

技術的な問題か、感情的問題かわからないが、講師の中に、行政魂というか、燃えるような都市計画への情熱をふき込んでくださった先生のおられたことが深く印象に残っている。

今後の仕事に活用

古波 歳晃
(宣野湾市)

現在、都市計画の業務を担当している私は、仕事上での都市計画の範囲しか解らず、今回の研修に参加し、広義での都市計画といったものを学びとることができました。

まず、十二日間十七教科目にわたり、都市計画全般の法体系および各事例等をそれぞれの専門の先生方が講義されたので、私にと

って日頃の問題点、疑問点や気づかなかったことが解決され、今後の仕事に大きく活用できるものと思います。

また、他県の受講者と寮生活を通じて、お

新鮮だった講義

鈴木 成信
(秋田県)

講師は本省の第一線で働いている係長さんが多かっただけに講義は新鮮でした。国のこれからの方針など最新の情報を聞かされ、また難しいことを一つ一つ分かりやすく吟味して講義されたので、たいへん勉強になりました。そして何よりも先生がたの仕事に対する意気込み、情熱がひしひしと感じられたのが

互いの地元の実情や今抱えている問題等を討議することにより、それぞれの地元を理解し、人間関係の向上に資することができたのも大きな収穫でした。

うれしかった。

都市計画というばく然としていたものが、おおよそながら分かって来たような感じがします。これを機会にもう一度じっくり勉強したいと思います。

寮生活も他県の人達といろいろ話したり、飲んだり楽しい二週間でした。自分で掃除をしたり、洗濯をしたり、日常では考えられない規則正しい生活で、身体の方も調子よく、毎日続いたうっとおしい梅雨も吹き飛ばすようなすばらしい生活でした。

(S 58.7.18~7.29)

曜日	午前(9:00~12:00)		午後(13:00~16:00)	
	曜日	教科目	曜日	教科目
7/18	月	特別講話	月	都市計画と環境問題
19	火	都市計画の法体系及び沿革	火	都市計画法
20	水	都市計画法(開発許可)	水	土地地区画整理法
21	木	建築基準法	木	街路計画・都市交通計画
22	金	公園緑地計画	金	土地利用計画
23	土	事例紹介(大宮市東口開発)	土	
24	日		日	
25	月	下水道計画	月	市街地再開発事業
26	火	補助制度の概要	火	土地地区画整理の事業計画及び実施計画
27	水	事例紹介(港北ニュータウン)	水	見学(港北ニュータウン)
28	木	都市計画と都市防災	木	共同討議
29	金	特別講義(都市とは何か)	金	

(注) 感想文の標題は編集部でつけたものです。



繩のれんの人間関係学

その活用法とタブーについて



山崎 充

(地域産業経済研究所長)

飲み屋でたまにこんな光景を眼にすることがある。当の本人はさぞかし気分よく酒を飲んでいるのだろうが、はたで見ていて、これほど醜いものはない。

それは、上役が部下を多数侍らせて得意げに酒を飲んでいる光景だ。サラリーマン社会では会社での序列が社外にまでついて回る。飲むときに上役が上座に坐るのはいたしかたないが、そういう場で部長や課長たるものいばつてはいけない。とくに絶対タブーともいうべきは、酒の場で人事権をちらつかせることである。

「あいつがここまで出世したのは、俺が眼をかけたからだ」とか、

「俺にさからつたやつで出世したものはいない」とか、「俺は権力のある某重役としてこんである」などなど。

こんな席で酒を飲んでいる部下は、本当に気の毒である。酒がうまいわけがなからう。しかし、あるいはもう慣れたもので、またかと聞き流すか、これも修業のうちとあきらめているのかもしれない。だが、第三者から見ると、この上役は最低の管理職である。本当に実力のある、それも会社の中だけでなく厳しい世間でも通用する実力を持っている人間は、このような席ではがいて謙虚である。これが飲み屋で部下にいばりちら

したり、ゴマサリをいわせてご機嫌になっているようでは、その会社の良識が疑われることになる。会社のイメージダウンも招きかねないから、よくよくご注意を。

常連客の仲間入りを

繁盛している飲み屋には、必ず常連客がついているものだ。しかも、飲み屋によってその常連客には一つの特徴みないなものがある。

たとえば、あの店には県庁の職員がよくくるとか、あの店には営業所や支店の経営幹部がよく顔をだすとか、あの店にいけば地場の中小企業の経営者のだれかが必ず飲んでいるといったことである。こうした常連客を知っておくと、飲みながら遊びながら、思わぬ収穫があるものだ。外で飲むと、家で飲むより高くつくが、それだけのメリットを手に入れようというわけである。

どんな利点があるか。まず、その店の常連客の仲間入りをすれば、これまでは違つた人間関係をつくることができる。つまり、会社の中で付き合いとは違つた人脈

を手に入れることができるわけである。これは貴重な財産である。

ともすればサラリーマンは、付き合いの範囲が会社の中に限られてしまいがち。もちろん会社の中の人間関係をよくすることは大切だが、サラリーマンが本当に実績をあげていくにはそれだけでは不十分である。もつと会社の外に幅広い人間関係をつくっていくことが必要だ。

飲み友だちというものはよいものだ。こういう人たちから業界のホンネの情報を手に入れることもできるし、またいろいろな人を紹介してもらうこともできる。これがどれだけ仕事に役立つかはいうまでもないだろう。

サラリーマンの世界は、利害のからむ人間関係で成り立っている。こうしたなかで利害のない人間関係ほど価値あるものはあるまい。思わぬ終生の友人にめぐり逢えるかもしれない。

もうひとつ、飲み屋の繁盛ぶりから景気の動きを知ることでもできる。

とくにクラブなど少々値の張る



話の広場

ところは、格好の景気のバロメーターとなる。景気指標というのは、二カ月遅れて発表されることが多い。この遅れを埋めて現実の動きを知るには、飲み屋はまたとない生きた景気指標となるのである。

ホンネの出る会議の場

飲み屋は、一種の会議の場であるといつてよい。

日本人は、会議の場で議論をたかわすことがあまり得意でない。ハデに議論すると、そこでの対立感情がどうしても後々まで尾を引くことになるからだ。いわゆるシコリが残るのである。

そこで根回しというものが必要となってくる。この根回しがうまくいかどうかは、サラリーマン人生を大きく左右するといつてよいだろう。それには、会社内でもよい人間関係をつくる必要がある。この格好の場として飲み屋は欠かせない。

とくに大切なことは、同僚とか部下に対しては酒の席でよく発言させることだ。酔いが回ってくる、つい口が軽くなってホンネを

いうものである。これを素直に聞いてやることだ。間違ってもその場で反論したり、翌日になってなにかいや味をいつたりなどということは、決してやってはいけない。飲み屋ではあつても、部下たちからいろいろな意見を聞いてやる。と、そこに参加の経営が生まれる。発言した人は、自分の考え方を取

「国民番組『おしん』の考現学

「水戸黄門」と共通する時代の補償作用



佐怒賀 三夫

(放送評論家)

り入れてもらえたと思うのである。やはり酒と女性がその場にあれば、難しいことは抜きにして早く結論を出したがるものである。これが一つのメリットではあるが、根回しとは事前に話しかけることに意義があるのだから、それをもって十分なのだろう。

もうひとつはそうして多くの人に見られることで、じつに多様な受け止められ方をしている点だろう。アメリカなど外国人のちよつびり揶揄(「やゆ」)的な受け止め方もそうであるが、われわれ日本の視聴者の間でこの番組の受け止め方もそれぞれに違っている。

たとえば、最近のアメリカなどの経済摩擦に考慮する経済界で、ある大物が、耐える時代の方マンの哲学とほめたたえれば、一方教育の荒廃に手をやく文部省では文部大臣がやはりこれを道徳教育のすぐれた教材として推奨し、出演者をわざわざ招いて労をねぎらったりした。

そうかと思うと、国会議員が超党派で「おしん」の会を結成して出演者との交歓会を開いたとかで、出演者と記念写真におさまつてうれしそうにしている議員諸氏の姿が新聞などで紹介されていた。

ここまでくると、スタータレントにあこがれるミスター族と何ら変わりがなくなってくるが、しかしすれにしろ、テレビの「おしん」人気はさまざまなウェブを

「おしん人気をどう思いますか」あちこちでうける質問である。先日、アメリカの週刊誌「ニコースウィーク」の記者から、電話で同じ質問をうけた。もつともこちらは、アメリカ人らしい興味と関心で日本の「おしん」人気を見ていて、このつらさをじつと耐

え忍んで生きるヒロインの辛抱物語は、よかれあしかれいまの経済大日本を研究するうえで、日本人のルーツを教える貴重な材料になっている、というわけである。「おしん」というドラマ番組の特質は、異常なほどの高視聴率をマークしているのもひとつだが、



描いて人々の中に浸透し、作者の橋田寿賀子やNHKの意図を大きく越えてそれ自体で一人歩きをはじめているのである。

私は「おしん」人気の根源にあるのは時代の補償作用としての働きだと思う。

苦勞してやってきた親の世代には、「いまの子供らは……」という不満の意識が常にある。しかしそれを口に出していえば、やれ家庭内暴力だ、非行化だ、とたちまち反撃を食う。親の心子知らずということだが、そうした中で、親やきょうだいや家のため身を粉にして働く心のやさしいしっかりもののおしんの登場は、親の世代の不満の堂々たる代弁になってくるわけである。そしてまた、そこから苦節何年といった日本人論がとび出し、経済減速時代の経営論になつたりして、日本人の生活の危機にダブらせて見られる手ごたえのある存在として、「おしん」人気は止まるどころを知らないのである。

一般に、テレビ番組の高視聴率を支える大衆性に不可欠な要素と

して、プロットの単純さ、義理人情、そして涙が三大要素として珍重されてきているが、現代はそれにもうひとつ、モラルの明快さが重要になってきたといえよう。

「水戸黄門」と「おしん」を比べるのも妙な話かもしれないが、これらの番組を見てよろこぶ視聴者の気持の中にあるのは、これが時代劇であるという安心感のうえに立つ、抜きがたい事大主義といつてもあやまりてはならないであろう。そして、それが現代においてまさに時期をもつたのであった。

もともと自己否定あるいは自己犠牲といった感情や、永久的固定的秩序や人間関係に対する服従と崇拜という心理は、日本人の伝統的な道徳観に根ざしているのであるが、注目されるのは、そういうモラルないし価値感が、現代社会の中で抵抗なく成り立つていくことである。

そういうえば「水戸黄門」も、毎回のプロットは単純そのものである。いざという場面にくると例のタンカと印籠（いんろう）が出て悪人どもをおそれいらせる。ピン

チに立たされた主人公が、テウス・エクス・マキーナ（機械による神様）によつて救われ、めでたしめでたしとなるのは、ギリシャ劇以来のヒットドラマの定法だが、この「水戸黄門」ではその神の座は封建的なヒエラルキー（身分関係）のうえに立つているのである。

そして現代の水戸黄門は、絶対的権力者というよりもむしろ、よい秩序、よい風俗、健全な常識の宣布者としてわれわれの前に登場してくる。そういう意味では、あのタンカや印籠は、権威に対する崇拜ということと同時に、水戸黄門自身によつて象徴されるよい体制への同化を、あれてわれわれに求めているということができる。

いま国民生活には、さまざまな形で不安と危機意識がある。時代の補償作用ということいえば、この「水戸黄門」の方は現在の国民生活全体をおおむね危機の状況の中で政治に対する一つの注文であるといえるのかもしれない。またそうしたことは認があつてこそ「水戸黄門」はおもしろく見られるし、高視聴率を持続できるの

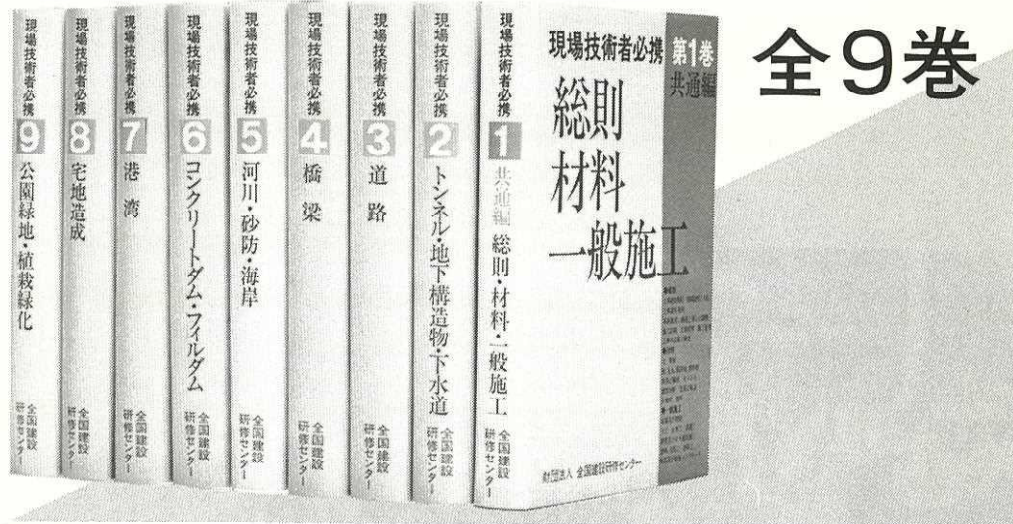
だと思う。

しかし、これは「おしん」にも当てはまることだが、視聴者は何も世の中の大改革を求めているわけではない。改革よりもむしろ変わらないことの方が大切なのである。それはたいへん矛盾しているようだが、現状に対する不安が、事態をこれ以上わるくしてもらいたくないという現状肯定の思想と結びついている。

人々はいま、そう進歩的ではないが、そのかわり過激にもならず、没落もしないといった強固な方に頼ろうとしていて、そのイメージが「おしん」や「水戸黄門」の像の中に生かされ、そこにイデオロギーをもちこんでいるといえるのである。

そういうえば、最後に女実業家として成功するおしんの像の崩れる心配はまずないし、水戸黄門も役者はいろいろ変わるが、人物像自体はいつまでたつても不変である。そしてその不変のイメージ像は、そのまま自分のいまの生活を大きく崩したくないと願う、これらの番組を見る視聴者の生活基盤なのである。

現場技術者必携



全9巻

第1巻(共通編)

既刊・定価3,500円

総則／材料／一般施工

第6巻

既刊
3,900円

コンクリートダム／フィルダム

第2巻

59.3月末刊行
予価4,200円

トンネル／地下構造物／下水道

第7巻

59.2月下旬刊行
予価4,200円

港湾

第3巻

既刊
予価3,500円

道路

第8巻

近刊
予価3,500円

宅地造成

第4巻

既刊
予価3,900円

橋梁

第9巻

近刊
予価3,200円

公園緑地／植栽・緑化

第5巻

12月末刊行
予価3,500円

河川／砂防・地すべり・急傾斜／海岸

(財)全国建設研修センター 建設研修調査会

〒100 東京都千代田区永田町1-11-35

全国町村会館

Tel. 03-581-1281

▶ “民話のふるさと” 遠野は北上山地に
囲まれた盆地である。



◀ 遠野には「しし踊り」などのゆたかな
民俗芸能の伝統があり、その保存も田
園都市づくりの目標の一つ。

▶ 水光園には、今は珍しい水車小屋もつ
くられ、ゴットン、ゴットン。向こう
には南部曲り家もみえる。



報告

ユニークな田園都市 づくり

「トオノピアプラン」を訪ねて



北上山地の山々にかこまれた岩手県遠野市。駅前の観光案内所や市役所の観光係に若い男女

のグループ、とくに女性のグループが、しばしば訪ねてくる。「あのう、東京から来たのですが、どこを見て歩いたらいいでしょうか？」。

かれらが、必ずといってよいほど手にしているのは柳田国男著『遠野物語』である。案内所で観光パンフレットや地図をもらい、貸し自転車に乗って、「民話のふるさと」遠野のまちへ繰り出していく。

「ブーム」というにはほど遠いけれども、最近

民話のふるさと遠野

東北線花巻駅から国鉄釜石線に乗りかえて一時間ちよつとで遠野につく。昨年開通した東北新幹線を利用すれば、東京からは六時間ぐらい。意外と便利である。

だが、いまから七十四年まえの明治四十二年、ここを訪れた柳田国男は『遠野物語』の序文に「つぎのように述べている。

「花巻より余里の路上には町場三カ所あり。その他はただ青き山と原野なり。人煙の稀少なること北海道石狩の平野よりもはなはだし。遠野の城下はすなわち煙花の街なり。馬を駅亭の主人にかりて独り郊外の村々をめぐりたり」。

こういう若者たちがふえている。余暇の過ごし方としては、健康な若者たちである。

だが、こういう若者たちの中で、いま遠野市が新しい町づくりに取り組んでいることを知る者は少い。遠野市はいま、「トオノピアプラン」と銘打った興味深い田園都市づくりをゆつたりと進めているのだが、東北人らしいPR下手も手伝って、一般にはあまり世に知られていない。初秋の一日、文庫本の『遠野物語』を片手に現地をおとづれ、遠野の新しい町づくりを見た。

そのころ、遠野は中央から遠くはなれた不便な土地であった。

柳田はこの年、遠野の人・佐々木喜善から遠野につたわる民話や伝説をきき、その不思議な物語の世界に強く心を引きつけられて、はるばるここにやって来た。

かれの「遠野物語」は、佐々木から聞いた話を「一字一句も加減せず」筆記したものである。いま、その幻想的な民話の数々の中から、二、三を紹介しよう。

ある年寄りの獵師が山奥にはいると、遠くの岩の上で色の白い美しい女が一人、黒髪をくしげづつている。獵師が鉄砲をうつと、女は倒れたが、その髪は身のたけよりも長かった。後のしるしにと、その髪を切りとって家路に向うと、耐えがたいほど眠くなったので、しばらく眠る

と、夢とうつつの境のなかに、丈の高い男があらわれ、懐中の黒髪を取り返して立ち去ったと思うと、目が覚めた。あれは山男にちがいないという。

ある村の長者の娘が姿を消してから年久しくなつたが、同じ村の猟師がある日山にはいつて一人の女に出会った。驚いて鉄砲を撃とうとすると、ぶつなという。よくみれば、その長者の娘である。きけば、ある者に取られてその妻となり、子供もたくさん生んだが、みんな夫が食いつくしてしまった。このことは人にはいかなお前の身も危いから早く帰れ、といわれるままに逃げ帰ってきた。

遠野郷寒戸（さむと）という所の若い娘が行方知れずになつたが、三十年余りたつて、老いさらばえて戻ってきた。どうしたのかと聞くと、「みんなに会いたくなつて」といつて、再び行方知れずになつた。その日は風の寒い日だったので、村の人たちは風のはげしい日は、きょうは寒戸の婆々の帰ってきそうな日だ、という。

これらの物語の、あるものは単純素朴であり、あるものは幻想的であり、あるものは怪奇であり、あるものは闇の世界の恐しさを伝えているようでもある。

「遠野物語」には、こういう民話や伝説がたくさん書きとめられている。遠野が「民話のふるさと」といわれ、日本民俗学の発祥の地といわれるのもそのためである。そして、コンクリ

ートジャングルの都会生活に疲れた若者たちを遠野に引きつけるのもまた、ここに書きしるされた民話の世界である。

減りつづけた人口

さて、柳田がやって来たころの遠野は「煙花の街」として一応にぎわっていた。ここは南部藩一万石の城下町であり、宿駅として、また馬、木材などの産地として、発達した町である。

しかし、時代が変わり、これらの特産がおとろえるにつれて、町はさびれた。釜石線が全通（昭和25年）し、国道が整備されるに従つて、遠野は単なる通過地点になつてしまった。

昭和二十九年、旧遠野町と七カ村が合併して「遠野市」となつたが、その総面積は六百六十二平方キで東京二十三区の全部よりも広い。しかし、ここに住む人口はわずか三万七千にすぎなかつた。

「人口密度が村以下ではないか」と顔をしかめる自治省の役人に、市側は「山には、サルやカモシカやキツネやタヌキもいますから、それも住民に教えてください」とやつて、「市制」にこぎつけたという「伝説」がある。

だが、その人口はその後ますます減りつづけて、五十五年国勢調査では三万一千人。いまでも、民話にひかれて遠野をたずねる人

たちも、町を一周りすると、釜石か温泉のある花巻に泊まってしまふ。過疎化はいつそう進むばかりである。

トオノピアプランの構想

こういう中で、遠野市の活性化への声をあげたのは四十二年に市長になつた工藤千蔵・前市長（57年死亡）だつた。

工藤氏は遠野の開発構想をさまざまな角度から研究し、五十年に「大自然に息吹く永遠の田園都市・トオノピアプラン」を打ち出した。「トオノピア」とはユートピア（理想郷）をもじつた言葉である。

このプランは名前も長いが、構想も雄大で、そこには次のような三つの目標と三つのテーマがある。

①大地と光と水と緑の生産加工都市—インダストリアルサイクルを基調に。

これは広い土地資源を生かし、農・林・畜産業を基礎とした生産加工都市をつくらうというねらい。

②明るく人間性ゆたかな健康文化都市—ヒュウマンサイクルを基調に。

これは、市民の心と心が結ばれ、人情あつく、生きがいのある都市づくりをめざすもの。

③自然と歴史と民俗の博物館都市—ナチュ

ラルサイクルを基調に。

これは、町の歴史や民話を保存し、活用し、さらに新しい歴史を切り開く都市づくりをめざすというものである。

この構想をわかりやすく一言でいえば、いたずらに企業誘致などに走らずに、遠野にふんだんに残された自然と歴史を利用して、静かで住みよい町をつくらうというのである。

住民の出会いの場、語らいの場、市民センター

その第一着手は「市民センター」の建設だった。

四十六年の暮れ、遠野の人びとは目をみはった。古い武家屋敷や土蔵の残る街の真ん中に近代的な二つの建物（中央公民館と市民会館）が

完成し、そのこけら落しが行なわれたのである。

この二つが市民センターの中心的な施設で、つづいて体育館、勤労青少年ホーム、老人憩いの家、図書館、博物館が隣接して建設され、これらすべてを含めた市民センターは五十五年三月に完成した。

その総工費十八億七千六百万円。市の財政力は弱いから、利用できるかぎりの国の補助金はすべて利用した。

この市民センターは、第二の目標「明るく人間性ゆたかな健康文化都市」の方向にそってつくられたものである。

というのは、由来、この地方の人は口が重い。「ものいわぬ農民」とは岩手の人びとにつけられた形容詞であつたほどだ。だが、互いの語らいがなくては、「心と心が結ばれ、生きがいある都市」は生まれない。ならば、住民相互の出会いの場、語り合いの場をつくらう——これが市民センターづくりの発想法である。

それにしても、完成したこの市民センターは、よその町の同種の施設とくらべて、ずいぶん変わっている。

まず、ホールの前の広場にはコンクリートの塔があつて、塔の裏と表に馬と娘の顔が彫られている。これは「遠野物語」の「昇天する馬と娘」の民話を表現したものだ。

また、コンクリートでカップの顔をつくり、これを積み重ねて五層の塔にしたもの。鉄パイ

新しい町づくりの拠点となった遠野市民センター

博物館都市構想のシンボルとして建設された遠野市立図書館(左)と市立博物館(右)。

プでつくったカッパのオブジェ。山奥で黒髪をくしけずる美しい女の絵。風の吹く日に戻って再び消えたという寒戸の婆々の絵……などもある。

要するに、この市民センターには、一貫して「遠野物語」から取材した幻想的な世界が数々の絵や彫刻や壁画などのオブジェによって表現されているのである。

その作者は画家の岩間正男氏。岩間氏は遠野から峠を越した大槌町で育った人だが、遠野生まれの父親から幼いころ聞かされた遠野の民話の心の底に生きつづけ、それを再現したのだという。

この市民センターの中の中央公民館は、定員三百人の集會、映画會、結婚式、学習會、サークル活動などに利用できる。市民會館には定員千人の大ホールや自由劇場などがある。勤労青少年ホールには定員三十人の研修室、談話室、アトリエなどがある。

そして市民センターの利用者は年間四十八万人にのぼるといふから、市の人口をザット三万とすると、市民一人が年平均十六回利用している勘定で、相当に高い利用率である。

わたしがここを訪れた日には演劇が開かれることになっており、その開演を待つて、大勢のおばあさんたちがベンチでおしゃべりを楽しんでいた。

市民センターは新しい遠野づくりの拠点とし

て建設された。それは「ものいわね人間」から「語り合う人間」へと、人間をつくり変える機能を果すのかも知れない。

大自然のエネルギーを利用した水光園

トオノピア構想の具体化のための第二着手は「水光園」の建設である。これは第一目標、すなわち「大地と光と水と緑の生産加工都市」の方向にそったものといえようか。

これはもともと市の浄水管理センターである。市の中心街から北へ八^{km}ほどの高室地区の山の腹に上水道の水源地があり、そこから浄水場まで十^{km}の水路には有効八十二[%]の落差がある。その落差を利用して水力発電をはじめた。

その出力は常時百五十^{kwh}。年間百二十万^{kwh}の発電力がある。その電力をどう利用するか。

市はまず、浄水管理センターの建物にくっつけて「農村活力センター」と名づけた建物を建設した。総床面積七百三十六平方^mの大きなホテルのようなものである。

その中には広いフロント、ロビー、六十人収容の研究室、八十畳の大広間、宿泊所、休憩室、浴室、レストランなどがある。

また「民家園」という建物には、岩手県に特有の南部曲り家、宿泊所、自在カギなどを展示した民具館、日本庭園と池などがつくられ、さ

らに淡水魚センターなどもある。

これらの建物や施設で使われる電力はぜんぶ右の自家発電でまかなわれる。

冬も床暖房で全館ホカホカ。その電力はタダである。夏は余った電力を東北電力に売る。

もう一つ興味あるのは太陽熱利用である。それは浄水場の入口に巨大な太陽熱加熱器をつくり、農村活力センターの中にある浴室の湯をわかす。この風呂を「そらの湯」と名付けた。

一日中、四十度前後の湯がわいていて、「温泉のようだ」と宿泊客に好評である。宿泊所は安い料金で泊めてくれる。

水力自家発電といい、ソーラー熱利用といい、いずれも大自然のエネルギーを活用した先進的なアイデアである。

このほかにも、大きな池があり、その形は北海道から九州までの日本列島の形をしている。その周りには「遠野物語」の民話を表現した散歩道や、いまは数少なくなった水車小屋などが配置されている。

以上の施設すべてをひっくるめて「水光園」と呼んでいる。なるほど「水」と太陽の「光」と人間とのかかわりあい、この施設の中に盛り込まれている。

この水光園は工費一億五百万円で五十五年夏完成した。いろいろな年間約八万人の見学者がやってくる。

その地区の特性に忠じて 七つのカントリーパーク

トオノピア構想の第三の目標は、「自然と歴史と民俗の博物館都市」である。その具体化の一つとして、すでに市立博物館ができていて、前述の市民センターの隣りにある。

その博物館には、遠野の民俗資料などが展示されているが、とくに面白いのは「語り部の里」のコーナーである。

そこにはいくつかの民話ボックスがあつて、その前に腰を下ろし、エアホンを耳に当ててス イッチを入れると、老婆の声で

「あのなあ、むかし、ある長者のところに娘がいてなあ……」

と、遠野物語の民話が流れてくる。遠野なまりの独特のその語り口をきいていると、いつしかファンタジーの世界に引き込まれていく。二、三人の若者が酔ったように耳を傾けていた。

博物館都市はこだけではなく、合併前の旧七カ村の中心につくられる七つの「カントリーパーク」の中にも設けられる。

それは、その地区の特性に応じて、農耕館であつたり、牛馬館であつたり、民芸館であつたり、芸能館であつたりするが、それらの全部はまだ完成していない。いま建設途上である。

そのうちの、ほぼ完成した土淵地区のカントリーパーク

リーパークに行ってみた。

そこには伝承館ができていた。それは、いまはほとんど姿を消したこの地方特有の「南部曲り家」を移築、保存したものである。また、柳田国男に民話をきかせ、「遠野物語」執筆のきっかけをつくった佐々木善喜の資料を集めた記念館もあつた。

遠野には、神楽、しし踊り、田植踊りなどの民俗芸能や、ワラ細工、草木織りなどの郷土民芸がたくさんある。

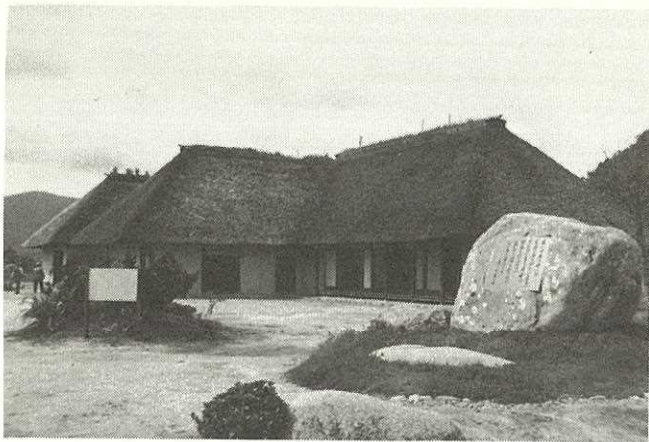
が、その中には絶滅の危機にさらされているものも多い。

「博物館都市」の構想は、それらを保存し、後世に伝えようというのである。その施設は、今後つくられる七つのカントリーパークの中に建設される。

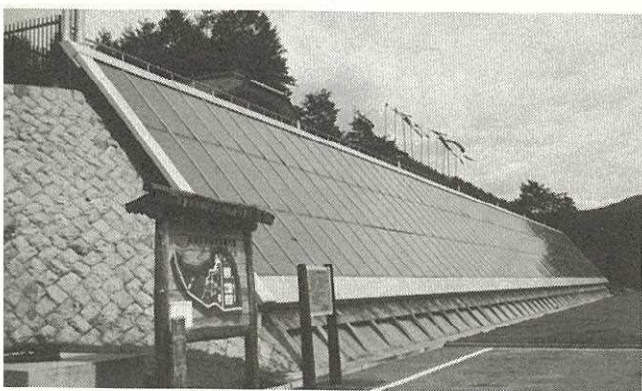
以上で、田園都市づくり「トオノピアプラン」のあらましをみた。ここでは、どうせ来てくれるはずもない企業の誘致などはまったく考えず、その土地の自然と伝統を最大限に生かして、新しい町を建設しようとしている。

「忙かしく騒がしい今の世の中。日本に一つぐらい、静かでゆったりした町づくりがあつてもいいではないですか」といった市職員の声に耳にのこった。

「トオノピアプラン」はいかにも東北らしいユニークな町づくりである。



土淵地区カントリーパークには南部曲り家が保存された。かつては曲り家の中で人と馬が同居していた。



水光園の入口につくられた巨大な太陽熱集熱器。これで「ソーラ湯」をわかす。

連載◆建設企業の研修は今………6

住友建設の社員教育

住友建設(株)

人事第二課長

山口 格

一、はじめに

当社は、昭和二十五年に住友の母胎を離れ、別子建設(株)として独立し、昭和五十一年に三十周年を迎えたが、業界においては後発の若い会社といえる。

この間、経営規模を拡大し、その概要は、現在、資本金六十三億円、売上高二、一四〇億円、従業員数三、三〇〇人となっているが、成長過程での経営課題は、常に、社会的信用の獲得であり、先発企業に追いつくための技術力の向上と組織の強化に腐心してきた。

昭和三十年代に入り、定期採用者数の増加に伴い従業員数も漸増し、特に昭和三十七年の勝呂組との合併(現社名に変更)により、従業員数は一挙に倍増し、規模も拡大した。

こうした状況下で、多数の従業員を融和統合し、その力を会社の経営目的に沿って発揮させるため、人事教育制度の充実が叫ばれ、昭和四十二年に役員と主管部長をメンバーとする社内教育実施委員会が設置され、教育訓練に関する立案、審議を行なうと共に、下部組織として、課長級をメンバーとす

る小委員会を設け、その実務にあたらせることとなった。

一方、進展する技術革新と高度経済成長による経営環境の変化に対応する従業員の職務能力の高度化、多様化が要求され、その能力開発と人材育成の必要性が高まったのもこの時期であった。

これらを背景に、昭和四十七年に、「教育体系と教育基準」が制定され、組織的な教育訓練がスタートすると共に、教育制度と、これを補完する諸制度や昇進との関連が明確となった。

以来、教育訓練は、この体系、

基準に沿って着実に実施され、年間を通じての研修スケジュールは充実したものになった。

二、教育体系及び教育基準

表1に示すとおり、教育体系は、横割りの階層別教育訓練と縦割りの職能別教育訓練を立体的に組み合わせている。

階層別教育訓練の概要

会社の管理階層を、トップ、管理者、上級社員、中級社員、初級社員、新入社員の六つの階層に区分し、各階層ごとに共通の教育目標を設定している。

階層の区分方法については、当社の場合、資格等級によることとした。すなわち、上級社員教育における「社員六級二号で満一カ年を経過した者」とは、職種を問わず定期入社 of 大学卒十二年生、高校卒十六年生。中級社員教育における「社員七級二号」とは、大学

表一 1 教育体系および教育基準

研修の名称	階 層 区 分	目 的	内 容	方 法	備 考
トップ研修		経営方針決定に必要な企業内外諸要因について理解を深め、視野を広める。	企業環境の研究 経営の基本構想 計画と統制 意思決定	各種トップ・セミナーへの参加 合宿	作業所長制度 特定主任制度
管理者研修	上級社員層 (社員6級2号で滿1カ年を経過した者及び作業所長候補者)	第一線管理者としての責任を自覚せしめ、管理能力を開発し、更に上級職たる素地を養成する。	管理者の責任と権限 ワンズメント リーダーシップ 問題解決 組織開発 創造性 部下の指導育成	講義・討議型式 バス・セッション 合宿 (4泊5日)	
上級社員教育	上級社員層 (社員7級2号)	会社の中堅としての自覚を促し知識技術の向上と積極的行動力・判断力の向上をはかる。	部門別技術知識 施工・原価・安全 社会・経済・企業の仕組み 労使関係 SK運動	講義・討議型式 見学 会議型式 合宿 (4泊5日)	ローテーション制度 国内外留学制度
中級社員教育	中級社員層 (社員8級1号)	上司の監督下における業務遂行能力の向上、知識技能の向上、職業への意欲の向上をはかり、連帯感を養成する。	部門別技術知識 人間関係 労使関係 職場の規律と不文律 SK運動 生き甲斐論	通信教育を主体とし、スクーリングを支店にて年間2日程度	職能別マニユアルの作成 国家資格取得推奨
初級社員教育	初級社員層 (社員8級1号)	環境変化に円滑に適応させ、職業人としての基礎的態度を身につけさせる。	全社の経営方針・沿革と現状・営業種目 労使関係 職場の実務 エチケット SK運動	合宿 (8泊9日) 事務職現場研修 (6ヶ月)	入社前通信教育
新入社員教育	土木職 建築職 機械職 事務職 営業職 設備職 各実務コース 職能別教育訓練 (タテ)				
語学教育		海外要員の育成。	コミュニケーションスキル	集中研修合宿 (1ヵ月) 委託研修 (L10J) 通信教育 語学教室	O. J. T. 自己申告 各種表彰制度 セミナー派遣
		SK運動 (全ての質向上運動) の推進。	方針管理 グループ活動 品質保証	推進委員研修 リーダー研修 一般研修	
		自己啓発のすすめ。	実務教養各コース	社外研修機関委託	
通信教育		早期戦力化。	エチケット、実務、接遇訓練	主として視聴覚教育	
女子社員教育					

卒六年生、高校卒十年生。初級社員教育における「社員八級一号」とは、大学卒二年生、高校卒六年生をいう。

それぞれの階層に対する教育目的、内容、実施方法は表に示すとおりであるが、誌面の都合上、階層別教育の骨格をなす管理者、上級社員、中級社員について、その具体例を述べたい。

(イ) 管理者研修

研修のねらいは、管理者として経営におけるその立場と役割を認識させ、実践の場で、いかにその力を発揮させるかにある。ますます混迷化する経営環境にあつて、よく経営方針を理解し、その具現化のため、卒先垂範、業務を遂行すべき管理者に課せられる役割は大きい。

従来、建設業において、特に現場作業所にあつては、管理者たる所長の絶大な権威の下に、その組織運営をはかってきたといえるが、環境変化が著しく、個々の価値感が多様化する今日、もはや旧態依然の管理では対処できないことは明らかであり、新しい経営管理能

力が要求される。

当社では現在「全員参加の経営をめざし、SK運動(すべての質向上運動、当社版TQC)」を展開中である。

研修内容は、表1に示すとおり、経営管理論、行動科学、リーダーシップ、コミュニケーション、部下の育成、問題解決のほか、SK運動の推進者としての方針管理となつている。また、管理演習として、五〜六人単位のグループによる活発な討議により、問題と解決の手法を学ぶと共に、会社の現状を把握させ、その中で自分の果すべき役割を認識させる。

研修の合い間には「三分間スピーチ」を取り入れ、受講生全員が一人持ち時間三分で、自由に体験談を話す、至つて好評である。

三泊四日の研修の最終日には、役員が列席し、グループ討議の発表が行われる。その発表の仕上げのため、各グループとも演習時間が夜半まで及ぶかなりハードなスケジュールになつている。

(ロ) 上級社員教育

「課長代理候補者教育」と「作

表一 2 管理者生産性研修スケジュール

	第 1 日	第 2 日	第 3 日	第 4 日
9:00	8:50			
10:00		5. 現代の経営管理 I	10. 部下の育成 自己啓発	13. 管理演習 IV (全体討議)
11:00		6. 現代の経営管理 II (方針管理)		14. 役員講話
12:00	集 合			
13:00	1. オリエンテーション			15. まとめ
14:00		7. 動機づけと リーダーシップ コミュニケーション		16. 修了式
15:00	2. 80年代の産業社会と 生産性運動		11. 同和問題	15:00 解 散
16:00	3. 現代の経営管理 I	8. フィード・バック タイム	12. 管理演習 III (グループ討議)	
17:00				
18:00				
18:30				
19:30				
20:00	4. 管理演習 I (グループ討議)	9. 管理演習 II (グループ討議)		
21:00	パーティ			

業所長候補者教育」を統合した、管理者前教育である。

その内容は、表3に示すとおり、管理者前教育として、経営管理基礎、経営環境と会社現状の把握、自己啓発のほか、特に法務に

時間をさいている。法務に関するトラブルで、会社経営上、重大な影響を受けかねないからである。法務の内容は、債権債務、贈収賄、談合を主として、その具体的事例を引き理解させるようにして

いる。

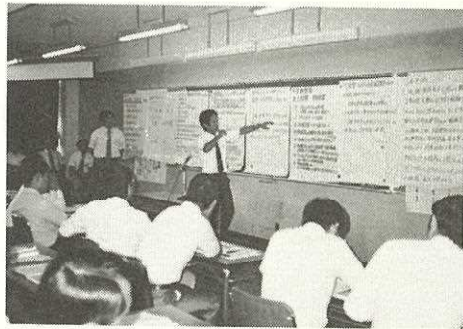
この教育の特徴は、上級職への登龍門として、研修後、論文提出が義務づけられており、この論文合格というパスポートを手にした者のみが翌年課長代理へ昇進し、あるいは、作業所長制度に基づく作業所長認定条件の一つを満足させることになる。

論文の課題は教育最終日に提示され、提出期限は四十日後、指定用紙十五頁という条件がつく。

採点は十点法で、氏名欄は切り取り、ナンバーを記すので採点者には誰の論文か分からない仕組みになっている。採点は社内教育実



管理者研修



上級社員研修 グループ討議発表

施委員（役員・部長級）が行ない、採点終了次第委員会を開催し、集計結果に基づき可否の判定を行なう。ただし、論文のみによる判定の危険性を避けるため、過去の考課と照らし合わせ、特に良好の者については、論文再提出による救済措置をとっている。

ここで、当社の作業所長制度について若干触れておきたい。

この制度は、資格等級に基づく年功序列にとらわれず、能力ある人材を選抜して、第一線の作業所の運営管理を行わせる目的でつくられた社内資格認定制度である。

作業所長は、施工管理のための

表一 3 上級社員教育時間割表

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
第一日	集 合				オリエンテーション	社 長 講 話	決 算 ・ 財 務			自 己 紹 介 教 育 体 系 説 明 等		
第二日	建 設				請 負 と 法 務					夕	グ ル ー プ 討 議	
第三日	朝	80年代の産業社会と			昼	こ れ からの 経 営 課 題				食	グ ル ー プ 討 議	
第四日	食	土 工 事 の 現 状 と 課 題		建 築 工 事 の 現 状 と 課 題		当 社 の 海 外 工 事 に つ い て				グ ル ー プ 討 議		
第五日	安 全 衛 生		全 体 討 議			全 体 討 議				会 食	解 散	

技術能力のみならず、とくに経営者としての能力も併せ要求される。

そのため、作業所長資格の審査に当っては、本・支店に作業所長認

定審査委員会を設け、次の五条件を満たした者を対象に審査を行う。

①作業所長としての教育を受講し、論文に合格した者

②一般土木施工管理技士、または一級建築士の資格を有する者

③現場経験七年以上の者

④請負金額が一件あたり、土木五億円、建築七億円以上の工事責任者

⑤工事獲得（営業活動）に能力がある者

審査項目は、管理能力、技術知識、過去の実績等、二十三項目にわたっており、この関門をくぐり抜けた者が、作業所長としての称号を与えられ、それなりの手当を支給される。

（ハ）中級社員教育

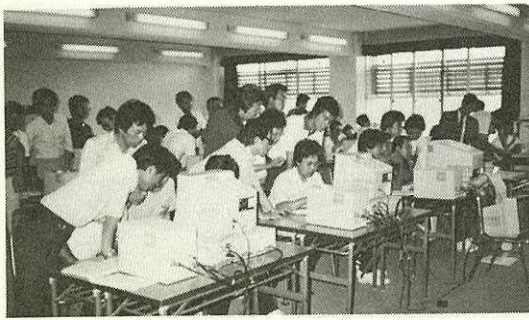
翌年度に資格等級七級三号に昇進予定の候補者を教育するが「主任前教育」の意味をもつ。

研修内容は、初級社員としての技術・知識のまとめと、今後の自己啓発、会社中堅としての自覚と職場の人間関係、グループ討議による職場の改善等である。

受講後、研修論文が課され、この合格者が昇進の対象となりうるという、男子社員誰もが通らなければならぬ第一の関門になっている。

論文審査は、社内教育実施小委員（課長級）が行ない、その要領は上級社員教育に同じ。

中級社員教育の特徴は、ローテーション制度と密接な関連を持つことにある。すなわち、論文審査に合格し、さらにローテーション制度に基づく所定のポイントを取得してはじめて昇進できることに



中級社員研修 パソコン教室

なる。

ここでいうローテーション制度は当社独自のもので、別名ポイント制といい、その概要は次のとおりである。

建設業においては、従業員の職種は多岐にわたり、また比較的短期間の作業現場の勤務態様から、定期、計画的な人事異動は、きわめて困難である。そこで、適性の発見と体験的育成を目的として、転勤・異動をすれば一定の点数を取得できることとし、転勤の内容によって点数のウエイト付けをした



積算実務研修

基本計算表を定め、入社後一定年数の間に所定の点数をあげること

を昇進の条件とした。
点数管理者は所属長とし、常に部下の転勤に意を用いるようにしている。

例えば、この時点で、大学卒三ポイント、高校卒五ポイントを必須の条件とし、その計算方法は、土木職を例にとると、支店間異動二ポイント、内外勤異動一ポイント、作業所間異動〇・三ポイントといった具合に詳細に定められている。

職能別教育の概要

専門職種を、土木職、建築職、機電職、事務職、営業職、設備職に六区分し、実務教育を行なう。

これら職能別教育のうち、土木職、建築職、設備職に対する教育を特に取りあげ、具体例をご紹介します。

（イ）土木職に対する教育

表-4

	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生
大(院) 卒	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生
高専・短大卒	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生
高 卒	1年生	2・3年生	4・5年生	6年生	7年生

表-5

教育内容	大(院)卒	高専・短大卒	高 卒
第3巻 測量、土木、コンクリート他	1期生	1期生	1期生
第4巻 道路、橋りょう、トンネル他		2期生	2期生
第5巻 河川、ダム、上下水道他	2期生	3期生	3期生
第2巻 施工管理		4期生	4期生
第1巻 土木法規	3期生	5期生	5期生

表-6

	教育内容	方法
1期生	積算の基本教育、原価構成の説明	社内講習会
2期生	作業単位の歩掛資料の収集・整理(内容は自由)	実地研修
3期生	作業単位の歩掛作製(内容は指示)	実地研修
4期生	担当工事の歩掛作製、仮設計画の立案	実地研修
5期生	実施予算作成に関する教育	社内講習会

技術教育と積算教育に区分し、並行して実施する。

その方法は、「技術教育」は通信教育とし、「積算教育」は社内講習会および実地研修とする。

対象者は、表-4に示すとおり区分し、期生別に教育している。なお、一年生とは、入社一年目の者をいう(以下同じ)。

「技術教育」は、表-5に示すとおり、一級土木施工管理技士の資格取得をねらいとした内容の通信教育である。年二回テキストに応じた問題を配布し、提出された

解答を採点添削する。問題は本店で作成し、添削指導は支店担当課長が行なう。また、採点の結果は今後の人材育成の資料として人事部にファイルされる。

なお、大学卒は四年目より一級土木施工管理技士の受験有資格となるので、三期生をもって技術教育を終わらせる。

「積算教育」は、表-6に示すとおりの内容となっている。社内講習会と実地研修の回数は年二回である。

(ロ) 建築職に対する教育

一級建築士資格取得のための通信教育、設計従事者研修、積算実務研修に三区分し、実施している。

「一級建築士資格取得のための通信教育」の対象者として、社員八級一号(大学卒二年生、高校生六年生)は必修、その他は受講希望者とする。受講期間は五カ月間とし、月一回添削を行なう。

その内容は、第一回建築計画、第二回建築法規、第三回建築構造、第四回建築施工、第五回建築設計製図となっており、テキストは過

去出題の一級建築士試験問題を中心に作成している。

受講生より月末に提出された解答を、本店にて添削し、解説書を添えて本人に返却する。

この教育は、一級建築士受験講座として好評で、中級、上級社員からも数多く受講している。

さらにつけ加えると、当社の場合、建築職については一級建築士、土木職については一級土木施工管理技士の資格取得が、管理職(部長)への登用または作業所長資格認定の条件となっている。

「設計従事者研修」は、主任級、および課長代理級の設計従事者を対象とする。当社設計の思想と手法の統一をねらいとした二泊三日の集合研修で、設計施工の建築物に対する問題点の指摘と提案を中心に熱のこもったグループ討議と発表が行われる。

「積算実務研修」については、昨今積算数量は増大する傾向があるにもかかわらず、支店または個人によりその手法が異なる現状にあった。そのため全社的積算手法の統一と積算要員の確保をねらい

として実施している。

対象者は、課長代理級以下の建築職とし、積算専従者を手はじめに、順次、受講者数を増している。

研修内容は、建築積算基準の解説後、当社施工の物件を教材に、く体、仕上、内訳書作成と演習を行ない、その間、ベテランのアドバイザーが個別指導する。二泊三日の集合研修で、最終日は全員が発表し、講師よりコメントを受ける。

(イ) 設備職に対する教育

設備部門の強化を図るため、集合研修ではあるが、徹底したマンツーマン形式による教育を行なっている。

対象者は、学歴を問わず入社後四年間を受講期間とし、内容は、積算実習と計画実習（基本、空調、衛生、電気）の二本立となっている。実習では、受講生二名に一名の割でアドバイザーがつき指導する。そのため研修に先立ちアドバイザー会議を開き、カリキュラムの検討と指導法の研究におおわらわである。

二泊三日の集合研修を年三回実施するが、積算実習など、ほとんど徹夜作業となることもしばしばである。また、積算実習においては、数量拾い、値入れ、作業のスピード、正確度、また計画実習においては五十二のチェックポイントにより、厳しい評価が行なわれ、その後の指導育成に役立たせている。

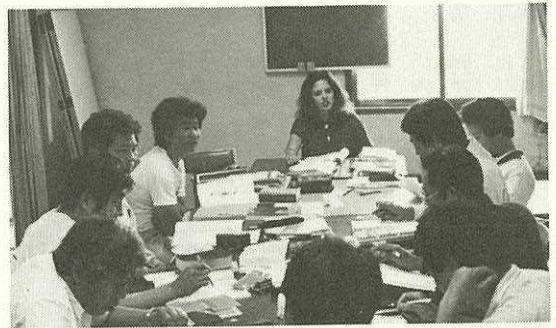
特別教育の概要

表一 教育体系下段に示すとおり、語学教育、S K 研修、通信教育、女子社員教育があり、特定のニーズに応じ実施している。

当社は売上高に占める海外工事比率が比較的高く、必然的に要員養成のための語学教育が盛んである。

(イ) 語学教育

「全員海外要員」の考えのもとに、実務に直結した自社製のカセットテープを開発し、四十五歳以下の男子および四十六歳以上の希



英語インテンシブコース

望者に通信教育を実施しているのもこの表われである。

新入社員教育における外人講師によるインタビュートテストをはじめ、一カ月間毎話にする英語オンラインのインテンシブコース、プロジェクトマネージャー候補者に対する三カ月間の研修、その他各部門における英会話教室等、メニューは盛りだくさんである。

また、国外留学制度に基づいて昭和三十三年より欧米の企業または大学に国外留学させているが、現在では公募により毎年七、八名を

選抜留学させており、その数も七十名強に達している。

(ロ) S K 研修

当社が展開中のS K 運動（T・Q・C）においては、管理者層は方針管理を、一般社員層はグループ活動をその柱としている。グループも三五〇余結成され、運動も定着してきたが、さらに運動を推進するため、推進委員研修、グループリーダー研修、一般社員の学習会等徹底した教育が繰り返行われている。

(ハ) 通信教育

自己啓発を目的として、社外教育機関の通信教育を利用している。その内容は、実務と教養の二十コースとし、受講費用は個人負担とする。ただし、修了者に対しては一コースあたり三〇〇〇円相当の図書券を贈呈する。毎年五月に開講し、約二〇%の社員が現在受講中である。

建設大臣指定の測量専門の養成施設

常任顧問 土橋忠則

測量法に定める技術者の資格（測量士・測量士補）は、同法に定める基本測量または公共測量に従事する者に必要な資格であるが、

現在では一般の測量や土地にかかわる業務に従事する者に対しても、そのもつ測量技術を認定する一種の技術資格として定着している。

測量士・測量士補となる資格は、国家試験の合格者のほか、大学・短期大学の土木科等の卒業者および建設大臣指定の測量に関する専門の養成施設の卒業者には、無試験で附与（測量士は実務経験が必要）されることになっている。（測量法第五十条、第五十一条）

わが国の大学・短期大学等における測量教育は、農業・土木・建築学科等における技術教育に付随して行う最少限に止まっている現在、測量を主要科目とする建設大臣指定の養成施設は、測量技術者の供給源として各方面から期待されている。

建設大臣指定の養成施設とは、学校の設置学科について特に指定されたものをいう。これら指定学科は、高等学校卒業者を入学資格とする修業期間一年以上のものについて、教育目的、教科内容、専任教員、教育施設、器材等に関し、厳密な審査を経て認定されたものである。建設大臣指定の養成施設をもつ学校は、現在全国に十六校ある。このうち国または国に準ずる施設は、次の四施設である。

建設大学校測量部普通課程

同 中央訓練所幹部隊測量コース

海上保安庁海上保安学校本科水路課程

日本国有鉄道中央鉄道学園大学課程土木科
また民間では、昭和三十七年初めて建設大臣の指定をうけて開校した日本測量専門学校（現国土建設学院）を皮切りに、その後、測量界の発展に伴い順次各地に設立されて、現在では次の十三校を数えるまでになった。

東京 国土建設学院 測量科（二年）、測量工学科（二年）、都市工学科ほか四学科

東京 中央工学校 測量科（昼一年・夜二年）、測量調査設計科（二年）ほか一学科

熊本 九州測量専門学校 測量科（二年）、土木建設科（二年）

東京 東京測量専門学校 測量科（二年）、測量工学科（二年）

大阪 近畿測量専門学校 測量科（二年）
仙台 東北測量専門学校 測量科（一年及び二年）、測量建設科（二年）

名古屋 中部測量専門学校 測量科（二年）、測量建設科（二年）

鹿児島 鹿児島測量専門学校 測量科（二年）、建設工学科（二年）

北海道 北海道測量専門学校 測量科（二年）、測量工学科（二年）、土木工学科

北海道 北海道産業専門学校 測量科（二年）

福岡 福岡国土建設専門学校 測量科（昼一年、夜二年）、測量学科（二年）

富山 北陸工業専門学校 測量科（二年）

名古屋 東海工業専門学校 測量科（二年）、測量設計科（二年）

以上各校から送り出す卒業者の合計は、毎年約三五〇〇名である。

なお、各校の指定学科では、指定基準に基づき次の科目について合計一四〇〇時間以上の授業を行うことが義務づけられている。

基礎科目：法規、測量概論、数学等について計一八〇時間以上

専門科目：三角・多角測量、水準測量、平板測量、写真測量、地図編集、地図投影、地図製図、路線・河川測量等について実習を含めて計七七〇時間以上

関連科目：物理学、化学、電子工学、水理学、地理学、地質学、土木工学概論、都市計画、地理調査、地籍測量等これに類する科目について計四五〇時間以上

以上のことから一年制学科の教科内容は各校とも大体同じであるが、二年制では学校それぞれに特色がみられる。

本学院では創立以来国家資格の無試験付与に恥じないよう、きめ細かな配慮のもとに愛情あるさびしさをもって指導に当たっている。このところ伸び悩みがづく業界に対し、幸

いにして本学院への求人状況は悪くなく、昭和五十七年度の求人倍率は約十倍であった。

職場とストレス

福島 脩 美

東京学芸大学教授

どういうふうにもイローゼになるか

ある人が「欧米人や日本人が肥満になるのは、食物が豊富だからだろうか、それだけではないのではないだろうか。動物のように、ほどほどに食べてやめればいいのに、よけいに食べてしまうのはなぜか。それは、精神的なストレスが食べさせているのではないか。食べずにはいられないのではないか」といつております。つまり、人が太るのは、ストレスを食べるせいかもしれないというのです。しかし、ストレスがあつて過食になるという人は、まだまだ健康なのです。まず、ストレスと痩せる・太るの関係について話してみよう。

まず、カゴの中にネコを入れておきます。そのカゴにはスイッチが付いており、ネコがそのスイッチを押すと、エサが落ちてくる仕組みになっています。やがてネコは、それを覚えてしまいます。そこで今度は、スイッチを押しても十回に一回くらいしかエサが落ちないようにします。そうするとネコは、エサがなかなか落ちてこないため、前よりもいそがしくスイッチを押すようになります。

次に、スイッチを押すと、ネコの鼻へ向けて圧搾空気が噴射するようにし、同時に、足元に電気ショックを与えるようにします。こうしますと、スイッチを押した途端に、ネコは驚いて飛び上がってしまいます。

なお、さらにそのスイッチを押すと、エサが出たり、圧搾空気が出たりするように不規則に切り換えてやります。こうしますと、ネコは困惑し、スイッチを押すことに非常に慎重になつてしまいます。しかし、空腹なネコは、スイッチを押さないでいるわけにはいきません。こういったことを三ヶ月ほど続けます。そうしますと、ネコに変化が現われてきます。まず一つは、体の変化です。痩せてきて、消化不良を起こし、やがて消化器に症状を現わします。たとえば十二指腸潰瘍などです。また、喘息になったり、循環器系に異常を現わしたりするネコもいました。

第二には、精神的な変化として、ちよつとした刺激にもビクビクするようになります。精神的に不安定なわけです。

第三には、対ネコ行動の変化です。ネコ同士の関係に変化が起きます。つまり、互いに相手のネコを避け、孤立するようになります。自分を主張できなくなるのです。これがある人は「無気力になったネコ」などと言っています。

これらの変化を総じて、我々はノイローゼと言っています。エサで惹いておいて、電気ショックでこわがらせる。このようなことを繰り返すとノイローゼになってしまうのです。

これは人間についてもいえます。人が一番喜

ぶもの、つまり強いプラスの出来事と、一番嫌いなもの、つまり強いマイナスの出来事とを予想もつかないやり方で与えればよいのです。プラスの惹きつけるものと、マイナスの遠ざける

ノイローゼを治す方法

さて、このようにしてノイローゼになったネコを、今度はまた正常なネコに戻したい。

そこで、このネコを広い場所に放し、食べ物を豊富に与え、自由気ままに育てた。やがてそのネコは、もとのように太りだし、元気になってきた。外見上はまったく以前と変わらないようになつた。そこで、ほんとうに治ったかどうか調べたい。どうしたらよいか。それは、もとの場所に戻してみる事です。人間でいえば、職場復帰ができるかどうかということです。

そこで、このネコをもとのカゴの中へ入れてみた。するとネコは激しく抵抗し、あばれ回り、そして失心してしまいました。一瞬にして、またもとに戻ってしまったわけです。治ったかに見えたが、それはほんとうではなかったのです。人間の社会においても、まったくマイナスのない社会というものは存在しません。マイナスを除いて治してやることは、根本的な治療にはならないのです。病院に隔離して治療したとしても、除々に職場へ慣らさなければなりません。われわれのところは援助を求めてくる人の中に、登校拒否の子供がいます。学校へ行かない

ものとの葛藤の中で、やがて、その人は、疑心暗鬼に落ち入り、ノイローゼになってしまおうでしょう。あるいは、強いマイナスに繰り返しさらすだけで、ノイローゼがつくられます。

ればならない。しかし、行きたくない。ゆえに悩むというものです。その子に「学校へ行かなくてもいいよ」と言うと、すごく生き生きとします。しかし、それでもう治ったというわけではありません。元気が出たら、除々に学校へ近づけていかなければなりません。

さて、またネコの話に戻しましょう。転地療養は、その場限りのものでしかありませんでした。そこでどうするかというと、プラスの刺激を与えると同時に、マイナスの刺激も少し与えるのです。そうすると、小さなマイナスの刺激というのは、大きなプラスの中に包まれてしまうのです。ネコの場合であれば、おいしい食べ物を与えると同時に、鼻先に弱い空気の噴射と、足元にごく弱い電気ショックを与えるのです。マイナスの刺激は小さいから、ネコにとってはあまり気になりません。ネコはすぐに慣れてしまいます。

そうすると、そのマイナスの刺激を前より少し強くしてやります。すると、やがてその刺激にもネコは慣れてしまいます。このようにして一カ月ほど後には、強い圧搾空気の噴射と電気

ショックの中で、ネコは平気でエサを食べるようになるのです。もうこのネコは、以前のようなノイローゼの弱々しいネコではありません。このように、大きなプラスの刺激の中で、小さなマイナスの刺激を与え、それを徐々に大きくしていくことによって、しだいに強くしていくことができるのです。すなわち、ノイローゼを克服できるわけです。われわれの日常を見て、仕事を終えてから一杯やったりするのは、そうすることによって、仕事上のストレスというマイナスをプラスで包みこみ、心の痛みをやわらげているわけです。

一般に、プラスには何かあるかということ、食べることに、運動すること、趣味、娯楽などです。そして、そのプラスの弱極は、自分を肯定すること、そして、人間関係をもつことです。一方、マイナスの弱極は、自分を否定することです。つまり、「自分はダメな人間だ」と思うこと、そして、そのような状況の中で生活することです。われわれの職場においても、さまざまなストレスがあるわけですが、このストレスというマイナスを飲み込むようなプラスの人間関係を職場につくることが大切であり、また、われわれ自身、職場のストレスを飲み込むようなプラスを自分の中につくることが、精神的強さを得る上で大切なことです。

また、人によって、マイナスを飲み込むことに強いタイプと、弱いタイプとがあります。子供の時から、すべて母親に守られて、プラスのみの世界に生き、マイナスは全然飲み込まずに

育った人は弱いタイプです。また、いつもマイナスの世界のみに生きてきた人も弱い。たとえ、不幸な環境のみの中で生きてきた人もマイナスを越える力が弱いわけです。では強い人とはどういう人かという、基本的にプラスの世

横の関係と縦の関係

人と人との関係には、横の関係と縦の関係とがあります。

横の関係の基本は並行活動です。つまり、自分と他人とが並行した関係にあるということですから。

たとえば、釣りをするとします。一人でぼつんとすわって釣りをしていたら、やはり不安になってしまおうでしょう。近くで誰かが釣りをしていると、なんとなく安心するものです。

また、パチンコなどで、隣りに誰かがいて、自分と同じようにパチンコをしていると安心するものです。大勢の人がジャラジャラやっている傍らで、自分は自分の世界に浸りきってパチンコをやるわけです。隣の人は見ず知らずの他人でいいわけであり、とにかく誰かがそばにいてくれればいいのです。

自分には自分の世界があり、かつ、そばに同じようなことをしている他人がいる。これが並行関係というものです。

これを多くの企業や機関が利用するようになってきました。現代のように、人と人とのつな

界について、しかも少しづつマイナスを飲み込んできた人です。プラスの温かい環境の中で育ちつつ、少しづつ小さな困難や苦勞を飲み込み、克服してきた人は強いタイプです。

がりが希薄になってくると、これをなんとかするために、この並行活動を大切にして、ここから関係を築いていくしかありません。

現代は、個別化の傾向が強くなってきました。特に若者はそうです。個人主義というような、

人それぞれという考えを強く持っており、他人にあまり干渉されたくないという傾向が強

いわけです。それゆえ、彼らを横の関係として結んでいくには、並行活動から入るのが抵抗が

少ないやり方です。これは、個別化の傾向をそのまま損うことなく、全体としてのまとまりを得る最も有効な方法です。

企業などでも、社員同士のまとまりが、組織活動にとって極めて重要なものであるため、並行活動を利用してるところがたくさんあります。

次に、人間関係における縦の関係とは、たとえば、上司と部下の関係です。

リーダーシップということが注目されていますが、これについて二つの面から考えてみましょう。パフォーマンズという言葉をご存知でし

ようか。これは仕事という意味です。車でいうと、エンジンの馬力です。もう一つメンテナンスという言葉があります。これは維持という意味で、車であれば維持費が安いとか、よく整備されているという意味になります。パフォーマンスの頭文字をとりPとします。これは集団

の仕事をおしすすめるパフォーマンスの働きをしつかり行うリーダーということの意味します。そして、小文字のpは、それをほとんどやらないリーダーを表わします。同じく、メンテナンスについて、大文字のMは、メンテナンスに十分気を配るリーダー、小文字のmはそれをほとんどやらないリーダーを表わすとともに、ここでいうメンテナンスとは、組織のまとまりとか人間関係を維持する働きをいいます。

職場は人間関係の場でもあり、それに十分気を配ることをMとします。それから、仕事を早く確実にやることをPとします。つまり、職場においては、このPとMの二つの機能が働いているのです。そして、この二つを十分に使いこなせる人物をPMと表わします。しかし、中にはpMという人もいます。こういう人は、仕事のことであまり影響力は強くないけれども、仲間をまとめたりすることには、十分有能な人です。また、Pmという人は、仕事は大変バリバリやるけれども、人間関係にはあまり気を配らない人です。pmという人は、仕事も人間関係も共にあまりやらない人です。

ある会社で、一つの実験をしました。ある製品を製造する工場で、各作業員を七人ごとのグ

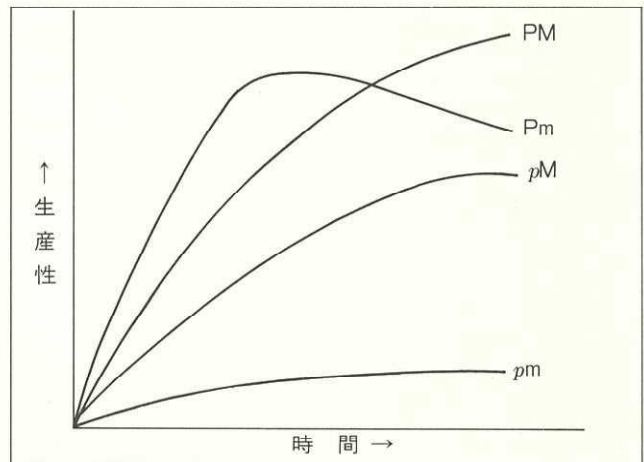
職場とストレス

グループに分けました。その中にはリーダーがい
ません。そのようにして長年続けていたわけ
ですが、もつと生産性を上げようということで、
各グループにリーダーを一人設けることになり
ました。そして、一カ月間の研修を受けたリー
ダーが、各グループに配属されました。

そして、時間の経過とともに、生産性はどう
なったかという調査を、各グループごとに行い
ました。

その結果、*p*mのリーダーのグループは、生
産性はほとんど変わりませんでした。Pmのリー
ダーのグループでは、生産性は初めは大きく
増加しました。しかし、やがて、低下してしま
した。リーダーにバリバリ仕事をやらせられ
れば、ある程度は生産性が向上したけれど、し
だいに落ちてしまいました。また、*p*Mのリー
ダーのグループでは、生産性はゆっくりと上が
っていききました。仕事のことはあまりガミガミ
言いません。楽しくやろうなどと言います。し
かし、高生産性というほどには至りません。最
後に、Pmのリーダーのグループは、グループ
としてのまとまりも良く、生産性も非常に高く、
最も理想的なものです。

ところが、ある時、一つの大きな変化が起き
ました。それは、*p*Mのリーダーのグループに
おいて、急に生産性が上がったのです。実は、
今まではリーダー一人を問題にしていたわけ
です。ですから、このような*p*Mのリーダーのも
とで、こんなに生産性が上がるはずはない、お
かしいと疑問が出たわけです。



このグループは全部で七人なわけですが、こ
の中の一人が、「私たちは気のいいリーダーに甘
えている。しかし、それではよくない。他のグ
ループに負けないように、みんなで、もつと仕
事をやろう」と提案したのです。会社が与えた
リーダーはM型なのに、その部下にP型が出現
したわけです。このようになると、このグルー
プはPとMがそろって、一つにまとまるため、
生産性が向上したのです。

これとは反対に、リーダーと部下とが合わな
いグループは、かえって生産性は下がってしま
いました。

以上が、リーダーシップの一つの方法です。



みなさんの職場ではどうでしょうか。部長さ
んあたりはM型が多いのではないのでしょうか。
そして、課長はP型が多いと思います。課長は
厳しいけど、部長が仏（ほとけ）だから助かる
というケースが多いのではないのでしょうか。こ
れは前線指揮官と、その後ろの指揮官との関係
であり、その仲が良ければ、あるいは、その組
合せが適切であれば、十分に組織としての機能
を発揮できるわけです。

リーダーが優秀であればそれに越したことは
ないのですが、それだけではなく、グループあ
るいは組織全体として、PとMとのバランスが
とれているかどうかということが大切です。こ
れが縦関係では重要なことです。

説得の方法

説得とはどういうものかというところ、相手の意見と反対のことを、相手に納得させることをいいます。これには二つの方法があります。

一つは一面提示という方法で、物事の一面だけを出していくものです。つまり、こちらの主張したいことだけを、一方的に相手に話していくことです。一面提示は、もともとその意見に賛成人人に対して有効です。また、教養水準の低い人にも有効です。

ある時、たまたま選挙演説を目撃したときのこと、その候補者は保守系の人だったわけですが、「みなさん。私の所属する〇〇党には、良くない部分があります。みなさん御存知のように汚職もありました」と演説しました。そしてその後、「しかしみなさん。わが党以外にはみなさんの信頼にこたえられる党はありません」というようなことを強調しました。これを両面提示といいます。都合の良い面も、良い面も出してこういうものなのです。

それから、私はある農村地帯へ行ったときに、そこで偶然にも、またその候補者の演説を聞くことになりました。彼は「みなさん。私は〇〇党の××です。他の党は全部ダメです。わが党に悪いところは何もありません。全部良いです」というようなことを言っていました。同じ人物でありながらも、こうも違う演説を行ったわけ

です。なぜかというところ、彼の後ろにいる選挙参謀が、ここにいる人々はみな保守系だから、決して保守のマイナスは言っちゃいけないよと指示したからでしょう。汚職の汚の字も言いません。これは一面提示というやり方です。つまり、もともと賛成人人には、良いことだけを言うわけです。

しかし、これは本当の説得ではなくて、むしろ、あつちを向いている人に、こつちを向かせ

ポジティブ焦点効果

同じ物事でも、見方によってはマイナスがプラスになることがあります。これをポジティブ焦点効果といいます。

たとえば、ある人をマイナスの目で見ますと、その人の小さな欠点までも大きく見えてきて、その人はまるでダメな人だと思えてくるのです。ところが、その人をプラスの目、つまり、ポジティブ焦点で見ますと、その人の良いところが発見でき、その人に期待が持てくるようになります。同じ物事でも、プラスの目で見ていくことによって、それを生かしていくことができ

るので、ではなぜ、われわれは見方によってはプラス

ることを説得というわけで、これにはどうしても両面提示が必要なのです。はじめは自分たちのことを少し批判し、マイナス面をも提示します。これは聴衆の考えに近づくわけで、聞き手は耳を傾けるでしょう。そのようにして、聴衆を引きつけておいて、今度は自分たちの主張したいプラスの面を提示するので、これが両面提示であり、大変巧みな説得の方法です。

両面提示とは、本質的にどういうものかというところ、まず、相手の考え方にこちらが近づくこと。そして、手をつないでおいて、こちら側に引っぱる方法です。これはしばしば使われている有効な方法です。

の目で見る事ができるのか。それは、私たちに極めて単純な一つの傾向があるからです。自分がいいと思っていることは、どこまでもいいと思う癖があるのです。

「タバコを吸うと肺ガンになると言われていますが、これは百パーセント証明されていますか。それとも証明はまた不十分だと思えますか。」こういう質問を、一日にタバコを四十本以上吸う人に、あるいはまた、まったくタバコを吸わない人に出してみたらどうでしょう。おそらくタバコをたくさん吸う人は「タバコはガンの原因になるかもしれない。しかし、体質次第だ」と答え、タバコを吸わない人は、「それはきつと

ガンになるだろう」というふうに答える人が多い。なぜなら、人は自分のやっていることに合わせて意見を選ぶからです。自分の立場や、やっていると合わせて情報を入力し意見をつける傾向があるのです。

ステップ・バイ・ステップ

人が人に影響を与える方式として、もう一つステップ・バイ・ステップの原則というものがあります。

ある時、かつて私の学生であった一人が来まして、山へ行きましようかと誘ってくれました。彼は、学生時代に山岳部のキャプテンをしていました。私も若い頃はよく山へ登ったものですが、すぐにOKしました。場所は蝶ヶ岳に決まりました。

さて、登りはじめたわけですが、私達の予定では登り始めて、だいたい五〜六時間で山小屋に着くはずでした。ところが、二時間も登ったころには私は疲れきってしまいました。自分ではだいが登ったつもりなのですが、まだ中腹も見えません。それに雷雲も出てきました。困ったことになりました。しかも、そこで少し休憩したらもう立てなくなりました。私を誘ってくれた彼もだいが困っていました。

その時、彼は「先生、頂上はしばらく忘れましょう。ただ、せつかくここまで来たのだから、あと三十分だけ登ってみませんか。そうすれば、

ですから、タバコを吸っている人には、ガンになると思っている人が少ない。部下を見る時でも、はじめからダメな奴だと思ってしまうと、彼らを指導していくことはできなくなります。プラスの目で見ていくことが肝心です。

清水のわいている所へ着きますよ」と言い、また。三十分くらいならいいだろうと返事をして、なんとかまた登り始めました。三十分登って、そこで二十分ほど休んでいると彼は、「つぎに三十分行くと、コル(鞍部)に出て、そこから下の方が見おろせるかもしれません。行きますか」と言いました。三十分なら行くと返事をして、また登り始めました。そのようなことを六回も七回も繰り返しました。そうすると、しだいにリズムが出てくるものです。そうこうしているうちにやつと頂上が見えてきました。そして、山小屋に倒れ込むようにして、やつと着きました。このようなやり方が、まさにステップ・バイ・ステップというものなのです。

小さな目標、あるいは身近な目標なら、人は「できるぞ」という気持を強くもって、ものごとにとりくめるようになるのです。そして、その小さな目標を積み重ねていくことが、大きな目標になるのです。彼は私の教え子でしたから、思案したあげく、私から教えられた、この方法を思いついたのだそうです。

みなさんの場合にも、もし部下をまったくダメな奴だと思ったら、指導していくことはできなくなりますが、プラスの目でみなおして、その部下に合わせたステップを用意することによって、部下を一段上のレベルに上げることができるようです。そして、第二、第三のステップを登らせていくという指導方法がステップ・バイ・ステップです。

この方法は、何かにつけて逃げ腰になる人を指導していくのに有効です。今の若い人たちは、困難に耐える力がなくなっています。マイナスを飲み込まずに育ってきた若者たちが多い。そのような彼らに、まず、小さな困難を与えるのです。そして、それを乗り越えたら、また一段上の困難を与えます。そのように、小さな困難をたくさん乗り越えることによって、大きな困難に耐え得るように指導できるわけです。

日本の繁栄は、日本人が頑張り屋だからできたのです。しかし、今の若い人たちは必ずしも頑張り屋ではありません。何事も結局は人間の力によるわけであり、その人間の力を生かすような指導的人間関係を作ることが大切です。それは、ストレスに強い人間をつくることでもあるのです。困難を乗り越える過程で、人は一歩一歩成長し、強くなるのです。こういったことを、人間関係を立て直す上で、あらためて考えていっていただきたいと思います。

話し合いの心

江 木 武 彦

(社) 言論科学振興協会理事長

話すことが人間関係の基本

「話す」ということが、どういうことか、よく考えられていない。「話す」ということは大事だと思ふけれど、まあどうって考えない」というのが一般的ですね。

みなさん方も「用地課は、話をしなきゃならないところだけれども、オレは話がヘタだからしようがないな」と、きつとお思いになったと思う。「遺伝じゃないか」という人もある。まず真剣に考えない。たいていの人は努力しないで「結婚式でテーブルスピーチをやって恥をかいてきたんですが、どうもヘタでね」という。話しはうまいに越したことはないけれど、まああなたとかなるだろうというのでは、私は、ハッキリいって非常識だと思ふんです。

あなた方も用地課に放り込まれて、これから仕事をするんですが、用地の仕事というのは建設関係の基本で、用地さえ確保できれば七八割は成功です。東北新幹線が大宮から出るでしょう。三年ぐらい経つと上野から出るようになるんでしようけれどね。あの原因は国鉄の用地課の失敗です。赤羽のある学園からの用地買収を失敗している。

いきなり最初に学園に課長程度の人をやったところ、あの学園の理事長がうるさい人で、なめられたと思つたわけです。用地買収をやるときにだれが交渉に行くのかということも、た

いへんな問題ですよ。

人間というのは感情を害するとダメなんです。奥さんのいる若い人のウチは気をつけろと言いたい。「あなたはいいでしよう、だけど私いや！」とこう来る(笑い)。女性の欠点は感情なんだね。

用地買収で一番の問題は感情がこじれたらおしまい。直らないんです。人間関係というのは、なかなかむずかしい。その人間関係をどうするかの基本は「話す」能力です。

たとえば、みなさんが用地課にいと課長が入ってきて、「あ、君がいてよかった。君ならやれるんだよ。実はこうなんだ。やってくれ」と言われたら、気持ちいい。「そんなにおだてなかつたって、やらしていただきます」と、こうなります。もしも、課長がやってきて「君しかないの。弱つたね。君にやってもらわなければならぬが……」と言われたらね……(笑い)。奥さんがいる方も覚えておいて下さい。「あなたそれおいしい？」と聞かれたときに、「食つてるんだからまずくはないよ」なんて言つたらつからなくなる(笑い)。「お前このごろ料理がうまくなつたんじゃないか」と言えば「もつとうまくなつて、おいしいのつくろう」ということになる。「話す」ということは、その場でどんな関係をつくるかという、人間生活の基本の能力

だということだけは覚えておいてもらいたいと思う。

みなさん方が会議やったってそうでしょう。三分か五分で言えることを、ぐずぐず十五分、

二十分もかかってしゃべる人がいる。あれでどのくらい他人に迷惑をかけていますか。話がヘタだということは、他人に損をかけるということなんです。

説得と説明

この前、相当長い間、用地関係をやってる人たちを集めて話をしたときに「あなた方は土地収用法という法律を使いますか」と聞いた。そしてら年配の人が「使いません。なぜなら土地収用法を使うようになるということは、用地買収の能力がないことを自分で証明したことになる。できる限り説得で頑張ります」というからおお、いい答えをしたなと思った。

自分たちが困ったら「ハハア、お聞きにならないですか。それなら官の立場としても、土地

収容法というものもございましてね」とやったら、自分で自分をダメにすることだ。

役人というのは説明は割合うまい。だけど説得は苦手な人が多いんだね。説明というのは、自分の思うことを相手にわからせる。説得というのは、自分の思うことを相手にさせるということです。役人は説得はあまりうまくない。困るとすぐに権力を使う。条例ではこうなっておりますとかね。説得に向かっている努力をしないから、能力が上がらない。

声音で変わることばの意味

では、うまいこと言えばいいのかということとそうじゃない。私は外務省の外交官試験通り立ての若い人に教えるけれども、君たちフランス語や、ドイツ語、英語が得意で、そのお蔭で外交官試験に通ったんだらう。しかし、フランス語が得意だつてパリやフランスでは、上等な武器を持つているようなものでいいだらうが、ドイ

ツに行つてフランス語ができたつて、そんなものは問題にならんぞ」という、言い換えれば、フランスで一番使いやすいことばがフランス語なんです。

ことばを知つてれば話せるということじゃない。外国に行くのに英語の講習会などをよくやるが、私はあんなことをやるより話し方を覚え

ろという。どんなにいいことばを頭で考えたつて、黙つていてはなんにもならんでしょう。たとえば、車がパーッと飛びこんで来たときは「危ない」と怒鳴る。それと、小さな声で「あそこは危ないから気をつけて行けよ」というときの「危ない」という意味とは違う。言い換えれば声音でことばの意味が違つちゃうんです。

「君きれいだねえ」と心から思ったときは、やつぱり正しい声音が出る。心の中では、このおかめんこと思いながら「君ほんとうにきれいだね」と少し語尾が上がるようになってしまふ。大胆に分けると、だいたい調子には、上がり音と下がり音とあつて、上ずつて語尾が上がつてくるか、下がつて語尾で締まるか。まあほんとうのこと言にくいような水商売の場合には、へんちくりんな面した男に向かつて、「あなたの顔変ね」とは言えないですね。「ブロンソンさんに似てるわね」とか、うまいこと言わなければしょうがないから、上がり音ですよ（笑い）。上がり音は、だいたいウソか、いい加減なことばですね。

だから用地買収の場合でも、「考えておきます」と下がつてきたら、これは六、七分は考えてくれている。よく課長が、部下に「ああ、わかつた、わかつたよ」と語尾が上がるのはわかつてない。ほんとうに守られる約束というのは下がり音です。

どんな心でもの言つてるから声音は変わるんです。だからお世辞なんて、心にもないことをペラペラ言うということは、声音が間違つてま

話し合いの心

シヤアつと削って三行半ぐらいにしちゃう。そ
ちのほうがよくぼどいい記事になる。僕は後
からデスクになったけれど、新米記者なんか、
書いてきたって使えない。ずっと削る。つまり
これが整理です。だから新聞社やなんかには、
整理部というのがあって、そういう乱暴な整理
をする。話すときにも、どういうふうに必要な
ことは捨てて、キチンと整理して言うかも話
し方の勉強の一つなんです。

清潔な服装

ついでにもう一つ言えば服装が大事なんです。
人と会うんだから、暴走族みたいな頭したの
はダメで、ズボンもキチンと筋が通ったもの、
ワイシャツはキチンときれいなを着なきゃい
けない。やっぱりよい品物は、よい包装に入っ
ているのと同じで、服装は大事なんです。僕は、
よくセールスマンに、一番大事なのは服装だ
とよく言う。なにも、英国製の素晴らしいもの
着なくたっていい、キチンとしていることです。
爪なんかでも、先が黒くなっていたんではいけ
ない、清潔な感じを相手に持たせることは、や
はり必要です。

要するに、用地課は、対外の接触課、外交官
なんです、一番大事なところですから、どうし
てもやっぱりキチンとした形で相手にならなけ
ればいけない。

それから、ペラペラものを言ったって、そん
なことで聞いてもらえないはずはない。だいたい
他人は話なんか聞こうと思っちゃいない。あな
た方も、講習会に出た時、ぜひ先生の話を聞き

たい、待ち遠しいなんて思わないでしよう。「君
講習会へ行ったまえよ」「ああ番が回ってきたか」
というようなことで、結局「いつ始まるんです
か」と聞くより、「いつ終わるんですか」という
ことを先に聞きますね。「遅く来て早く終わるの
がよい先生」という川柳がありますよ、要する
に短く話せということですよ。

しゃべるより聞く態度

そこで、第二の問題は態度です。やはりだら
しない態度では聞かない。もう一つは「話す」
ということの裏は「聞く」ということです。私
がある官庁の課長に用があつて、会いに行った。
課長に部下が何か報告しているのを、ひよっと
見たら、横を向いて聞いている。ときどきチラ
と部下の顔を見て、また横を向いてナマ返事し
ている。いいですか、自分の話を、このように
横向いて聞かれて、本気になつて話しをする者
はいいますか。私は、その課長はダメだと思った。
むしろ、しゃべるよりは聞くほうが大事なな
んです。相手が話をしてるのを、天井が汚ない
というような顔をして聞いていたんでは、おし
まいですよ。相手の顔を見ながら、どうぞどん
どんお話しください。いくらでも聞かせていた
きますよ、という態度が必要だ。

会話というのは、感じよく聞く努力が先なん
です。これを気負って「ぜひ、こういうこと
ですから、市のほうにその土地を売ってくれ」と
ペラペラペラペラしゃべつたって意味ないわけ
ですね。皆さん方、聞くことは嫌いでしよう、
人間、自分の思うことを吐き出すほうが気持ち

いい。用地買収の一番大事なことは、どのくら
い辛抱して話が聞けるかということだ。相手は、
一銭でも高く売ろうと、不愉快なことを言う
それをどこまで聞けるか、辛抱できるかとい
うことです。

保険の勧誘員でも、ペラペラしゃべるのは成
績が上がっていないです。お客の話を、気持
ちよく誘導できたなら、それが満点なんです。こ
れからは相手の顔を見て聞き、相手の顔を見て
話す、寄席に行つてご覧なさい、やっぱり、は
なし家なんかは、舞台の上に出ると一生懸命お
客を見ている。見なきや結果がわからないから
です。

あなた方の仕事のやり方の基本は、話し合い
ができるかどうかなんだ。簡単に言つて、まず
用地買収に行った場合は「ご意見を承ります、
こういうことをお願いに上がつたんですが、ど
うお考えですか」と聞きなさいよ。説得が一番
へたくそなやつというのは相手の話を聞かない
人だ。

あなた方、奥さんの話を聞いてますか。「話
し合いしよう」「じゃ、私言わせてよ」「バカお前
の言うことなんか聞かないでわかる」。聞かない
でわかるはずはない。子どもに對してだつてそ
うです。聞く努力をどこまでしているか。

私はよく日教組の教師を集めて話をするが、
あなた方、生徒の話をどこまで聞いているんだ
という。話し合いをしましょうといつて、あな
た方のやつていることは「朕思うに皇祖々々」
だろうと、汝よく聞け！ だろうと、だから生

徒のほうだつて朕勝手に思っているでおしまいだと、先生は聞かないね。

聞いてもらう努力なんて、そう簡単なものじゃない。だから話し合いというのは、その一番むずかしい聞き役を自分で引き受けること。「あすこへ行つて交渉して来い」と課長から命令が

話のよしあしを決めるのは聞き手

さあ、今度は、もう一つの問題がある。それは、自分の話が、よかったか、悪かったかの決定権は話し手にはない、聞き手にある。話し手に決定権があれば楽だ。用地買収だつて「お売りにくださいませんか、こういう条件です」「はあ、けっこうです」これだったら、だれにでもできる。自分の話が、よいか悪いかを決定するのは、聞き手、相手です。

きょうの私の話が役に立ったかどうかを決定する権利は、あなたの方にある。私にはない。私は、私の思うどおりの決定をさせるだけの努力をするだけです。よく生徒が授業中に寝たと怒るのがいるが、あれは生徒が寝たんじやないんだ、先生が寝かしたんだよ……(笑い)。わからないような話を聞いて寝ない生徒がいたら、その生徒が生理的におかしいんで、寝るのが当たり前です。寝ちゃいけないというなら、それだけの話し能力を身につける、ということだ。

聴衆分析

よく相手のせいにする、「あいつは頑固だから

出たら、「はい聞いて参ります」とこういう。あなた方の用地買収の第一歩は聞くということですよ。説得に行くなんて、生意気なこと思うな。まず相手の注文を聞きなさい。それで注文に応じて持つて行くということだ。

オレの話がわからない」と。話がわからないのか、わかるように話しができないのか、どっちか。責任は自分ですよ。

いやなことを言うようだけれど、用地買収で失敗したときに、相手におつかぶせてはいけません。「ああいうところへやるなんて課長も課長だ、残酷だ」なんていうが自分の能力がないということが先ですよ。他の人が行ったら買えるかも知れない。「なぜオレがやり損なつたか」と自分の責任で考えてください。

会社の社長相手にしているのか、個人のオジさんを相手にしているのか、奥さんに話しているのか、全部決める条件が違っているんです。

われわれのほうのことばでいうと、それを「聴衆分析」、つまり聞き手の分析ですね。もつとわかりやすくいうと、話をするとき、聞き手はマトなんです。そして話しているいろんな事柄は、マトを射る矢なんです。話し手である私は、矢を射ってる射手だ。そうすると、マトは、その場、その場であつたり、下にあつたり、い

ろい変化する。つまり聞き手を考えるということは、マトをしつかり見ろ、ということなんです。

先ほど言った、国鉄の用地買収の赤羽のある学園に対する失敗は、マトの見定め方が間違つた。あの土地は先祖代々の土地か、どういう条件をもつてるのか、いろんなこと調べて初めて行けるんであつて、ただ、お宅の土地を売ってくれとはいかない。つまり、聴衆分析をして行けということです。その聴衆分析とは、決定権が聞き手にあるから、どんな条件を聞き手がもつてるかをしつかり探つて行くんです。

心理変化

次に話をした途端に、相手が聞いているという、この事実だけは自覚する必要がある。たとえば、職場の女の子に、「君の顔、毎日毎日見るたびにきれいになるね。きょうは特にきれいだよ」と言つたら、「あなたもすてきよ」と言ふこと言うでしょう。ところが、もしも「整形したらどうだい」と言つたらなぐられる(笑い)。

言い替えると、あなた方が一言、話をしたとなると、相手になんらかの心理変化が起こっている。とにかく話す以上は、プラスかマイナスかの心理変化が相手に起きています。あなた方が、用地買収に行つて、「どうも……」と言つて、最初の一言で、相手がなんらかの変化が来ていることを覚悟しなければ本当はいけません。

話すということの怖さはこの心理変化にある。そういう心理変化が、人間関係をプラスにするか、マイナスにするかということなんです。やっぱ

り話すということは人間関係をどうにでも決定するということ、よく覚えておいてください。たとえば朝「課長おはようございます」と言っていると、「きょうも一日お願いますよ」というようなこと言われれば、「はあ、死ぬまでやります(笑い)となる。

協力はよい人間関係から

早川シャープをつくったのは、私の叔父の早川徳次ですが、死ぬ一昨年、オジキの部屋で話してたら、「おい武彦、お前孤独になっちゃいかんよ」という。意味はわかっていただけれども「どうしてだ」といったら、「世の中には孤独でなんか格好つくように思うやつがいる、オレの会社のバカ課長なんか、部下に『お前ら、仕事をしなければいけない。オレ一人でやる』なんて言って、いい気になっているのがある。しかし、世の中のどんな仕事でも、孤独では絶対にダメだ」と言った。

「どんな強い大将だって、一人で敵陣にとび込めば餌食だ。孤独だっていい気になるけど、あれは、砂ぼこりを浴びて砂ぼくをトボトボ歩くもつともみじめな姿だ」ということを覚えておけ。多くの仲間が協力してくれて、このシャープができたし、また世界中の人がシャープの品物を買ってくれているから、こうやって、やっているんだ。一人でも余計に協力をあおがなければ、社会の生活はできんぞ」と、こういう。私

ところが「おはようございます」。「ああすべり込みか」とやられてご覧なさい。それでやる気なくなっちゃう。管理職になって一番大事なことは、部下との人間関係をどうつくるかという事です。

もそうだと思う。

そうすると、いろんなところで「部下から協力されたいためには、どういうことをやっていきますか」と聞くと、たいいていの人の答えが抽象論だね。「部下の面倒をみて、世話をして親切にして、正直につき合う」という。そのとおりですが、その中には方法がない。だって面倒見すぎりや、おせっかい、親切にしすぎりやしつこい。正直だって、死にそうなのところへ見舞いに行つて、「お前死にそうだと聞いてやって来た。その顔色じゃ今晚あたりダメじゃないか」と言つたらたいへんですからね(笑い)。抽象論じゃダメなんです。方法なき努力は、もがくかあがくかということですよ。用地買収でも方法を考えないで、ただ「これは市のために正しい仕事である」、「これは国のために正しいことである」という総論じゃダメなんだ。問題は方法論なんです。

とすると、具体的にどうしたら協力してくるか。これを裏から考えてみる、どういう人間な



ら協力してくれるか。抽象論でいえば、親切な人、温い人、感じのいい人。しかし、それはたった一つの条件があるということなんだ。簡単にいって嫌いなやつに協力しますか。しないでしよう。好きな水臭いこと言うなど喜んで協力しますよ。嫌いなやつが「お前とマアそうだな、この仕事ちよつとやってくれ」といえば、「冗談いうな、これから忙しくなるんだ」という(笑い)。

だからよい人間関係がなくて、協力しろということはできない。よい人間関係をつくるには、努力がいりますよ。だからサミットでもサッチヤーなんか集まって人間関係をつくるでしよう。最初の晩飯のとき、中曽根が六十五の誕生日。そうするとレーガンが、まあそんなにぜいたくな菓子でないのにローストを立って、パースデーケーキをだす。あれは、なんでもないようだけれど、たいへんな演出だね。うまいよ。やっぱりレーガンは役者だね。言い換えると、よい人間関係をつくる努力をしなければ協力は得られません。

あいさつと返事

いい人間関係をつくるには、最初にどうい
話す能力を持ったらいいか。まず何よりも、あ
いさつ能力をつくってほしいんです。あいさつ
というと、あいさつ運動なんてあるけれども、
あれはわかってない。あいさつというのは礼儀
作法みたいな簡単な問題ではないのです。

職場のことを思い出してください、朝やって
きて「お早よう、きのうどこへ行ったんだ、き
れいだよ」というふうな、どんどんあいさつし
ている人は必ず仲間が多い。オレは友だちがな
い、オレは孤独、オレは他人から相手にされな
いというのは、あいさつ能力がないんです。つ
まり、あいさつというのは、人間関係をつくる
もので、野球でいうとピッチャーがタマ投げる
ようなもので、タマ投げなければ野球は始まら
ない。あいさつがないところに人間関係ができ
ないんですよ。仲間だろうと、上であらうと、
下であらうと他の課の人であらうと、「お早よう、
きょうは寒いですね」と先をやってください。あ
いさつというのは人間関係をつくらうとする、
第一歩の努力なんです。勇気もいります。

ことに、部下に先にあいさつされるようでは
マネージメントの能力は半分以下です。役所で
見ているご覧なさい。部下をちゃんと管理してい
るものは、先にあいさつやっている。「おお、お
早よう、きょうはバカに元気のいい顔している
ね」と、バーツと先に言っている。当然、部下
が先にあいさつすべきであるというので、みん
な来たか、というような顔している管理者は、
ダメです。それはなぜか。心理学的に言うると、
あいさつというのは、「お前に関心を持ったよ」
ということを相手に知らせる形なんです。
そうすると、どういふふうにあいさつをして
いったらいいかという問題が出る。ただ、「こん
にちは用地課から参りました、お宅の土地のこ
とでいろいろ話がありました」と言うんでは
ダメなんです、あなたたちのあいさつで、なん
となく相手をこっちへ向かせなければならな
いでしょ。

「どうもお忙しいときに恐れ入ります、ちょ
つと変なこと伺いますけど、玄関に盆栽があり
ましたが、あれはご趣味でございませうか」でも
いいし、「この辺いい土地ですね」でもいいし、
要するに相手にピタッと合うようなあいさつが
必要なんです。また、用事がすんでも、用地
買収なんて一回ですむ問題じゃないでしょう。
五回も十回も行かなきゃならない。そうすると
別れのあいさつは、次の出会いの第一歩なんで
す。「どうもほんとうに長いお時間をとってしま
いました、すみませんでした、ありがとうご
ざいました」というふうに別れのあいさつをし
っかりやるのが、次の出会いの第一歩です。

むしろ、うまくいかないで不愉快なときほど別
れのあいさつを丁寧にやってください。向こう
だって、かわいそうなことしたと思っっているん
だから、「どうもすみませんでした、お忙しいと
きに時間をとってしまいました。また伺わせて
いただきます。一つお考え願いたいと存じまし
て」と言つて、次の段階に一手手を打つこと
です。将棋でも碁でも、そのときだけの手を打
つてののろくなのなないですね。十手先、二十
手先を読まなきゃダメです。よく、「お得意をつ
くるにはどういふふうにしたらいいでしょうか」
というから、「別れのあいさつを、しっかりやり
なさい」という。お得意とは何度もくる人をい
うんだということですね。

人間関係というのはつくってみなきゃわから
ない。口をきくのもいやだと思つたものも、な
じみになったら素晴らしいやつだったというこ
とがあります。ことにあなた方の仕事で一番大
事なことは、うんと人間関係を持つこと、紹介
してもらうことが大事なんです。紹介というの
は歩兵が、援護射撃を持っているようなもので、
「実は山口さんご承知でしょうか、私、知り合
いでございまして……」というだけで相手は親
しさを感じてくるんだね。私なんか権力もカネ
も何もない。しかし人間関係だけは腐るほど持
っています。

次にやってもらいたいのは返事です。みなさ
ん、返事なんて子どもじゃあるまいし、と思っ
てしまうが、まず返事の悪いのが多い。あなた
方、タクシーに乗って返事しない運転手が一番

不愉快なことはわかるでしょう。「東京駅」と言っても返事しないから、聞こえないと思って「おい東京駅」というと、「わかってます(笑い)」。もう降りなくなる。つまり返事というのは人間関係をつくろうと出た相手に対し「喜んで」という受けなんです。だから返事が悪いということとは、お前と人間関係をつくりたくないよという形を示されることです。返事が悪いということとは、ニコッと笑った相手の面を横手で張ることなんです。だから皆さん方が部下をこれから持つとき、一番大事なのは、部下に対しては

たいせつなのは会話の努力

そして次にしていただきたいことは、会話の努力なんです。親しい人とは会話の回数が多い。言い換えると会話とは、お互いの人間関係を深める大事な仕事なんです。だから会話をしないということは、全然人間関係ができません。会話は努力しなければできない。気持ちよい会話をしていたきたい。気持ちよい会話とはうまいことを羅列することではなくて、結局、心で話なんです。

どんな心で会話をするか、その一番の基本は、相手の自尊心を守る。人間の一番傷つきやすい場所は心なんです。心を傷つけられたら答えは反発か、反抗なんです。なんの気なしに言った一言が相手にピシヤリとやることがある。つまり相手の心を傷つけないという心構えだけは

きり返事することです。たとえ聞こえなくて返事しない場合でも、相手はぶんぶんぐられた気になるんです。

ことに用地買取で相手と会話するとき、相手も言っても返事しないでブスツとしていると、もう相手をぶんぐったことになるんです。だから呼んだのかなと思つたら「なんかお呼びでしょうか、あ、お呼びでない。そうですか、どうぞいつでもお呼びください(笑い)」。それくらい返事というのは神経を使うもの。

もってほしい。だから怒鳴つた方がいいんですよ。「ダメじゃないか君は、ふだん、ちゃんとやれているのにどうしたんだ」この「ふだんちゃんとやれているのに」ということばで、相手の心を守ってやることです。たとえ女房だから、子どもだからといって心を傷つけていいという理屈にならない。傷つけられれば「なにを！」という形だからね。会話が成りたなくなっちゃうんです。

これからは一つ、相手の自尊心を常に守るという根性で会話をやって、お互いの人間関係を深めなさい。人間関係が深まるのが、何よりも一番の説得の基本になるんです。やっぱり人間関係の深い場合は「お前の言うことは聞く」というふうになるでしょう。



言い換えれば用地買取でも、ただ「こういうわけのでぜひお願いします」と言つたって、そんなものはダメなんです。常によい人間関係をつくる努力、それが基本になって初めて、別段なんにもいわなくても、「あなたの言うことなら聞いておきましょう、あなたの条件で一つ」と。仲良くなれば、そうなるんですからね。

ダイヤモンドも磨かなければ光らない。きょう私が申し上げたことは、話すという能力は、神が人間にのみ与えた生活の基本能力だ、ということなんです。よくいろんな人が、先生は話し方を研究しているから、話しの問題をさういうふうに強くなるだろうというけれど、そうじゃないんです。

話というものは、そんなに力がある。しかし、ダイヤモンドは磨かなければ光りません。正宗の名刀だって磨かなければ切れない。神は話す能力を与えてくれたが、研いても磨いてもない、それをするのはそれぞれ個々の努力しかないのです。一つ、きょうの私の話を、あなた方のこれから人生を歩くための参考にして、しっかりとやってほしいと思います。

戦後建設相小伝 15

始関伊平



管野啓太郎

(政治評論家)

文中敬称略

五十六年から五十七年にかけておきた公共事業発注をめぐる談合問題は、発注者側であると同時に、建設行政の元締めでもある建設省を危機的状态に追い込んだ。それは、同省が昭和二十三年に発足して以来、最大のものであったといえる。そのさなかに第四十代建設大臣として登場した始関伊平は、持ち前のクリーンさと、官僚出身政治家のバランス感覚でもって、難局を何とか乗り切った。しかし、始関がめざした発注をめぐる建設行政の改革は、政、官、業（界）のそれぞれの壁にはばまれて、必ずしも十分にその成果をみないままに終わったとの感が強い。

「建設大臣をお願いします」——鈴木首相は、首相執務室に入ってきた始関に建設大臣委嘱を「発令」したのに続けてこういった。「建設省は今、談合問題の処理が一番重要課題ですから、そのつもりで、しっかりやして下さい」。

五十六年十一月三十日に行われた鈴木内閣の内閣改造で、始関伊平は建設大臣として初入閣した。当選九回、元通産省資源庁長官のキャリアからすれば、むしろ遅きに失した初の閣僚の座ではあった。その始関の前に待ち受けていたのは、内閣改造の約二ヶ月前に表面化した公共工事発注をめぐる談合問題である。

昭和五十六年九月、公正取引委員会（公取委）は、官公庁発注工事の入札をめぐる、談合が行われた疑いがあるとして、静岡県建設業協会などを立ち入り検査し、入札関係の書類を押収した。公取委が建設業界に対し、談合入札を禁止している独占禁止法（独禁法）に違反の疑いで、立ち入り検査したのはこれが初めてだった。

独禁法第八条第一項第一号は「一定の取引分野における競争を実質的に制限すること」（事業者団体がしてはならない行為）としているが、公取委は、これを拠る所に、談合が競争の制限になるとして、静岡県内の業界団体を摘発したのだった。

いわゆる談合とは、入札に際して、これに応じた業者が、事前に仲間うちで話し合い、落札者を決め、話し合い通りに入札することをいう。これは、業者間で無駄な競争を避け、ダンピングにならないようにするための長い間の業界の一つの方途であった。

建設業界ではかつて、受注競争の行き過ぎから、ヤクザまがいの「出入り」が行われたことさえあった。業界側にいわせれば、談合は、無茶苦茶な競争を避けつつ、業者間で実質的な競争をしながら、落札者を決める、「受注調整」作業であった。

無論、陰のこの「システム」には、それなりに、発注者側と呼吸があつていなければならない場合もあると思われるし、時として、政治家の介入が噂されることがないわけではなかった。独禁法に照らせばもちろん、「違法」行為であることはまぬがれなかった。

いふなれば、同省としては「もつとも痛い所」（同省幹部）を公取委に正面から突かれた格好となっただけに、ショックも大きかった。

公取委の立ち入り検査から約半月後の十月十六日、当時の斉藤滋与史建設大臣（静岡二区）は閣議後の記者会見で、談合問題に関連して「全国に五十万近い建設業者があり、仕事が少ないと競争になる。競争をもつとも有効的にやる手段として、業者間の話し合いが行われる可能性があるのだから、あまり犯罪視するのはどうか」と述べ、談合を容認した

ともとれる発言を行った。その直後に、同相は改めて記者会見し、「談合が行われる可能性についての背景を述べたもの。談合行為を決して容認するものではない。法律違反があれば厳しく対処していく」と文書で補足説明したうえで、さきの発言を取り消した。

齊藤としては、ある意味での「本音」をちらりとどかせたが、「建前」の前には、ただちに撤回せざるを得なかったわけで、ここにも談合問題の難しさが象徴的にあらわれているといつてよかつた。省内には次第に重苦しいものがただよい始めていた。福田派幹部の始関が大臣として乗り込んできたのは、ちょうどそんなころだったのである。

*

始関は、明治四十年四月、千葉県市原市に生れた。旧制千葉中（現県立千葉高）を四年で修了し、旧制一高を経て昭和五年に東京帝大法学部を卒業、ただちに商工省（通産省）に入った。

昭和二十七年、資源庁長官を最後に退官したが、まだ四十四、五歳。世間から引退するには早すぎた。その年の選挙に千葉一区から立候補するが、落選。翌二十八年のバカヤロー解散で初当選を果たした。

政界に打って出てからの始関は、通産、労働、科学技術の三政務次官と、建設、内閣の二常任委員長などをこなしたものの、なかなか入閣までには至らなかった。政策通ではありながら、はつたりのない気まじめな性格から、関務などにはうとく、派内でも地味な存在だったからだ。しかも、初当選後の三十年と四十七年に二回落選しているのも痛かつた。

が、五十六年の内閣改造を前にして、地元自民党千葉県連を中心に、「始関入閣」の声が高まった。その前年に起きた川上千葉県知事（当時）の五千万円念書事件で、始関が同県連会長として処理に苦勞したことや、水田三喜男がなくなつて約十年間というもの千葉県から大臣が出ておらず、同県選出の自民党国会議員が一致して始関入閣の運動を起したからだ。

始関がなぜ、建設大臣に起用されたのか——。建設省幹部や福田派幹部の分析によれば①福田派系のポストといった感じの強かつた運輸相に田中派の小坂徳三郎が起用され、福田派にはそれにかわる重要なポストを提供する必要があつた。②談合問題に対処するためには、建設業界と関係の薄い方がよい——などの理由が考えられるという。いうなれば、持ち前の「清潔さ」が買われて、難局打開のため、建設大臣に起用されたというわけだ。

建設省に乗り込んだ始関は、鈴木首相の期待にたがわず、談合問題に全力をあげて取り組んだ。就任直後の記者会見でも、始関は「談合問題には真正面から取り組んでいきたい」と述べ、談合を容認しないとの基本的な姿勢を示した。

翌五十七年冒頭の国会論戦では、談合問題が大きな焦点になった。野党側は、建設省のダム工事入札にからむ談合のデータなどをかざして、建設省側を攻めた。もちろん始関は、「疑惑を生んだことは遺憾で、責任を感じている」と述べつつも、談合問題に対する基本的な考え方としては、一貫してこれを認めない方針で押し通した。

閣僚中の最年長ながら、常にいかなる質問にも気まじめなまでに答弁する始関に対して、野党側も攻め切ることができなかった。しかも、始関自身は、周辺に妙な噂の一つもないクリーンな政治家だったからなおさらではあつた。そのうえ、やや耳は遠かつたものの、官僚出身だけあつて答弁にそつはなかつた。マスコミ、野党の激しい追及も通常国会の終るころには下火となり、建設省の幹部一同ホッと胸をなでおろしたのだった。

仮に、始関の代りに、建設業界と係りの深い政治家が大臣になったら、野党はここぞとばかり攻めたててきたに違ひなかつた。

始関自身、この問題に対して、単に受身の姿勢でいたわけではない。談合を生みやすいとされる現行の指名競争入札制度の改善案として、制限付き一般競争入札や随意契約の導入、多用を打ち出した。

指名競争入札制度というのは、入札に参加できる業者をあらかじめ発注者が一定数にしぼり込み、その中で競争入札を行うというもの、限られた業者数で競争入札することから、指名段階から、政治家の働きかけや業者間のいわゆる「談合」が行われやすい、との批判があった。

始関が就任する直前に、中央建設業審議会に入札制度の改善策が諮問されていたが、始関は指名競争入札を基本としつつも、企業規模、実績などの一定の資格があれば誰でも入札に参加できる制限付き一般競争入札と、発注者が最もふさわしいと思う業者を選んで競争入札なしに契約する随意契約をとり入れることで、談合の弊害を防ごうと考えた。具体的には、始関は、指名競争入札対一般競争入札対随意契約の割合を六十五対二十対十五程度で発注すべきだ、と考えていた。

これには、政、官、業界が抵抗した。自民党の建設族を中心とする建設業等に関する契約問題小委員会（王置和郎小委員長）は、談合容認もとれる報告書をまとめ、業界は「制限付き一般競争入札は必ずしも優れた業者だけが入札するとは限らず、場合によっては、力のない業者が加わるおそれがある」との理由で反対した。本音は「長い間かけてつくった、受注調整システムを崩すおそれがあるから」（業界筋）だったようだ。また、事務当局が随意契約の拡大に消極的だったのは「入札制度のないいわゆる客観性のない方式は、行政機関とは必ずしも適切ではない場合もある」という考えからだ。

始関は中建審委員と会い、自らの考えに理解を求めようとしたが、「みんなはかばかしい返事はしてくれなかった」（始関）。

結局、中建審がこの問題で結論を出したのは、五十八年春、始関の次の内海建設大臣になってからだ。中建審の建議は、始関の最も強く主張した制限付き一般競争入札は、受注機会の公平さが確保できないことなどから実施が困難であるとし、随意契約については、活用をはかる方向を示した。

ある建設省幹部は「始関大臣の在任期間がもっと長かったら、中建審

議のとりまとめ作業はもっと困難だったろう」と述べている。これを意地悪くとれば、事務当局が、「時間切れ」をねらって結論を出すのを引き延ばしていた、とも考えられないわけではない。

談合問題と並んで始関が力を入れたのは、建設業、建設省関係特殊法人の海外選出問題だ。わが国の建設業の海外での事業活動は年々活性化し、五十六年度の海外受注額は八千七百五十億円と史上最高となってきたものの、アメリカの七兆五千億円（五十五年）、韓国の三兆円（五十六年）、フランスの一兆五千億円（五十五年）に比べ、依然として低水準。その上、日本道路公団や水資源開発公団などに対して、海外からノウハウ提供の要請があっても、公団法が事業活動地域を国内に限定しているため、それに答えられないうらみがあつた。こうしたネットワークをとりのぞき、とかく国内中心になりがちな建設業の国際化を促進しようというのが始関の発想である。

始関は通産省出身とあつて、業界指導の行政には詳しい。しかも、商工省時代には、建設業界に産業指導の立場から取り組み、カンもあつた。五十七年九月から十月にかけて、始関はインドネシアなど東南アジア三国を公式訪問し、各国の首相、公共事業担当大臣、運輸通信大臣らと会談した。

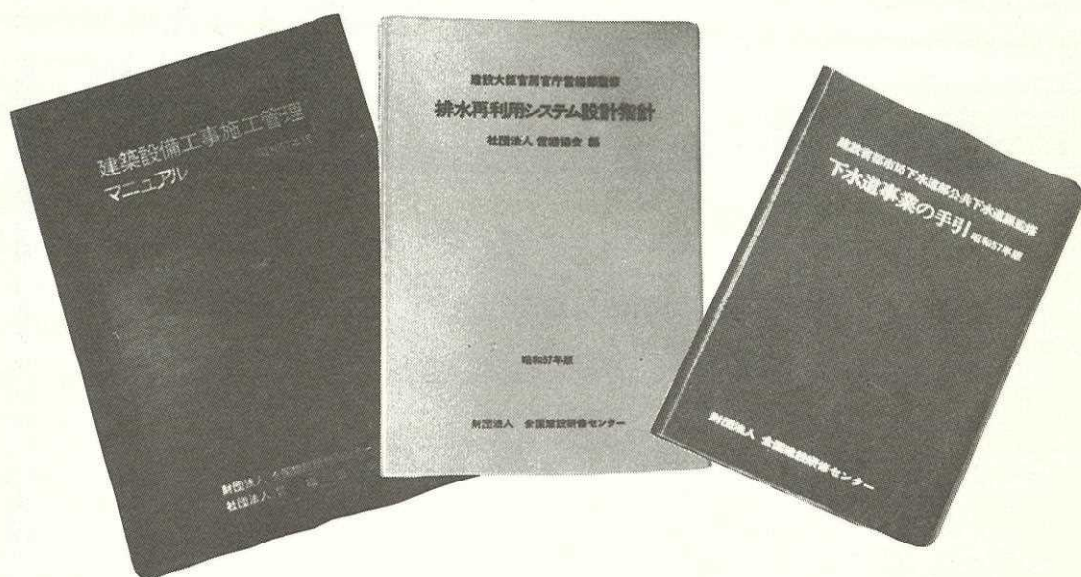
帰国した始関は、早速、事務当局に対し、道路公団、住宅都市整備公団などが海外進出できるよう法改正の検討も命じている。

この問題は、建設、国土両省庁が連携し、五十八年十二月召集の第一百回通常国会に改正案を提出する方針で、関係各省庁と折衝中だ。実現すれば、各公団の活動範囲が拡大すると同時に、民間の仕事も増えることが期待されている。始関の残した大きな功績となろう。

昭和五十七年十月十二日、鈴木首相が突然に政権を投げ出し、これにとつてかわった中曽根内閣の誕生で、始関も大臣の座を降りた。一年弱にしては「盛りだくさんな出来ごとのあつた」在任期間であつた。

（写真提供・建設省）

新刊のご案内



建築設備研究会編

建築設備工事施工管理マニュアル

昭和57年版

建築設備工事の施工管理のチェックポイントを他工事との関連を考慮しつつ、工程順に解説した現場技術者必携書

●B5判・上製656頁

7,900円（千実費）

建設大臣官房官庁営繕部監修

排水再利用システム設計指針

昭和57年版

排水再利用システム設計に必要な水質、構造、施工、維持管理等についての具体的事例を含めた解説書

●B5判・上製246頁

3,200円（千300円）

建設省都市局下水道部公共下水道課監修

下水道事業の手引

昭和57年版

下水道法に基づく事業認可、国庫補助金の交付申請等の諸手続や根拠法令などをまとめた実務担当者の必携書

●A5判・上製446頁

3,900円（千300円）

財団法人 全国建設研修センター—建設研修調査会

〒100 千代田区永田町1-11-35 全国町村会館内 TEL 03-581-1281

建設プロジェクト管理研修用テキスト

工程と原価の管理

編集・全国建設研修センター

B5判 196頁，折込み3葉
 頒価 1,950円(送料250円)

工事施工に当たっての、工程と原価の管理を、
 ネットワーク手法との関連で説明!

建設工事では、いかに、早く、やすく、立派に仕上げるのかが技術者の重要な目的になっている。本テキストは、とくに新しい原価管理を具体的事例にもとづく数値にそって解説し、現場技術者の方々にわかりやすく編集してあります。

本テキストは各地区の研修テキストとして、広くご活用願っております。

〈主な内容〉

序 論

1. 建設産業におけるネットワーク手法の
 必要性和価値
2. ネットワーク手法の成立と経緯

第1章 ネットワーク手法

—基礎的概念—

1. ネットワーク図の作成
2. 日程の計算
 結合点時刻の計算
 作業時刻の計算
 余裕日の計算
3. フォロー・アップ
 基本的考え方
 フォロー・アップの意義
 活用する方法

第2章 管理の方法

1. 管理の方法的原則
2. 計画の設定
 考え方の手順
 方法的手順
 設定の方法
 管理図諸表の作成
3. フォロー・アップ
 現状の把握
 差異分析と評価
 再計画の立案

参考文献

演習問題

申込先

(財)全国建設研修センター 建設研修調査会

東京都千代田区永田町1-11-35全国町村会館 Tel.03-581-1281

業 務 案 内

研修部門の業務

■研修部門で行なう研修は、建設省建設大学校の行なう研修を補完するものとして位置づけられており、研修コースの編成及びカリキュラムの作成等については建設大学校の指針に基づき、各種の研修を実施しております。昭和四十八年、研修需要の拡大に対応し研修の強化充実を図るため建設された「全国建設研修会館」は建設大学校に隣接し、建設大学校との調整をはかりながら同校の

行なう研修の「補完的な役割」を果たすものとして、国及び地方公共団体、公団、公社等の職員を対象とした行政研修、さらに建設業界等の職員を対象とした一般研修を行ない、あわせて都道府県又は協会等との共催による地方研修の拡充を行ない、官、公、民における建設技術の向上に寄与するため時代に即応した各種の研修をより強力に実施しているところであります。

昭和五十八年度 研修実施予定表

I 継続コース

研修名	目的	対象職員	定員	研修期間
用地(初級)	用地事務を担当する職員に対し、用地取得および損失補償等の理論と実務について基礎的知識の修得をはかる。	地方公共団体等の実務経験2年未満の用地職員又は新たに用地職員となる者。	各70名	昭和58年5月 昭和58年11月 各12日間
不動産鑑定	不動産鑑定および公共用地等の評価にかかわる基本的な知識の修得をはかる。	土地評価業務にたずさわる職員。	60名	昭和58年9月 6日間
土木工事監督者	土木工事(河川・道路等)の施工監督業務を担当する職員に対し、施工管理、監督について必要な知識の修得をはかる。	地方公共団体等の職員で、工事監督業務を担当する土木系学科を卒業後3年程度の実務経験を有する者。	70名	昭和58年7月 12日間
土木工事積算	土木工事積算業務に従事する地方公共団体等の職員に対し、土木工事費積算および設計業務委託の積算体系の知識の修得をはかる。	地方公共団体等において、土木工事積算業務を担当する職員のうち実務経験3年未満の者。	各70名	昭和58年9月 昭和59年2月 各6日間

研修名	目的	対象職員	定員	研修期間
紛争アセスメント	公共公益事業の地域社会適応のための諸施設（紛争要因の事前評価手法・環境対策・生活再建対策及び補償対策の体系化・住民関与・自治体調整手法等）に関する専門知識の修得をはかる。	国・地方公共団体・関係公団等の中堅職員。	40名	昭和58年10月6日間
宅地造成技術	宅地造成技術の専門的知識を修得し、もって都市計画法に基づく開発許可業務および宅地造成等規制法に基づく宅地造成工事の許可事務の適確な執行に資することを目的とする。	(1)都市計画法による開発許可事務、宅地造成等規制法その他条令等による宅地造成工事の許可事務についての審査実務に携っている者。 (2)公団・公団等の職員で宅地造成工事に関する設計または監督業務に携っている者。 ただし、宅地指導研修（建設大学校施行）の参加資格の要件に該当する者をのぞく。	50名	昭和58年10月6日間
建設行政管理者 セミナー	建設行政に係る地方公共団体、公団・公団等管理者として必要な判断力および管理能力等の向上をはかる。	地方公共団体・公団・公団等本庁本社の課長又はこれに相当する管理者。	30名	昭和58年8月5日間
研修企画面	職員研修の企画に関する基本的知識の修得をはかる。	組織における研修を企画する職員。	30名	昭和58年9月3日間
国際協力	国際協力活動に対応するため、英会話能力ならびに国際的感覚の向上をはかるものとする。	地方公共団体、公団・公団ならびに建設事業にたずさわる職員（海外建設協会会員を除く）。	24名	昭和58年6月6日間
建築指導科（監視員）	建築指導行政を担当する職員に対し、建築監視員としての実務知識の修得をはかる。	建築指導行政を担当する職員。	60名	昭和58年5月12日間
建築（構造）	建築業務を担当する職員に対して、建築構造に関する必要な知識の修得をはかる。	国および地方公共団体等の職員で、建築系学科を卒業後、建築構造に関して3年程度の実務経験を有する者。	60名	昭和58年7月12日間
建築（積算）	建築業務を担当する職員に対して、建築積算の実務に必要な専門知識の修得をはかる。	地方公共団体等の職員で、建築系学科を卒業後3年程度の実務経験を有する者。	60名	昭和58年8月6日間
建築技術	建築業務を担当する職員に対して、建築に関する基礎的な技術および最近の課題に対応するための必要な知識の修得をはかる。	建築業務を担当する職員で、建築系学科を卒業後、建築の設計・施工に従事している者。	60名	昭和58年10月10日間
建築設備（空調）	建築設備業務を担当する職員に対して、空調設備について必要な知識の修得をはかる。	建築設備の設計・施工を担当する職員で、建築系学科を卒業後3年程度の実務経験を有する者。	40名	昭和58年9月10日間

建築設備(電気)	都市計画(初級)	都市計画(初級)	都市計画環境 アクセスメント	ダム管理	ダム管理	災害復旧実務 中堅技術者	災害復旧実務	河川(初級)	河川総合開発	特殊無線技士 (多重無線設備)
建築設備業務を担当する職員に対して、電気設備について必要な知識の修得をはかる。	都市計画街路業務に担当する職員に対して、街路事業に関する基礎的知識の修得をはかる。	都市計画業務を担当する職員に、必要な基礎的知識の修得をはかる。	都市計画に関する環境アクセスメントの知識の修得をはかる。	ダムの管理を担当する職員に、必要な知識の修得をはかる。	ダムの管理を担当する職員に、必要な知識の修得をはかる。	災害復旧業務を担当する中堅技術職員に対して、災害復旧の実務に必要な専門知識の修得をはかる。	災害復旧業務を担当する職員に対して、災害復旧の実務に必要な知識の修得をはかる。	中小流域の河川に係わる最近の課題に対応するため、必要な知識の修得をはかる。	ダム建設に係わる総合的な知識の修得をはかる。	特殊無線技士(多重無線設備)の資格を取得させるため、郵政省令で定める基準に適合した講習を受けさせ、無線従事者を養成することを目的とする。
地方公共団体等の建築設備を担当する職員で、電気系学科を卒業後3年程度の実務経験を有する者。	地方公共団体等の都市計画街路業務にたずさわる実務経験2年以下の者。	地方公共団体等の職員で、都市計画業務にたずさわる実務経験2年以下の者。	都市計画にかかわる環境アクセスメント業務にたずさわる職員。	国および地方公共団体等のダム管理業務にたずさわる中堅職員。	国および地方公共団体等のダム管理所においてダム操作に従事している者。	地方公共団体等で災害復旧業務にたずさわる経験年数5年以上の技術職員。	地方公共団体等で災害復旧業務にたずさわる経験年数5年未満の職員。	中小流域の河川に係わる業務にたずさわる職員。	建設省地方建設局、北海道開発庁、沖縄開発庁、関係公団、地方公共団体等の中堅技術職員。	(1)高等学校以上の電気科、通信科、電子科の卒業業者。 (2)高等学校以上の前号以外の卒業業者で1年以上の実務経験を有する者又は、中学校等を卒業した者で3年以上の実務経験を有する者。
40名	50名	50名	60名	40名	各6名 3回 計18名	60名	60名	50名	40名	40名
昭和59年1月10日間	昭和58年6月12日間	昭和58年7月12日間	昭和58年10月5日間	昭和58年10月11日間	昭和58年5月から 昭和59年3月 各4日間	昭和58年5月6日間	昭和59年1月6日間	昭和58年11月6日間	昭和58年5月6日間	昭和58年11月19日間

研修名	目的	対象職員	定員	研修期間
道路舗装	道路工事（舗装）業務を担当する職員に対して、舗装に関する知識の修得をはかる。	地方公共団体等の職員で、舗装業務にたずさわる3年程度の実務経験を有する者。	各60名	昭和58年1月 昭和59年2月 各6日間
道路管理	道路管理業務を担当する職員に対し、道路の管理に必要な知識の修得をはかる。	道路管理業務を担当する職員。	60名	昭和58年9月 11日間
市町村道	市町村道に関する総合的な専門知識の修得をはかる。	市町村道業務を担当する者。	50名	昭和58年11月 6日間
土木構造物設計	各種構造物の計画、設計に必要な理論および設計手法等の専門知識の修得をはかる。	各種土木構造物の設計等の業務にたずさわる職員で3年程度の実務経験を有する者。	40名	昭和58年8月 13日間
地価調査担当者等 (実施主体 国土庁土地局)	地価調査担当者等に対し、土地評価に関する基礎的、専門的知識を修得させることを目的とする。	都道府県の地価調査又は価格審査担当職員および指定都市の価格審査担当職員のうち初任者。	100名	昭和58年5月 9日間
土地調査員 (実施主体 国土庁土地局)	国土利用計画法の施行に関し、土地調査員に必要な基礎知識の習得をはかり、もって同法の円滑かつ的確な運用に資すること。	原則として都道府県および指定都市の土地調査員（土地調査員が任命されていない場合には土地対策担当職員）のうち初任者。	90名	昭和58年9月 6日間
ダム管理主任技術者	ダム管理を担当する職員に対し、ダムの安全管理に必要な知識・技術の修得をはかる。	河川法第50条に基づく管理主任技術者およびその候補者を対象とする。	72名	学科 昭和58年6月
地質調査 地質調査コース 地下水調査コース 土質調査コース	地質調査業務に従事する技術職員に対し、地質調査の専門的知識を修得させ、職員の資質の向上をはかる。	国・地方公共団体および業界等において地質調査業務に従事する技術職員。	各6名 計72名 12回	実技訓練 昭和58年6月 昭和59年2月 各4日間
			各50名	地下水調査 昭和58年4月 6日間 土質調査 昭和58年4月 6日間 昭和58年4月 6日間

建設コンサルタント ダム技術	道路技術専門	道路技術一般	コンフリクト (建設事業にかかわる地 域社会との紛争対応)	建設コンサルタント 電算利用技術	補償コンサルタント (用地)	地すべり防止技術	地質調査業 現場管理者認定講習
建設コンサルタント(ダム調査・設計)業務を担当する職員に対して、ダムの調査・設計に関する実務面の知識について重点的に研修を行い、職員の能力の向上をはかり、円滑かつ効率的な業務遂行に資することを目的とする。	道路建設工事に従事する技術者の舗装に関する専門的な高度の知識を高めるための研修を行い、施工技術の向上に寄与させようとするものである。	道路建設工事に従事する主任技術者の養成のための研修を行ない、施工技術の向上に寄与させようとするものである。	建設事業の地域社会との紛争対応に必要な対応能力ならびに技術の実践的向上をはかる。	建設コンサルタント業務を担当する社員に対して、建設工事に伴う電算利用に関する研修を実施し技術の向上をはかり円滑かつ効率的な業務遂行に資することを目的とする。	補償コンサルタント業務を行なう者の資質の向上をはかるため、公共用地の取得に関する専門的知識の修得をはかる。	地すべりの調査および防止対策に従事する技術職員の専門的知識を高め、より有効な災害防止を行なうために必要な理論的および実際のな研修を行うものである。	地質調査業者登録規程(建設省告示第718号昭和52年4月15日)における登録の要件のうち営業所ごとに置く専任の現場管理者の認定に必要な資格取得のために講習を行う。
建設コンサルタント業務にたずさわる中堅技術者。	道路建設工事に従事する上級の技術職員。(中央官庁発注工事に従事する現場代理人、主任技術者クラス相当以上と同等の技術力を有し、2級土木施工管理技士又は2級建設機械施工技士以上の資格を有する者)	道路建設工事に従事する技術職員、経験年数2年以上の者。	大学卒業後、建設事業に10年以上の実務経験を有する者、およびこれに準ずる者。	建設コンサルタント業務にたずさわる技術職員。	公共用地の取得業務の受託について経験の少ない者。	地すべり調査・防止対策の業務を担当する技術職員で、大学卒業後5年以上経過し、そのうち実務経験3年以上の者、又は高校卒業後9年以上経過し、そのうち実務経験5年以上の者。	社団法人全国地質調査業協会連合会の実施した地質調査技士資格検定試験に合格し登録した者
50名	50名	80名	30名	50名	各60名	50名	150名
昭和58年7月 6日間	昭和58年6月 6日間	昭和58年4月 17日間	昭和58年6月 5日間	昭和58年5月 6日間	昭和58年6月 昭和58年8月 各6日間	昭和58年6月 9日間	昭和58年10月 3日間

研修名	目的	対象職員	定員	研修期間
ダム工事技術者	土木建設工事に従事する現場の中堅技術者に対して、ダム工事の施工に関する技術について重点的に研修を行ない、建設業者の施工能力の向上に寄与せしめることを目的とする。	建設業会社の土木技術員であつて、大学土木系卒業後3年以上、高専土木系卒業後5年以上の実務経験を有する者。	80名	昭和59年1月18日間
建設技術初級 (シールド工法)	建設工事(下水道シールド工事)に従事する技術者を養成するため、シールド工事の施工に関する専門的な技術・知識を修得させ、下水道シールド工事の施工技術の向上に寄与せんとするものである。	建設工事に従事する技術職員。(新たにシールド工事に従事する者)。	50名	昭和58年4月4日間
建設技術 (シールド工法)	シールド工事に従事する現場の主任技術者級の者を養成するため、シールド工事の施工に関する専門的な技術と知識を修得し、シールド工事の施工技術向上に寄与せんとするものである。	土木建設工事に従事する現場主任技術者級の者で、大学土木系卒業後5年以上、高校土木系卒業後7年以上の実務経験を有し、そのうちシールド工事について2年以上の経験がある者。	50名	昭和58年6月5日間
建設技術 (推進工法)	建設工事に従事する技術者を養成するため、推進工法の施工に関する専門的な技術・知識の修得をはかる。	建設工事に従事する技術職員。	50名	昭和58年5月3日間
建設技術 (工事測量)	建設事業に従事する技術職員に対し、主として道路工事測量の実務を適確に処理するための技術の習得をはかる。	測量の基礎知識を有する者。	60名	昭和58年9月6日間
建設技術 (工程管理)	工程・原価管理(ネットワーク手法の応用編、損害管理による工程と原価管理)について必要な技術・知識の修得をはかる。	建設工事(建築系を除く)の施工管理に従事する職員で、ネットワークの基礎を理解している者。	60名	昭和58年9月2日間
スケジューリング	建設工事の計画および実施にあつて必要とされる人員・資源・時間の同時管理を可能にするスケジューリング手法の修得をはかる。	建設事業の工事計画ならびに実施を担当し、かつパートネットワーク手法の基礎的知識を有する者。	40名	昭和58年5月2日間
海外プロジェクト 実務者	海外の建設プロジェクトにたずさわる実務者を対象に、将来プロジェクトマネージャーとして活躍する人材を養成するため、経済技術協力の基礎概念と、海外コンサルティング業務に必要な手法および実務の基礎的知識について、体系的な研修を行ない、もつてわが国建設産業の海外活動の推進とわが国経済技術協力の拡充に資することを目的とする。	将来、海外コンサルティング業務等の海外プロジェクトにたずさわる実務者で、原則として次の資格を有する者。 (1)5年以上の業務経験(国内外業務合わせ)を有する者。 (2)大学卒業者又はこれと同等以上の専門的知識を有すると認められた者。 (3)25才以上35才までの者を二応の目安とする。	30名	昭和58年7月13日間

II 新規コース

研修名	目的	対象職員	定員	研修期間
用地事務(初級)	用地事務を担当する職員に対し、損失補償等について、基礎的知識の修得をはかる。	地方公共団体(人口おおむね10万人以下)、公団・公社等ならびに委託により用地業務にたずさわる職員で、実務経験2年未満の用地職員、又は新たに用地職員となる者。	60名	昭和59年2月6日間
土木施工管理	港湾土木の施工管理に必要な知識の修得をはかる。	港湾土木工事にたずさわる職員。	50名	昭和58年12月6日間
建築保全	営繕業務を担当する職員に対し、保全に関する一般的な知識の修得をはかる。	地方公共団体、公団・公社等の営繕の技術職員で、実務経験3年程度の者。	40名	昭和59年1月5日間
建築施工監理	建築施工監理(主として躯体工事)に必要な知識・技術の修得をはかる。	地方公共団体、公団・公社等の職員で、建築施工監理に従事している者。	50名	昭和58年11月6日間
砂防(初級)	砂防にかかわる最近の課題に対応するため、必要な知識の修得をはかる。	市町村、公団・公社、コンサルタント等で砂防業務にたずさわる職員。	50名	昭和58年11月6日間
土木積算体系	土木工事積算に関する基礎知識の修得をはかる。	建設業界等において土木工事積算業務を担当する職員。	50名	昭和58年10月5日間

研修名	目的	対象職員	定員	研修期間
海外建設工事派遣要員養成	海外建設プロジェクトの施工に従事する人材を養成するため、会社の実務者を対象に必要な実用英語を中心とし、併せて海外建設業務に必要な知識を付与する体系的な研修を行なうこととする。	海外工事に係る建設会社職員で、左記のいずれかに該当するもの。 (1)実用的な英会話の習熟を必要とするもの。 (2)近い将来海外現場要員に向けられる可能性のあるもの。	20名	昭和58年8月31日間
管理技術	建設事業推進に必要な管理能力および総合判断力の実践的向上をはかる。	建設事業に10年以上の実務経験を有する者。	30名	昭和58年7月3日間
電算利用	建設事業の省力化・効率化のために有用なオンラインシステムならびにパソコン利用と、その併用に関する基本的な知識・技術の修得をはかる。	建設事業の電算処理導入を担当する職員。	40名	昭和58年10月3日間

研 修 名	目 的	対 象 職 員	定 員	研 修 期 間
舗 装 技 術	道路工事（舗装）に従事する技術者に舗装に関する専門的な知識を高め、施工技術の資質向上に寄与せんとするものである。	道路工事（舗装）に従事する技術職員、経験年数2年程度の者。	60名	昭和59年2月 6日間
建 設 技 術 （トンネル・ナトム工法）	土木建設工事（トンネル工事）に従事する現場技術者を養成するため、トンネル・NATM（ナトム）工法工事の施工等に関する専門的な技術・知識を修得させ、トンネル・ナトム工事の施工技術の向上に寄与せんとするものである。	土木建設工事に従事する現場技術職員。 （新たにトンネル工事に従事する者）。	50名	昭和58年9月 4日間
建 設 技 術 （推進工法）	建設工事に従事する技術者を養成するため、推進工法の施工に関する専門的な技術・知識の修得をはかる。	建設工事に従事する技術職員。	50名	昭和58年5月 3日間

III 地方研修

研 修 名	目 的	対 象 職 員	定 員	研 修 期 間
建設技術（工事測量） 愛媛	建設事業に従事する技術職員に対して、主として道路工事測量の実務を適確に処理するための技術の修得をはかる。	測量の基礎知識を有する者。	60名	昭和58年5月 5日間
建設技術（工事測量） 山口	建設事業に従事する技術職員に対して、主として道路工事測量の実務を適確に処理するための技術の修得をはかる。	測量の基礎知識を有する者。	60名	昭和58年8月 5日間

研修問合せ先

研修局

〒187

東京都小平市喜平町二一一一二

☎ 〇四二三（二四）五三一五

試験部門の業務《技術検定》

■試験部門で行なっております試験・研修及び講習には建設業法（昭和二十四年法律一〇〇号）第二十七条第一項に基づき、建設大臣が行なう技術検定試験にかわるものとして、当センターが建設大臣の指定をうけて実施しているものと、地質調査業者登録規定（昭和五十二年四月十五日建設省告示第七一八号）にかかわるものとがあります。

■建設大臣の指定をうけた試験の合格者及び研修の修了試験合格者は、国の行なう検定試験の全部または一部の免除を受けられます。

■地質調査業現場管理者認定講習は、地質調査業者登録規定における登録の要件のうち、営業所ごとに置く専任の現場管理者の認定に必要な資格取得のために行なうものです。

昭和五十八年度 技術検定関連試験・研修・講習実施予定表

試験・研修・講習名	受験・受講資格	試験・研修・講習日	試験・研修・講習地	受付期間
一級土木工事 技術者試験	大学、高専卒以上の学歴で、学歴により所定の実務経験年数を有するもの。 二級土木施工管理技士で所定の実務経験年数を有するもの。	昭和58年7月3日(日)	札幌、釧路、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇	昭和58年3月18日から4月1日まで
二級土木工事 技術者試験	学歴により所定の実務経験年数を有するもの。	昭和58年7月17日(日)	右記に同じ	右記に同じ
一級管工事 技術者試験 第一部(学科)試験	大学、高専卒以上の学歴で、学歴により所定の実務経験年数を有するもの。 二級管工事施工管理技士で所定の実務経験年数を有するもの。 職業訓練法による管工事関係の一級技能検定合格者。	昭和58年9月4日(日)	札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇	昭和58年5月20日から6月3日まで
二級管工事 技術者試験	学歴により所定の実務経験年数を有するもの。職業訓練法による管工事関係の一級または二級の技能検定合格者。	昭和58年9月25日(日)	右記に同じ	右記に同じ

試験・研修・講習名	受験・受講資格	試験・研修・講習日	試験・研修・講習地	受付期間
一級管工事 技術者試験 第二部(実地)試験	昭和57年度・昭和58年度一級管工事技術者試験第一部(学科)試験の合格者。 技術士法による本試験のうち管工事関係部門の合格者で学歴により所定の実務経験年数を有するもの。	昭和58年12月4日(日)	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡	昭和58年10月21日から11月4日まで
一級造園工事 技術者試験	大学、高専卒以上の学歴で、学歴により所定の実務経験年数を有するもの。 二級造園施工管理技士で、所定の実務経験年数を有するもの。 職業訓練法による造園の一級技能検定合格者。	昭和58年9月4日(日)	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡	昭和58年6月17日から7月1日まで
二級造園工事 技術者試験	学歴により所定の実務経験年数を有するもの。 職業訓練法による造園の一級または二級の技能検定合格者。	昭和58年9月25日(日)	右記に同じ	右記に同じ
一級土木工事 特別研修 技術者	昭和55年度までの二級土木施工管理技術検定合格者で所定の実務経験等を有するもの。	東京・名古屋・大阪 札幌・仙台・新潟 広島・高松・福岡 仙台・東京・大阪 名古屋・広島・松山 福岡・沖縄	上記の各都市	昭和58年3月18日から4月1日まで
二級土木施工管理 技術研修	学歴により所定の実務経験年数を有するもの。	中国・九州・沖縄 中国・四国・九州 中国・四国・九州 近畿・中国・九州 近畿・中国・九州 中部・近畿・九州 北陸・近畿 東北・関東・中部 北海道・東北・関東 北海道・東北・北陸・沖縄 北海道・東北・関東	都・道・府・県庁所在地	昭和58年3月18日から4月1日まで

土地区画整理 技術者試験	学歴に応じて一定の土地区画整理事業に 関する実務経験を有するもの。	昭和58年9月4日(日)	仙台、東京、名古屋、大阪、広 島、福岡	昭和58年6月17日から 7月1日まで
土地区画整理 特別研修 技術者	土地区画整理事業に関して15年以上の実 務経験を有するもの。	東京・名古屋 } 10月下旬 大阪・福岡 } 仙台・東京・名古屋 } 広島・福岡 } 11月中旬	上記の各都市	右記に同じ

⑧ 研修期間は、一級土木・土地区画整理研修は6日、二級土木施工管理技術研修は4日である。

技術検定関連試験・研修・講習問合せ先

- 一級土木工事技術者特別研修
- 二級土木施工管理技術研修
- 土地区画整理技術者試験
- 土地区画整理技術者特別研修

業務局

〒100 東京都千代田区永田町一―十一―三三五
 全国町村会館五階 ☎〇三(五八一)〇二三八代

- 一級土木工事技術者試験
- 一級管工事技術者試験第一部・第二部
- 一級造園工事技術者試験
- 二級土木工事技術者試験
- 二級管工事技術者試験
- 二級造園工事技術者試験

業務局分室

〒102 東京都千代田区平河町二―六―二
 ランディック平河町ビル四階 ☎〇三(二三〇)一六二二代

現場技術者の

工事測量必携

編集・全国建設研修センター

A5判 380頁

頒価 3,900円(送料300円)

すいせんの辞

建設大臣官房技術参事官

高 秀 秀 信

わが国の経済は、1980年代に入り高度成長の時代から、石油危機など資源問題をはじめとする複雑な国際情勢の中で、安定成長への切替を余儀なくされ、今後、その状況は厳しさを増大していくこととされます。このような状況の中で、建設省は社会資本の充実に努めておりますが、建設事業も他の産業と同様に高度成長時代の量的充足から質的向上への努力が必要とされています。

建設工事においては、近年、大規模化、複雑化が進み、その的確な施工のための施工管理技術の向上が切に求められています。

工事の諸段階で測量作業が重要な役割を果すことは認識されているところですが、実戦的測量教育の不足から、その技術水準がいまだに十分であるとは言えません。

このようなときに、従来より全国各地で工事測量の現地研修を実施している財団法人全国建設研修センターが、その経験に基づき工事測量の実習用テキストである「現場技術者の工事測量必携」を編集されたことは、誠に時宜を得たものであり、その内容が、工種毎に工事進行に伴い必要となる各種測量作業を、実務を中心として解説されておりますので、職場研修のテキストとして、また現場において役立つ参考書として、ここに推薦する次第であります。

昭和55年4月

主要目次

測量の基本

1. 距離測量
2. 角測量
3. 水準測量
4. 平板測量
5. 勾配

工事測量

- 第1章 序論
- 第2章 道路工事測量
 - 〔I〕 道路工事
 - 〔II〕 道路舗装工事
 - 〔III〕 道路埋設管工事
 - 〔IV〕 軟弱地盤の測量
- 第3章 橋梁工事測量
- 第4章 トンネル工事測量
- 第5章 河川工事測量
 - 〔I〕 河川工事
 - 〔II〕 砂防工事
 - 〔III〕 タム工事
- 第6章 港湾・海岸工事測量
 - 〔I〕 港湾工事測量
 - 〔II〕 海岸工事測量
- 第7章 宅地造成工事測量
 - 〔I〕 宅地造成工事測量
 - 〔II〕 区画整理測量
 - 〔III〕 確定測量

単曲線の設置

クロソイド曲線

建築の墨出し

申込先

(財)全国建設研修センター 建設研修調査会

東京都千代田区永田町1-11-35 全国町村会館 Tel. 03-581-1281

建設大臣指定校、学校教育法による専門学校

学校法人
明倫館

国土建設学院



本学院は、国土建設事業の推進に役立つ実践的専門技術者の育成を使命として努力を重ねてまいりました。開校以来20年、約13,000余名に上る卒業生はいずれも各方面第一線において活躍中であり、他にみない独自の教育の実践は高く評価されています。

設置学科

工業専門課程(昼間)

測 量 科(1年制)

測量技術者として現場第一線で独立任務を遂行できる実践的技術者を養成する。

製 図 科(1年制)

地図製図技術を主軸に、土木、建築等を含む広範な製図技術をもつ専門技術者を養成する。

測 量 工 学 科(2年制)

高度の測量技術と幅広い知識を修得、新しい時代の測量技術者として活躍できる専門技術者を養成する。

測量土木技術科(2年制)

測量、土木の両分野にわたり現地作業に役立つ最新技術を修得し、測量士または土木施工管理技士として現場第一線で活躍できる専門技術者を養成する。

環境測量工学科(2年制)

測量技術に加えて環境調査計測に関する知識と技術を教授し測量界及び環境調査の分野で活躍できる専門技術者を養成する。

都 市 工 学 科(2年制)

都市の建設に必要な十分な測量技術と都市計画、土地区画整理の専門知識を修得した技術者を養成する。

土 木 工 学 科(2年制)

しっかりした幅広い測量技術の素養の上に土木工学を専攻させ、土木工事に係る測量・調査・設計を担当し、また土木工事の現場主任技術者として活躍できる専門技術者を養成する。

土木地質工学科(2年制)

土木工学、測量技術の素養の上に土木地質工学に関する幅広い知識と技術を身につけた新時代に生きる土木地質調査の専門技術者を養成する。

造園緑地工学科(2年制)

現代造園に関する理論と造園の計画・設計・施工・管理の専門技術を修得させ、新時代に即した実践的技術者を養成する。

上下水道工学科(2年制)

上下水道工学に関する専門学科ならびに施設の設計・施工・維持管理についての知識と技術を修得させ、実際に役立つ専門技術者を養成する。

設 備 工 学 科(2年制)

給排水衛生・空気調和等建築設備とその周辺技術について、その知識と技術を修得させ、給水装置技術者、排水設備技術者、管工事技術者等として活躍できる専門技術者を養成する。

その他の課程(昼間)

測 量 専 科(6ヵ月)

官公庁、建設関係の企業等から職員の測量技術研修の場として注目されている。

土地区画整理専科(3ヵ月)

地方公共団体や民間企業等から職員研修の場として多大の好評をうけている。

卒業生の特典

測量士補、建設業法による技術検定の施工管理技士受験資格、地図製図士2級等各科特典あり。

◆詳細は下記にお問合せください。

〔〒187〕東京都小平市喜平町2-1-1 TEL 0423-21-6909(代)

出版案内



建設省都市局下水道部公共下水道課監修

下水道事業の手引 昭和57年版

下水道法に基づく事業認可、国庫補助金の交付申請等の諸手続や根拠法令などをまとめた実務担当者の必携書

●A5判上製 / 446頁 / 3,900円 (〒300円)

建設プロジェクト管理研修用テキスト

工程と原価の管理

ネットワーク手法の解説と新しい原価管理の方法にまで言及した中堅技術者の研修用教材

●B5判並製 / 192頁演習問題付 / 1,950円 (〒250円)

現場技術者の

工事測量必携

測量の基本・各種土木工事
測量・単曲線・クロソイド・
建築の墨出し

建設現場における各種工事の測量作業の実務を、演習を主として分かりやすく編集した初級技術者むきの研修用テキスト

●A5判上製 / 355頁 / 3,900円 (〒300円)

新刊

現場技術者必携 第1巻共通編

総則●建設工事契約／現場説明と入札／工事請負契約／事前調査と関連工事との調整／施工計画／工事管理／施工管理／工事の完成と検査

材料●土／骨材／杭、丸太、仮設材／型枠材／鉄及び鋼材／セメント／瀝青材料／芝及び粗朶／目地材／塗料

一般施工●床掘及び埋戻／土工／止水工／基礎工／擁壁及びのり面保護工／型枠、支保工／鉄筋工／無筋及び鉄筋コンクリート

●A5判上製 / 392頁 / 3,500円

図表でみる 建設白書 昭和58年版

「建設白書」のエッセンスを図表を主体に説明した、各種会議、研修・講習会用テキスト

●B5判並製 / 120頁 / 480円

購入ご希望の方は、書名と部数をご記入の上、現金書留で下記あてにお申込み下さい。

(財)全国建設研修センター 建設研修調査会

〒100 東京都千代田区永田町1-11-35 全国町村会館

Tel. 03-581-1281